

厚生労働行政推進調査事業費補助金
障害者政策総合研究事業

支援機器の適切な選定および導入運用に向けた
ガイドライン作成のための研究
令和元年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 井上 剛伸
令和2年(2020)年5月

目 次

I. 総括研究報告.....	1
井上 剛伸	
II. 分担研究報告	
1. ...既存の支援機器に関するデータベースの情報集約.....	11
井上 剛伸	
2. ...ICF および IS09999 の現状把握.....	65
井上 剛伸・中山 剛	
3. ...支援機器の利用状況および関係する専門職の状況把握.....	73
硯川 潤・澤田 有希	
4. ...原因疾患別の支援機器利用状況の整理－認知機能関連の支援機器について... 77	
上村 智子	
5. ...原因疾患別の支援機器利用状況の整理－感覚機能関連の支援機器について... 85	
石川 浩太郎・西脇 友紀	
6. ...支援機器の ICF 対応表の作成.....	89
石渡 利奈・阿久根 徹	
7. ...既存の支援機器データを基にした対応表の確認と修正.....	95
上野 友之・浅川 育世	
8. ...既存の支援機器データベースを基にした対応表の関連整理.....	99
井上 剛伸・石渡 利奈・硯川 潤	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表.....	123

支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究

研究代表者 井上剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部長

研究要旨 今年度は、ICFとISO9999を用いて、生活機能と支援機器の対応表素案を作成した。そのために、ICFおよびISO9999、その他支援機器に関連する国際動向を把握するとともに、障害別の支援機器の情報についても調査を行った。これより、障害領域により支援機器の特徴に違いがみられることがわかった。また、地域における支援機器の入手・活用プロセスの調査および障害別の支援機器調査から、利用状況についても把握することができた。次年度は、これらの結果を基に、対応表の作成およびガイドライン作成に資する情報整理を実施する予定である。

研究分担者

上野友之・国立大学法人筑波大学

リハビリテーション部副部長・講師

浅川育世・茨城県立医療大学 教授

上村智子・信州大学 教授

石川浩太郎・国立障害者リハビリテーションセンター
耳鼻いんこう科医長

石渡利奈・国立障害者リハビリテーションセンター
第一福祉機器試験評価室長

硯川潤・国立障害者リハビリテーションセンター
福祉機器開発室長

職等が共通して利用できるガイドライン等が必要であり、その第一歩として、支援機器利用者の障害等の状況と、支援機器の利用場面との関係を整理し分類することが重要となる。そこで本研究では、利用者の心身機能と支援機器が主に作用する国際生活機能分類（以下、ICF）における活動・参加の項目、国際規格 ISO9999 福祉用具の分類と用語（以下、ISO9999）の支援機器の分類規格等を基に、既存の支援機器をICFに対応した表（以下、対応表）を作成し、それに基づいた機器の選定・導入運用に関するガイドライン作成に資する情報を整理することを目的とする。今年度の目標は、以下の通り。

- ・対応表の素案作成
- ・支援機器利用状況の現状把握

A. 研究目的

近年、種々の支援機器データベース作成や、それに基づいた選定・導入運用が行われているが、既存のデータベースは、支援場面や適応者等の情報が統一されていない。加えて、選定・導入運用に関わるリハビリテーション関連医療専門職（以下、リハ関連専門職）等に対する統一した教育等もなく、個人の知識や技術に委ねられているのが現状である。このことから、適切な支援機器の選定・導入運用には、統一された支援機器分類の構築が必須と考えられる。

これらの状況を背景とし、既存の支援機器に関するデータを有効に活用するためには、リハ関連専門

B. 研究方法

1) 既存の福祉・支援機器に関するデータベースの情報集約

インターネット上で公開されている、おもな国内・国外の支援機器に関するデータベースを抽出するとともに、それらのデータベースの掲載品目、使用している分類、掲載情報の項目、掲載している商品数について調査した。

2) ICF およびISO9999 の現状把握

ICF の改訂に関する議論を行っている WHO 国際分類ファミリー生活機能分類グループの議論に参加するとともに、関係資料を基に、その動向について情報収集を行った。また、WHO の支援機器に関するグローバル・レポート作成に関する会議に参加し、現状での支援機器の動向について、情報収集を行った。ISO に関しては、ISO9999 の改訂を行っている ISO/TC173/SC2 の議論に参加し、その動向に関する情報収集を行った。

3) 支援機器の利用状況および関係する専門職の状況把握—専門職インタビューの結果について

異なる機関に属し、業務の一部として障害者の在宅支援に従事する3名の作業療法士を対象に、半構造化面接を行った。なお、本調査の実施においては国立障害者リハビリテーションセンターおよび帝京科学大学倫理審査委員会の承認を得た。インタビュー協力者からは、承認を受けた手順に従って事前に同意を得た。

4) 原因疾患別の支援機器利用状況の整理—認知機能関連の支援機器について

認知機能を補う支援機器として、最も多様な製品を扱っている検索サイトの AT Dementia (Trent Dementia Services Development Centre、閲覧日：2019年12月15日、<https://www.atdementia.org.uk/>) に掲載された代表的な支援機器を ICF 対応表（心身機能の精神機能と、活動・参加の第2レベルの分類）に整理し、そのことの実施可能性と成果の有用性について考察した。

5) 原因疾患別の支援機器利用状況の整理—感覚機能関連の支援機器について

耳鼻咽喉科関連の障害については、聴覚障害では全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、音声言語機能およびそしゃく嚥下機能障害については、日本音声言語医学会と浜松市リハビリテーション病院に協力を仰ぎ、使用している支援機器の調査を行った。

視覚障害については、社会福祉法人日本点字図書

館の商品データベースを参考に機器を抽出した。また他の支援機器販売店のカタログリストも調査し、加えて ISO9999 の項目内容と「視覚障害」または「ロービジョン」などの用語でインターネット検索を行い、機器に関する情報を収集した。

6) 支援機器の ICF 対応表の作成

義肢装具を例とした対応表の素案、および支援機器と ISO のコード、ICF のコードとの対応づけを円滑化するためのデータベースを作成した。

素案の作成では、義肢装具は身体機能や構造を補完するものであり、身体の中の部位を補完するものであるか、部位について検討した。ICF コード（3桁）については、3桁のコードとその下位項目である4桁のコードの記載事項全体を読んだ上で、そこに含まれる全ての身体部位をイメージして、身体の中の部位が該当するかを検討した。

エクセルの ICF コード表（3桁）の縦（心身機能、身体構造）と横（活動と参加）のそれぞれの項目の交点部分に相当するセルについて、身体の中の部位が該当するかを検討した。

上記の各セルについて、身体の中の該当部分に相当する義肢装具を、ISO コード（6桁）において検討し、6桁のコード番号と用語を入力した。

以上の作業により、義肢装具について ISO と ICF の対応表を作成した。

また、データベースについては、支援機器と ISO、支援機器と ICF の対応づけを行える仕様とし、最終的に、二次元等の対応表に出力することを想定して、データベース内で、相互の対応づけを行うこととした。

データベースの作成には、クラリス社が開発するデータベースソフトウェア FileMaker Vr.18 を用いた。データベースの基本要件機能として、以下を設定した。

1. 支援機器を登録後、その支援機器に関連のある ISO、および ICF を登録。
2. 登録する ISO は、基本的に3階層。複数の ISO の登録が必要。

3. 登録する ICF は、第一レベルから第四レベルまであり、複数のレベルの登録が必要。
4. ISO、ICF とともに登録の方法としては上位階層から入力もあるが、中間や下位の階層からの入力も有り。
5. 検索機能としては、入力項目は単独フィールドであればすべて検索ができる仕様とする。
6. ISO、ICF のデータは、特定のフォーマット形式にて作成したデータをインポートする。
7. 登録データは、すべてあらかじめ決められたフォーマット形式にてエクスポートされる機能を実装する。
8. 画像解像度「1280×1024」に合わせて画面を設計する。

7) 既存の支援機器データを基にした対応表の確認と修正

既存の支援機器活用状況に関するデータについては、「障害者の自立支援機器の活用及び普及促進に求められる人材育成のための機器選択・活用等に関する調査研究（平成30年度～令和元年度障害者政策総合研究事業）」において障害当事者および機器選定者からwebアンケートで収集した実際に利用されている支援機器のデータを使用する（研究代表者筑波大学上野友之）。

小児を対象とした支援機器に関する調査については、茨城県立医療大学付属病院および筑波大学附属病院に入院または外来通院し、リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）を受診されている肢体不自由児の養育者を対象にWeb上でアンケート調査を実施する。調査項目は児の年齢、児の性別、支援機器、支援機器の名称、支援機器を使用する場所・場面・使用方法、屋内の移動手段、屋外の移動手段の7項目とした。児の移動手段からみた重症度により、どのような支援機器が使用されているのかを検討するとともに、それらの支援機器と既存の支援機器データとの対応を見る

8) 既存の支援機器データベースと作成した対応表の関連整理

既存のデータベースに関する調査結果を基に、ICF の分類と支援機器の分類を対応づけているものを抽出し、関連表として整理した。また、過去の研究結果等を基にして、支援機器データの数値化に向けた対応表の構造を検討した。

（倫理面への配慮）

被験者を対象とした調査については、国立障害者リハビリテーションセンター研究倫理審査委員会および関係する施設の倫理審査委員会の承認を得て実施する。また、対象者には口頭または書面にて説明を行い、同意を得るものとする。

C. 研究結果

1) 既存の福祉・支援機器に関するデータベースの情報集約

英語サイトのデータベースは、15件のサイトが抽出され、そのうち8件は1,000件を超える品目が掲載されているものであった。掲載品目の分類は、生活場面によるものが採用されているものが多く、また、キッチンや寝室など、具体的な場所によって分類されているものもあり、特徴的であった。

日本国内のデータベースでは、8件が抽出され、500件程度の品目を扱うところから、10,000件を超える品目を扱うものまでであった。掲載品の分類では、介護保険の福祉用具貸与・購入制度で対象となる項目を意識したものが目立ち、それ以外にも用具ごとの分類となっている点が特徴的であった。また、（一社）テクノエイド協会のデータベースでは、ISO9999に準拠したTAISコードにより分類を行っていた。

アメリカ・イギリス以外のサイトでは、11件のデータベースが抽出された。その中で、EASTINや Assistive Technology Australia, Portale SIVA, The National Board of Social Services ASSISTDATA（デンマーク）など、公的機関のデータベースが抽出され、それらは、ISO9999福祉用具の分類と用語を基に分類がなされている点は、特徴的であった。また、ドイツのケルン経済研究所が運営している REHADAT では、ISO9999の分類コードとともに、ICFの分類コードも記載されており、注目すべき点で

ある。

2) ICF およびISO9999 の現状把握

ICF 関連の動向として、ICD の改訂作業が終了し、ICD11 に生活機能の章 (V 章) が設けられた点が抽出された。これより、生活機能についても疾患の情報と関連付けられて数値化される可能性が高まる可能性が示された。ICF の改訂の動向では、生活機能に関しては多くの改訂が進められているものの、環境因子についての改訂はまだ数が少ないことが示された。ICF の支援機器に関する環境因子の項目は、生活支援機器、移動機器、コミュニケーション機器、教育関連機器、就労関連機器、文化・レクリエーション・スポーツ関連機器、宗教関連機器の 7 つであり、ISO9999 の大分類と比較しても数が少ない。これらの点も考慮して、ICF の改訂を進めることも必要である。

WHO のグローバルレポートの作成作業では、研究開発から利活用の方法論、政策も含めたシステム思考での考え方が基本となっていた。本研究で進めるガイドラインの作成においても、これらの視点を取り込み、グローバルな展開につなげられるものとする必要性も指摘された。また、このような包括的な知見のとりまとめには、用語の共通化も重要であることが指摘されており、共通言語である ICF をコアとした機器のマッピングの意義についても指摘された。

ISO9999 の改訂の動向から、支援機器の定義に関する重要な改訂が進められており、そこでは ICF で示される生活機能が核となる点と、その負の表現である障害を低減することが、改めて支援機器の役割である点が示された。また、認知機能支援機器やその他の先端的な機器の台頭も課題として議論されており、支援機器分野の発展のスピードに、規格や制度がどのように対応できるのかという問題提起も示された。

3) 支援機器の利用状況および関係する専門職の状況把握—専門職インタビューの結果について

ヒアリングの結果、補装具や日常生活用具の範囲

に含まれない多様なスマートデバイスが、意思伝達装置や環境制御装置と同等の用いられ方をしていることが示された。特に、罹患前に利用していたシステムやコミュニケーションツールを継続利用することが、スマートデバイス選択の大きな動機となっていた。一方で、これらを選択した際には、トラブル時に公的な支援を受けられないといった課題もあり、利用者側に一定の情報機器に関するリテラシーが求められることが示唆された。

このようなリテラシー・スキルは、支援者側にも求められ、情報技術に通じたエンジニアの支援が望まれる場合もあった。適切な機器選択には日々進歩する情報技術のフォローが必須であり、専門職に相当の自助努力が求められることが示唆された。一方で、商材の適合に秀でた販売業者へのリーチが技術的知識の不足を補い得ることも指摘された。

4) 原因疾患別の支援機器利用状況の整理—認知機能関連の支援機器について

認知機能を補う支援機器として 37 種類の代表的な支援機器が抽出され、製品あたり 1~6 個の ICF コードをつけることができた。

ICF 対応表を作成した結果、機器で支援する活動・参加領域として、日課の遂行 d230、健康に注意すること d570、コミュニケーション用具および技法の利用 d360、さまざまな場所での移動 d460、調理 d630、食べること d550、コミュニティライフ d910、レクリエーションとレジャー d920、宗教とスピリチュアリティ d930、自分の身体を洗うこと d510、非言語的メッセージの表出 d335、飲むこと d560、物品とサービスの入手 d620、調理以外の家事 d640 が挙げられた。一方で、探し物発見器のように、使用可能な生活場面の特定が難しく、活動・参加のコードをつけにくい製品は存在した。

支援する精神機能としては、記憶機能 b144、見当識機能 b114 が該当した。

一方で、排泄 d530 や更衣 d540 などを支援する機器はなかった。

5) 原因疾患別の支援機器利用状況の整理—感覚機能関連の支援機器について

(耳鼻科領域、眼科領域関連の支援機器に関する情報収集および対応表作成について)

耳鼻咽喉科領域では、聴覚障害ではフラッシュベル、バイブレーション機能がついた時計、電話音量増幅器、スピーカーシステム、UD トークなどのアプリケーションなどが見られた。音声言語機能障害では電気式人工喉頭やプロボックス、ピークフローメーターや巻き笛、AAC (Augmentative and Alternative Communication : 拡大代替コミュニケーション) として使用するレッツチャット、トーキングエイド、伝の心、オリヒメなどが挙げられた。そしゃく嚥下機能障害ではリハビリテーションの際に使用するペコパンダ、舌接触補助床 (PAP)、JMS 舌圧計などや、摂食時に使用する K スプーン、箸ぞうくんなど、口腔ケアで使用する吸引付き歯ブラシなど、栄養補助食品などとしてアイソカルなどが挙げられた。

眼科領域では抽出できた機器を確認すると、保有視覚を利用するいわゆるロービジョン (低視覚) の状態で利用する機器と、視覚を利用せず他の感覚 (聴覚、触覚) で代行して当該動作を行う機器とに大別された。また抽出できた機器を、今回の研究班全体で作成している ICF の心身機能・構造を縦軸、活動・参加を横軸とする二次元の表に ISO9999/支援機器を配置するマップをベースとし、ISO9999/支援機器と ICF の心身機能・構造、活動・参加とを対応づけるデータベースに配置し、対応表の素案を作成した。

6) 支援機器のICF 対応表の作成

素案作成では、義肢装具が、身体の中の部位を補完するものであるか、部位について検討した後、『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—(初版)』3桁のコードとその下位項目である4桁のコードの記載事項全体を読んだ上で、そこに含まれる全ての身体部位をイメージして、身体の中の部位が該当するかを検討し、またエクセルのICFコード表(3桁)の縦(心身機能、身体構造)と横(活動と参加)の

それぞれの項目の交点部分に相当するセルについて、身体の中の部位が該当するかを検討した。

上記の各セルについて、身体の中の該当部分に相当する義肢装具を、ISOコード(6桁)において検討し、6桁のコード番号と用語を入力し、義肢装具に関するISOとICFの対応表を作成した。

データベースは、トップメニューを支援機器の登録、ICF、ISO、ユーザのマスターデータで構成した。登録画面では、基本情報として、支援機器の種類、型番、メーカー、カテゴリ、価格、画像、説明文、備考などを登録できる仕様にした。また、ISO、ICFの編集ボタンを配置し、同ボタンを押すことで、別画面にて、ISO、ICFのコードを検索、登録することができるようにした。ISO、ICFの登録は複数可能とし、支援機器とISO/ICFの対応づけの際、登録を行う各研究班メンバーが、関係性の確信度について3段階の評価を行い、確信度が低いものについては、他の研究者や医療関連専門職と協議し、その結果を反映して、修正することを可能とした。

7) 既存の支援機器データを基にした対応表の確認と修正

既存の支援機器活用状況に関するデータについては、「障害者の自立支援機器の活用及び普及促進に求められる人材育成のための機器選択・活用等に関する調査研究(平成30年度~令和元年度障害者政策総合研究事業)」において、令和2年2月28日までwebアンケートを実施し、結果をまとめているところである。

小児を対象とした支援機器に関する調査についてはアンケートフォームを外部業者に委託発注したところである(令和2年6月より調査開始予定)。

8) 既存の支援機器データベースと作成した対応表の関連整理

既存のデータベース(REHADAT)に収載されている製品に付されたICFのコードとISO9999のコードから、心身機能、身体構造、活動・参加のそれぞれのコードが付されている支援機器を抽出したところ、個々の支援機器が作用を及ぼす生活機能の特

徴が示された。ほとんどの支援機器は、主に活動・参加に作用するものであるが、医療関連用具、技能教育・訓練用具、義肢装具では、心身機能への作用が主となる特徴があった。また、義肢・装具では身体構造への作用が主となることが考えられ、他の機器とは特徴が異なる点が指摘された。

REHADAT の ICF・ISO9999 対応表では、支援機器が作用を及ぼす生活機能への対応を表している。これに対して、ICF の心身機能と身体構造は、利用が想定される対象者の特徴を表すことも考えられ、前述の義肢・装具や医療関連用具、技能訓練用具を除けば、多くの支援機器は活動・参加に主に作用することが示された。

D. 考察

1) 既存の福祉・支援機器に関するデータベースの情報集約

世界各国での支援機器のデータベースに関する主にネット上での調査結果から、データベースの分類では、ICF の活動・参加が示すような生活場面による分類が行われているものと、ISO9999 が活用されているものが抽出された。特に公的機関のデータベースでは、ISO9999 を基に分類がなされているという特徴がみられた。

2) ICF および ISO9999 の現状把握

ICF と ISO9999、WHO の動向に関する調査結果から、多くのステークホルダーが関わる支援機器分野では、改めて共通認識をもつためのツールの必要性が指摘されたと考えている。その核としては、ICF と ISO9999 の分類や用語の活用が妥当であり、それらを基にしたツールとして対応表は必要とされている。また、支援機器の利活用には、システム思考の考え方も重要であり、ガイドライン作成には、利活用のみ視点ではなく、開発や政策などの複数の視点が必要である点も指摘された。

3) 支援機器の利用状況および関係する専門職の状況把握

専門職インタビューの結果について

適合のプロセスにおいては、機器の選択肢が増えたことで、求められる機能に対する最適解が一意に定まらず、利用者の意思決定を支援することの重要性が指摘された。支援機器選択にユーザが積極的に関与することは、機器の継続的な活用につながる重要な要素であることが先行研究で指摘されている。また、機器の選択肢などの情報提供は、機器使用の満足度向上に効果的であることも示されている。新規性の高いスマートデバイスの適合においても、同様のアプローチがとられていることは注目に値する。

4) 原因疾患別の支援機器利用状況の整理－認知機能関連の支援機器について

本研究の結果、認知機能を補う代表的な支援機器に対して、ICF コードで分類できない製品はなかった。一方で、使用可能な生活場面の特定が難しく、活動・参加のコードをつけにくい製品は存在した。

ICF 対応表を作成することで、認知症者のための既存の支援機器としては、記憶機能や見当識機能を補うことで、健康に注意することや、日課の遂行や、さまざまな場所での移動などを支援する機器については製品があるが、中等度以上の認知症者で支障になる排泄や更衣を支援する機器等はなく、この領域の支援機器のアンメットニーズが明らかになった。

本研究は、海外のウェブサイト 1 つだけを用いた調査であり、軽度認知症の人に適応のある共用品は含まれていないという限界はあるが、支援機器のアンメットニーズを体系的に把握する上で、ICF が有用であることを示唆する結果であった。

5) 原因疾患別の支援機器利用状況の整理－感覚機能関連の支援機器について

(耳鼻科領域、眼科領域関連の支援機器に関する情報収集および対応表作成について)。

耳鼻咽喉科領域では、IT 機器の進歩により、各領域において、パソコンやスマートフォンを使用したアプリや音声文字情報処理システムの進歩が目すべきところとなっている。一方でパソコンやスマートフォンは汎用機器であり、公費での補助にはなじまないところがあるため、これらを当事者にどのよ

うに普及していくかは問題が残るところである。また、構造は単純だが、非常に有用な支援機器が使用されていることが明らかとなり、その使用方法を広く知らせることで有益な情報となり得る可能性がある。

視覚障害に関しても各種のデジタルデバイスや人工知能を用いたスマートグラスなども視覚に障害を持つ人が自立した生活を送るためのサポートツールとして、今後、ますます有用性が高まることは必至である。支援機器の中には新旧が交代する製品も現れると思われるが、多くは両者が混在しながら活用されていくものと予想される。現在既に、タブレット端末やスマートグラスを日常生活用具として認めている自治体もみられるが、今後、どの程度ニーズが生じるのか、またそれに対して、限りある予算の中でどの程度対応できるのか、注視する必要があると思われる。

6) 支援機器のICF 対応表の作成

対応表の項目の決定および義肢装具、移動機器の対応表作成について。

素案作成に関して、義肢装具は、身体の部位を補完するものであり、それぞれの義肢装具は、どこの身体部位を補完するものか明確に定まっている。そのため、義肢装具と ISO との対応は容易に関連づけることができる。

その一方、ICFにおける生活機能分類は、活動と参加など、必ずしも身体部位を特定するのが容易ではない項目が多々あり、対応づけが難しいものが見られた。解釈により対応づけが異なる可能性が考えられ、今後の課題と考えられた。

今回作成したデータベースでは、個々の支援機器/ISO と ICF の心身機能、身体構造、活動と参加の複雑な関係をデータとして扱い、一つの画面で対応づけの作業を行うことができる。また、対応づけが難しい項目については、確信度を付し、対応付けの妥当性を複数名で協議、評価することができる。なお、特定の支援機器に対して利用者の心身機能、身体構造、活動と参加がどのように関連するかは、義肢装具や認知機能関連機器など、支援機器のカテ

ゴリにより異なる可能性がある。また、現状の対応表の案である ICF の縦（心身機能、身体構造）と横（活動と参加）を軸とする 2 次元の表は、データ整理には適しているが、リハ関連専門職が機器の選定や適合に直接活用するには適さない可能性がある。

以上より、対応づけた支援機器/ISO と ICF との関係をどのような形で選定や適合に活用し、医療関連職に伝えていくかが今後の課題である。

7) 既存の支援機器データを基にした対応表の確認と修正

既存の支援機器活用状況に関するデータは、障害当事者アンケートを全国障害者連合、肢体不自由特別支援学校等に、機器選定者用アンケートを日本リハビリテーション病院協会加盟施設、日本福祉用具供給協会加盟事業所等に広く回答依頼を送付しており、既存の福祉・支援機器に関するデータベースにはない支援機器の活用状況等が新たに明らかになることが期待される。

小児を対象とした支援機器に関する調査については移動の重症度により使用する支援機器（用具）の種別が明らかになるとともに、ADLのどのような場面で用いられているのかが明らかになることが期待される。

8) 既存の支援機器データベースと作成した対応表の関連整理

ドイツの支援機器データベース REHADAT の対応表と本研究で作成する対応表との関連に関する調査結果から、ICF の心身機能・身体構造と活動・参加を 2 軸にしたマトリックス上に支援機器をマッピングすることで、利用者の特徴とその機器が作用を及ぼす活動・参加を表すことが可能である。これは、支援機器を利用する際に重要となる、利用者の状況と利用場面との関係を表すツールとなり、支援機器の利用促進に向けた視座を与えることができる。この点を考慮して、ICF・支援機器対応表では、これらの 2 軸を一つの出力フォーマットとして考えることとした。また、これらの対応表を用いた数値化の例

として、REHADATに収載されている製品のICF分類とISO9999分類との比較を行ったところ、支援機器の状況を数値によって表せることが示された。

E. 結論

本年度は、ICFと支援機器の対応表の素案の作成、および支援機器利用状況の現状把握を目標に研究を実施した。その結果、以下の知見を得た。

- 1) 世界各国の支援機器のデータベースでは、ICFの活動・参加が示すような生活場面による分類が行われているものと、国際規格であるISO9999が活用されているものが抽出された。
- 2) ICFおよびISO9999の動向として、ICFの改訂、WHO支援機器のグローバルレポートの作成、ISO9999の改訂の状況を把握し、今後実施するガイドライン作成作業に向けた考慮点を整理した。
- 3) 支援機器の利用状況および関係する専門職の状況把握。専門職インタビューの結果については、主に意思伝達装置や環境制御装置を代替、ないしは補助する形でのスマートデバイスの利用が進んでいることが明らかになった。インターネットやSNSの利用が選択の動機であり、コミュニケーション手段の多様化が利用拡大の一因となっていた。適切な機器の選択には、支援者側にも知識の継続的な拡充が求められ、大きな負担になり得ることが示唆された。
- 4) 認知機能を補う支援機器をICF対応表に整理することが実施可能であり、ICF対応表の作成により、機器の検索だけでなく、機器開発につながる可能性を含むアンメットニーズを明らかにする可能性も示唆された。
- 5) 耳鼻咽喉科領域の3障害（聴覚、音声言語、そしてく嚥下）については、当事者および訓練や診療を行う医療者から調査を行い、支援機器の調査と整理を行った。視覚障害については、支援機器を

調査し、ISO9999/支援機器とICFの心身機能・構造、活動・参加とを対応づけるデータベースに視覚障害関連の支援機器として抽出された新旧の支援機器を配置し、対応表の素案を作成した。

- 6) 支援機器のICF対応表の素案作成では、義肢装具を例とし、ISOのコード（6桁）をICFのコード（3桁）の表（縦：心身機能、身体構造。横：活動と参加）に入力し、ISOとICFの対応表を作成した。データベースの作成では、FileMaker Vr.18を用い、支援機器の製品情報、関連するISOのコード、ICFの心身機能、身体構造、活動と参加の項目について、確信度を付して対応づけられるデータベースを作成した。
- 7) 小児を対象とした支援機器に関する調査について、倫理審査も含めて準備を完了した。
- 8) 既存の支援機器データベースと作成する対応表の関連を得られた情報から整理し、ICFの心身機能・身体構造と活動・参加を2軸にした対応表を作成することとした。

次年度は、これらの結果を基に、対応表の作成およびガイドライン作成に資する情報整理を実施する予定である。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Linda-Jeanne Elsaesser, Stephen Bauer, Emily Steel, Emma Friesen, Takenobu Inoue, The value of vocabulary standards towards improving access to assistive technology, Grobal Report on effective access to Assistive Technology, WHO.(in submission)
- 2) 井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈, ICF活用の実際と

展望第 7 回福祉機器, 総合リハビリテーション,
第 47 巻, 第 11 号, pp.1126-1129,2019.

- 3) 井上剛伸, 活動・参加に向けた歩行支援機器の意義, バイオメカニズム学会誌 (印刷中) .

2. 学会発表

- 1) Linda-Jeanne Elsaesser, Stephen Bauer, Emily Steel, Emma Friesen, Takenobu Inoue, The value of vocabulary standards towards improving access to assistive technology, Grobal Report on Assistive Technology Consultation, WHO,2019.

- 2) 井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈, WHO 国際分類ファミリーの最近の動向, 第 35 回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会, 2019.

- 3) 井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来.ICF を活用した支援機器のマッピング.第 8 回厚生労働省 ICF シンポジウム, 2020.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

無

2. 実用新案登録

無

3. その他

無

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

既存の支援機器に関するデータベースの情報集約

研究代表者 井上剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
研究所福祉機器開発部長

研究要旨 支援機器は、障害者や高齢者の生活を支援する機器として、広く利用されているものの、それらの情報は各所に散在しており、支援機器の適切な導入・利用に課題が生じている。これらを改善するために、支援機器の情報を集約するための仕組みが必要とされている。本研究は、そのために必要となる、現状の支援機器のデータベースの状況を把握することを目的とする。世界各国での支援機器のデータベースに関する主にネット上での調査を実施し、その取扱品目数、掲載品目の分類等について、情報を収集した。その結果、データベースの分類では、ICFの活動・参加が示すような生活場面による分類が行われているものと、公的機関ではIS09999が活用されているという特徴がみられた。

A. 研究目的

支援機器は、障害者や高齢者の生活を支援する機器として、広く利用されているものの、それらの情報は各所に散在しており、支援機器の適切な導入・利用に課題が生じている。これらを改善するために、支援機器の情報を集約するための仕組みが必要とされている。本研究は、そのために必要となる、現状の支援機器のデータベースの状況を把握することを目的とする。

B. 研究方法

インターネット上で公開されている、おもな国内・国外の支援機器に関するデータベースを抽出するとともに、それらのデータベースの掲載品目、使用している分類、掲載情報の項目、掲載している商品数について調査した。

インターネットを用いて、公開されているおもな支援機器のデータベース、カタログ、支援機器の展示会における出展品目リストについて以下の情報を抽出した。

(1) データベース（カタログ）の名称

(2) データベース（カタログ）を作成している団体、国

(3) データベース（カタログ）の掲載品目

(4) データベース（カタログ）で使用している支援機器の分類およびその項目、およその商品数

(5) 主要製品の掲載情報の項目例

抽出するデータベース（カタログ）は、国内については掲載商品数 300 点以上、国外については掲載商品数 1,000 点以上を対象とした。また、国外調査の対象は、英語の記載のあるものを対象とした。

（倫理面への配慮）

本研究は、インターネット上での情報収集を行う調査研究であり、倫理面の配慮は特に必要ない。

C. 研究結果

調査の結果以下のようなデータベースが抽出された。

ア. 英語サイト

1. エssenシャルエイズ (英国)

取扱品目数：1,945 以上
掲載品目分類：モビリティ、バスルーム、トイレ、キッチン・ダイニング、ベッドルーム、家庭、衣類着用、子供
 2. コンプリートケアショップ (英国)

取扱品目数：1,000 以下
 3. NRS ヘルスケア (英国)

取扱品目数：2,184
掲載品目分類：バスルーム・トイレ関連、ベッドルーム関連、飲食サポート関連、モビリティ関連、その他高齢者・障害者用家庭サポート
 4. エイダケア (オーストラリア)

取り扱い品目数：1,000 以下
 5. マネジアットホーム (英国)

取扱品目数：1,412
掲載品目分類：ホーム一般、モビリティ、バスルーム、ベッドルーム、キッチン&ダイニング、リビングルーム、屋外
 6. アビリティ・アウェア (英国)

取扱品目数：1,000 以下
 7. モビリティ・エイド・センター (英国)

取扱品目数：1,140
掲載品目分類：歩行サポート、車椅子、モビリティ、生活サポート、家庭、動作、各症状対応サポート
 8. アビリティ・スーパーストア (英国)

取扱品目数：2,504 以上
掲載品目分類：バスルームサポート用品、日常生活サポート用品、モビリティ、キッチン・ダイニング、ベッドルーム、リクライニング
 9. モビリティ UK (英国)

取扱品目数：1,084
掲載品目分類：ベッド関連、背中・整形外科関連、入浴サポート、着席・起立サポート、飲食サポート、エクササイズ・リハビリ等、安全・転倒防止、家庭内・キッチンサポート、移動・扱いサポート、圧力緩和サポート、直立・リクライニング椅子、電動スクーター関連、階段昇降リフト、トイレサポート、車いす
 10. UKS モビリティ (英国)

取扱品目数：1,852
掲載品目分類：トイレサポート、入浴サポート、歩行サポート、家庭用品、キッチン・飲食、小児サポート、移動・扱いサポート、モビリティ、傾斜ステップ、ベッド・チェア、衣類着用サポート
 11. ボサート・メディカル (オーストラリア)

取扱品目数：1,000 以下
 12. ディサビリティ・インフォ南アフリカ (南アフリカ)

取扱品目数：1,000 以下
 13. リヴィング・メイド・イージー (英国)

取扱品目数：1,000 以下
 14. オジケア・エクイップメント (オーストラリア)

取扱品目数：1,000 以下
 15. リハブ・マート (米国)

取扱品目数：2,011
掲載品目分類：バス (トイレ) ルーム、入浴サポート、ベッドルーム、モビリティ、杖、患者移動・扱いサポート、歩行サポート、失禁サポート、飲食サポート
- イ. 日本国内
1. ダスキンヘルスレント

取扱品目数：726
掲載品目分類：車いす車いす付属品、歩行器・歩行車・松葉杖・杖、介護ベッド・電動ベッド・付属品、床ずれ防止用具・体位変換器、手すり、スロープ・移動用リフト、入浴関連商品、排泄関連商品、シルバーカー・杖・歩行補助関連商品、便利グッズ、衣類、防災関連商品
 2. ケア太郎

取扱品目数：5,960 以上
掲載品目分類：介護用品館、シニア用品館、健康用品館、施設・法人館
 3. ヤマシタ

取扱品目数：458

- 掲載品目分類：部屋で過ごす、歩いて移動する、車いすで移動する、お風呂に入る、排泄する、知らせる・見守る、便利に暮らす
4. アイケア健康福祉通販ショップ
 取扱品目数:2,700 以上
 掲載品目分類：車いす、杖、シルバーカー、シューズ、持ち上げ介助ゼロ、入浴関連、食事関連、寝具関連、床ずれ予防関連、排泄・トイレ関連、おむつ関連、衣料・洗濯関連、手すり・段差解消、認知症関連用品、介護用家具、その他、アウトレット
5. ケアタウン
 取扱品目数:5,025
 掲載品目分類：ホーム、介護靴、車椅子、つえ、シルバーカー、介護ベット、パジャマ、床ずれ予防、食器、入浴用品、介護トイレ、住宅改修、自助具
6. 介護隊
 取扱品目数:107,071
 掲載品目分類：食事関連、入浴関連、ベッド関連、衣類、歩行関連、排泄関連、住宅改修、日常生活、健康管理、住環境用品、衣料・施設、その他
7. FEED メディカルケア
 取扱品目数:2,837
 掲載品目分類：感染予防、おむつ・トイレ用品、消耗品・入浴・清拭、洗浄・消毒、衛生材料、食事用品、口腔ケア、診察・処理、ベット関連用品・歩行・移動用品、施設備品、ユニフォーム、バステリユニフォーム、リハビリ・レクリエーションテクノエイド協会
 取扱品目数：13,738
 掲載品目分類：TAIS コード (ISO9999 準拠)
- ウ. アメリカ・イギリス以外のサイト
1. EASTIN
 取扱品目数:69,040
 掲載品目分類：ISO9999
 ※世界規模での支援機器データベースネットワーク
2. Assistive Technology Australia (豪州)
 取扱品目数:7,796
 掲載品目分類：寝具、建具・建築装備、衣類、コミュニケーション関連用具、PC 周辺機器、衛生雑貨、飲食補助用具、環境改善機器、ライブラリ、移送機器、修理サービス、関連団体・その他のサービス、レクリエーション用具、イス、車周辺機器、就労・職業訓練用具、業務用機器・用具、家事用具、衛生用品、移動補助機器、車椅子
3. Portale SIVA (イタリア)
 取扱品目数:4,106
 掲載品目分類：ISO9999
4. Independent Living Centres Australia (ILC)
5. REHACARE INTERNATIONAL (国際展示会 独 2019 年)
 取扱品目数:1,431
 掲載品目分類：日用品ケア用品及び衣類、作業・就労関連、バリアフリー建築・家具、子ども向け用品、コミュニケーション関連用具、医療用具、移送機器・車いす・移動補助機器、義肢・装具、パーソナルケア関連用具、レクリエーション用具、物理療法・作業療法、関連団体・その他サービス
6. The National Board of Social Services ASSISTDATA (デンマーク)
 取扱品目数:15,515
 掲載品目分類：ISO9999
7. Mobility centre life unlimited (ニュージーランド)
 取扱品目数:982
 掲載品目分類：家具、リハビリ用具、歩行用杖、日用品及び家事用具、バリアフリー建築、衛生雑貨、移動機器、トイレ及び浴室、歩行器、車椅子
8. etac (Nordic welfare assistive devises shop)
9. EXPOSANITA' (イタリア)
10. World Health Organization
11. Oslo Assistive Technology Centre (ノルウェー)
12. REHADAT (ドイツ)

掲載品目分類：IS09999

※ICF のコード表記あり

調査結果の詳細については、付録参照のこと。

D. 考察

英語サイトのデータベースは、15 件のサイトが抽出され、そのうち 8 件は 1,000 件を超える品目が掲載されているものであった。掲載品目の分類は、生活場面によるものが採用されているものが多く、また、キッチンや寝室など、具体的な場所によって分類されているものもあり、特徴的であった。

日本国内のデータベースでは、8 件が抽出され、500 件程度の品目を扱うところから、10,000 件を超える品目を扱うものまでであった。掲載品の分類では、介護保険の福祉用具貸与・購入制度で対象となる項目を意識したものが目立ち、それ以外にも用具ごとの分類となっている点が特徴的であった。また、テクノエイド協会では、IS09999 に準拠した TAIS コードにより分類を行っていた。

アメリカ・イギリス以外のサイトでは、11 件のデータベースが抽出された。その中で、EASTIN や Assistive Technology Australia, Portale SIVA, The National Board of Social Services ASSISTDATA (デンマーク) など、公的機関のデータベースが抽出され、それらは、IS09999 福祉用具の分類と用語を基に分類がなされている点は、特徴的であった。また、ドイツのケルン経済研究所が運営している REHADAT では、IS09999 の分類コードとともに、ICF の分類コードも記載されており、注目すべき点である。

以上より、データベースの分類では、ICF の活動・参加が示すような生活場面による分類が行われているものと、公的機関では IS09999 が活用されているという特徴がみられた。

E. 結論

本研究では、世界各国での支援機器のデータベースに関する主にネット上での調査を実施し、その取扱品目数、掲載品目の分類等について、情報を収

集した。その結果、データベースの分類では、ICF の活動・参加が示すような生活場面による分類が行われているものと、公的機関では IS09999 が活用されているという特徴がみられた。

尚、本研究では WIP ジャパン株式会社の協力を得た。

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

1) 井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来. ICF を活用した支援機器のマッピング. 第8回厚生労働省 ICF シンポジウム, 2020.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

付録：調査結果詳細

ア. 英語サイト

1. エssenシャルエイズ (英国)

会社名	Essential Aids		
ウェブサイト	https://www.essentialaids.com/		
会社住所	52 The Drove way, Hove, East Sussex, BN3 6PP 英国		
取扱い品目数	1,945 以上		
掲載品目大分類	モビリティ、バスルーム、トイレ、キッチン・ダイニング、ベッドルーム、家庭、衣類着用、子供		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	モビリティ	杖・歩行フレーム・関連グッズ	150 以上
		取っ手・ハンドル	87
		電動スクーター	13
		車いす	65
		車いす関連用品	300 以上
		手押しカート	66
		着席関連用品	56
		小計	737 以上
	バスルーム	シャワー用車いす・関連用品	39
		浴室内サポート・安全グッズ	250 以上
		小計	289 以上
	キッチン・ダイニング	サポートデザイン飲食用品・カップ	200 以上
		キッチントロリー	11
		サポートデザイン調理用具	100 以上
		小計	311 以上
	ベッドルーム	寝起きサポート用品	39
		防水ベッドシート類	43
		就寝用レッグ・ボディ補助	16
		ベッド用取っ手・ハンドル	44
		小計	142
家庭用品	リーチャー	18	
	つまみ等回し補助	20	
	セキュリティ・アラーム装置	40	

		小計	78
衣類着用		靴下・ストッキング着用補助	29
		衣類着用補助	28
		小計	57
子供		子供用モビリティ用品	29
		動作補助	39
		小計	68
		合計品目数	1,945 以上

室内トイレ
<https://www.essentialaids.com/toileting/mobile-commodes/ocean-wheeled-shower-commode-chair.html>

製品掲載
例

Ocean Wheeled Shower / Commode Chair



£349.99 (£419.99 inc VAT)

Please choose an option... ▼

Quantity:

ADD TO BASKET

[Email us a question](#)
[Print this page](#)
[Add to wishlist](#)
★★★★★ 1 Review(s) | [Add Your Review](#)
[NHS](#) NHS staff - request quote

This item is available at zero rate VAT for those legally entitled to exemption. **0% VAT** ✓

Share this page... [f](#) [t](#) [p](#)

This Ocean Wheeled Shower / Commode Chair is a versatile bathing and toileting aid.

It can be used in the shower to provide a comfortable place to sit, making it ideal for elderly or disabled people that find it hard to wash themselves.

A removable commode pan enables the chair to double up as a commode.

The aluminium frame is both strong and lightweight, and is treated to be resistant to water corrosion.

For optimum user comfort, the armrests, backrest, and seat are padded with soft, waterproof cushions.

To allow for easy transportation and storage, the chair can be easily disassembled and folded.



The maximum user weight of the Ocean Wheeled Shower / Commode Chair is 150kg (23 1/2 stone).

Seat height: 520mm (21 inches).

Seat width: 410mm (16 inches).

Seat depth: 410mm (16 inches).

Width between arms: 450mm (18 inches).

Aperture diameter: 160mm (16 1/4 inches).

Weight: 10kg (1 1/2 stone).

The Ocean Wheeled Shower / Commode Chair comes complete with a perforated seat for use in the shower.

Related Categories

- [Raised Toilet Seats](#)
- [Bed Pads](#)
- [Waterproof Bedding](#)
- [Static Commodes](#)
- [Support Rails](#)
- [Mobile Commodes](#)
- [Adjustable Toilet Frames](#)
- [Bed Pans](#)
- [Cushions for Toilets & Commodes](#)
- [Incontinence Pants](#)
- [Urinals](#)

Related Products

- [Aquamaster \(A06\) Attendant Propelled Shower Commode Chair](#)
- [Lenham Height Adjustable Mobile Commode](#)
- [Flat Packed Linton Mobile Wheeled Commode](#)

2. コンプリートケアショップ (英国)

URL : <https://www.completecareshop.co.uk/>

かなり幅広く取りそろえるが品目数は 1,000 以下

3. NRS ヘルスケア (英国)

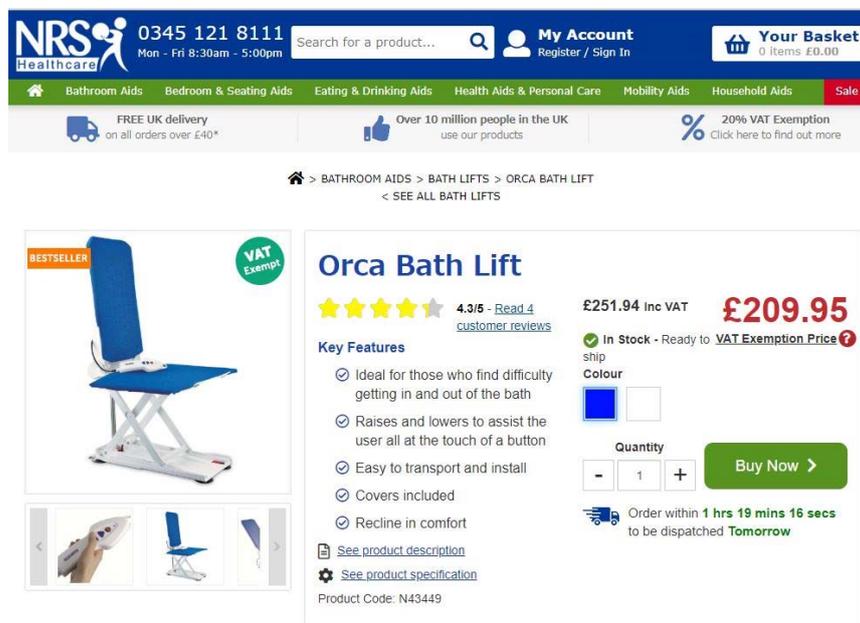
会社名	NRS Healthcare		
ウェブサイト	https://www.nrshealthcare.co.uk/		
会社住所	Sherwood House, Cartwright Way, Forest Business Park, Bardon Hill, Coalville, Leicestershire, LE67 1UB 英国		
取扱い品目数	2,184		
掲載品目大分類	バスルーム・トイレ関連、ベッドルーム関連、飲食サポート関連、モビリティ関連、その他高齢者・障害者用家庭サポート		
	大分類	小分類	品目数
		肥満症対策グッズ	31
		バスシート	10
		バスクッション	6
		バスリフト	19
		バスマット	7
		バスステップ	10
		バス取っ手レール	3
	バスルーム・トイレ関連	バスルーム小物	9
		バスルームつかまり取っ手	17
		バスルーム安全用品	16
		着替えベンチとシャワートロリー	19
		子供用バス用品	82
		シャワー用座椅子	118
		トイレ用品	231
		その他	52
		小計	630
		ベッドルーム関連	ベッドサポート用品
	ベッド・マットレス		32
	子供用ベッド用品		63
	姿勢サポート		78
	家具嵩上げ		22
	圧力緩和用品		99
掲載品目小分類			

	その他	66
	小計	422
飲食サポート関連	大人用エプロン	8
	抗菌カップ・プレート	6
	子供用飲食用品	74
	カップ・ストローなど	64
	テーブルウェアサポート	81
	飲み物準備サポート	15
	食事準備サポート	35
	その他	60
	小計	343
	モビリティ関連	車モビリティサポート
子供用モビリティ		45
移動・扱いサポート		146
歩行サポート		80
車椅子用傾斜ボードなど		26
車いすクッション・小物		48
車いす		21
その他		11
小計		390
		その他高齢者・障害者用家庭サポート
	合計品目数	2184

製品掲載例

バスリフト

<https://www.nrshealthcare.co.uk/bathroom-aids/bath-lifts/orca-bath-lift>



4. エイダケア (オーストラリア)

<https://www.aidacare.com.au/>

かなり幅広く取りそろえるが品目数は 1,000 以下

5. マネジアットホーム (英国)

会社名	Manage At Home Your Online Medequip Retail Store		
ウェブサイト	https://www.manageathome.co.uk/		
会社住所	Armytage Road, BRIGHOUSE, HD6 1QF 英国		
取扱い品目数	1,412		
掲載品目大分類	ホーム一般、モビリティ、バスルーム、ベッドルーム、キッチン&ダイニング、リビングルーム、屋外		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	ホーム一般	アクセサビリティ	43
		健康・福祉	34

	余暇・エクササイズ	26
	聴覚・視覚サポート	43
	ワイヤレス機器	24
	小計	170
モビリティ	車椅子・スクーター	78
	歩行器	55
	杖・フレーム	80
	傾斜バリアフリー・ボード	38
	移動・扱い	19
	小計	270
	入浴関連	99
バスルーム	シャワー関連	84
	トイレサポート	144
	洗身用具	37
	小計	364
ベッドルーム	ベッド・マットレス	79
	ベッド用品	92
	ベッド寝起き補助	49
	衣類着用サポート	36
	小計	264
キッチン・ダイニング	キッチン補助	61
	食事準備	35
	飲食サポート	72
	小計	168
リビングルーム	座椅子	87
	着席起立関連用品	24
	着席補助サポート	18
	小計	129
屋外	安全・セキュリティ	7
	アクセス用具	12
	自動車関連	12
	ガーデニング関連	14
	ショッピング関連	2
	小計	47
	その他高齢者・障害者用家庭サポート	399
	合計品目数	1,412
製品掲載例	折り畳み杖	

https://www.manageathome.co.uk/pd/adjustable-folding-walking-stick-with-wooden-handle_10194

Manage@home
Your Online **med@home** Retail Store

VAT Relief FAQ Live Support
Keyword or product code

Freephone: 0808 281 2576
Basket: (0 items)

Around The Home Mobility Bathroom Bedroom Kitchen & Dining Living Room Outdoors

FREE DELIVERY ON ORDERS OVER £50 TRY OUR SELF HELP GUIDE HIRE EQUIPMENT FOR USE AT HOME

Home / Mobility / Walking Sticks & Walking Frames / Walking Sticks / Adjustable Folding Walking Stick with Wooden Handle

Our Code: 10194 / (EAN): 456****

Adjustable Folding Walking Stick with Wooden Handle

VAT Relief

This adjustable folding walking stick has a smart wooden handle and a black aluminium shaft. It is extremely strong and comes complete with a rubber tip.

Save up to £2.92 with VAT Relief

ADD TO BASKET:

Select Size

1

from £17.50 £14.58 ex VAT

Add to Basket

Write a review

Share page: Facebook Email Print

Description Reviews Delivery and Returns Enquiry

PRODUCT DESCRIPTION

Need help with something?
Chat with us now

Or call us FREE on: 0808 281 2576

This adjustable folding walking stick has a smart wooden handle and a black aluminium shaft. It is extremely strong and robust and comes complete with a rubber tip.

This ingenious foldable walking stick "snaps" open in a second and is easily folded away to fit in a bag, pocket or pouch. The stick is supplied with a plastic wallet.

The adjustable folding walking stick comes complete with a handy little strap to help prevent dropping the stick. The correct size for your folding walking stick is the same distance as between your wrist and the floor.

There are 3 adjustable sizes available 29" to 33", 31" to 35" or 33" to 37".

PLEASE NOTE: Size 29-33" is currently out of stock until August 11th - please call our freephone number on 0808 281 2576 for advice on alternative products.

Product Enquiry Product Reviews

6. アビリティ・アウェア (英国)

<https://www.abilityaware.com/> かなり幅広く取りそろえるが品目数は1000以下。

7. モビリティ・エイド・センター (英国)

会社名	Mobility Aids Centre		
ウェブサイト	https://www.themobilityaidscentre.co.uk/		
会社住所	88 South Street, Stanground, Peterborough, PE2 8EZ 英国		
取扱い品目数	1,140		
掲載品目大分類	歩行サポート、車椅子、モビリティ、生活サポート、家庭、動作、各症状対応サポート		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	歩行サポート	歩行サポート用品	48
		杖類	24
		特別サポート機器	6
		小計	78
	車いす	手動車椅子	42
		その他の車椅子	18
		アクセサリ	50
		小計	110
	生活サポート	キッチン・飲食サポート用品	103
		日常サポート用品	66
		コンフォート促進	95
		支持具・療養	51
		小計	315
	家庭	失禁対策用品	37
		ベッド・チェア関連	20
		サポート家具関連	79
		入浴サポート用品	110
		トイレサポート用品	99
		小計	335
患者移動・扱い	移動サポート	47	
	身体・腕吊り具・支持具	17	
	飲食サポート	1	
	小計	65	

	各症状対応サポート	痴ほう・パーキンソン病・アルツハイマー	13
		子供用器具	17
		関節炎	48
		肥満対策	25
		小計	103
合計品目数			1,140
製品掲載例	ショッピングカート https://www.themobilityaidscentre.co.uk/carlett-rollator-shopping-trolley		

8. アビリティ・スーパーストア (英国)

会社名	Ability Superstore		
ウェブサイト	https://www.abilitysuperstore.com/		
会社住所	The Mill, Gertrude Street, Nelson BB9 8RS 英国		
取扱い品目数	2,504 以上		
掲載品目大分類	バスルームサポート用品、日常生活サポート用品、モビリティ、キッチン・ダイニング、ベッドルーム、リクライニング		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数

	バスルームサポート用品	バスルーム・グッズ	121
		バスルーム改装	10
		シャワー・グッズ	71
		トイレ・グッズ	236
		洗身関連	91
		小計	529
	日常生活サポート用品	取っ手・レール・掴みサポート	73
		アラーム・通信・電子機器・セキュリティ等	72
		リーチャー	34
		音声通知各種機器	41
		その他	60以上
		小計	280以上
	モビリティ	車モビリティ用品	21
		杖	15
		家庭用エレベーター	3
		電動座椅子スクーター・アクセサリ	45
		傾斜ステップボード・レール	26
		手押し車・アクセサリ	95
		ショッピングカート	7
		歩行サポート・アクセサリ	29
		歩行杖アクセサリ	85
		車いす各種	29
		車いすアクセサリ	208
		小計	563
	キッチン・ダイニング	ジャーオープナー類	30
		清掃用品	33
		調理サポートグッズ	133
		カップ・カトラリー類	192
		ダイニングカート	16
		食卓用立ち座り椅子	27
		滑り止めマット	25
		その他	80以上
		小計	536以上

			上
	ベッドルーム	枕、サポートクッション	40
		ベッドパッド類	25
		高さならいベッド	6
		マット	18
		手すり・傾斜付きマット類	46
		転落防止グッズ	18
		マットレス調整グッズ	17
		移動用スライディング・シート類	30
		身体固定・吊り上げ・脚吊り具等	100以上
		その他	120以上
		小計	420以上
	リビングルーム	椅子関連	30
		クッションなど	46
		リクライニングチェア	20
		立ち上がりサポート	10
		その他	70以上
		小計	176以上
	合計品目数		2,504以上

製品掲載例

室内トイレ

<https://www.abilitysuperstore.com/products/norfolk-height-adjustable-stacking-commode>

Bathroom Aids Daily Living Aids Mobility Aids Kitchen & Dining Aids Bedroom Aids Living Room Aids Health Care Leisure & Outdoors

WE SUPPLY THE NHS FREE DELIVERY ON ORDERS OVER £30 BASED IN THE UK FRIENDLY CUSTOMER SERVICE

[Home](#) > [Commodes](#) > Norfolk Height Adjustable Stacking Commode



Norfolk Height Adjustable Stacking Commode

PRODUCT CODE: 49247

Option: 5 litre

Are you exempt from paying VAT?

£44.99 inc VAT	£37.49 exc VAT
You are <u>not eligible</u> for VAT exemption.	You have a relevant disability or are purchasing on behalf of someone with a relevant disability. More information
<input checked="" type="checkbox"/> I PAY VAT	<input type="checkbox"/> I DON'T PAY VAT

Quantity: 1 [ADD TO BASKET](#)

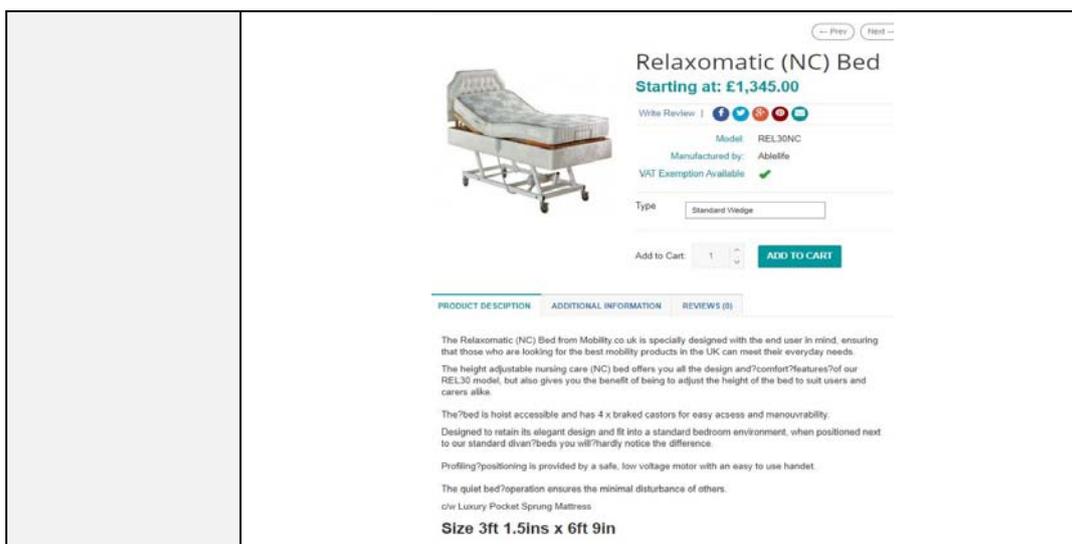
The Norfolk stacking commode has many fantastic features such as a height adjustable frame and adjustable sliding pan rack. The adjustable pan rack allows the commode to accommodate a 5, 10 or 20-litre bucket with lid. The seat and back are vinyl welded for hygiene and safety. The Commode is available in the standard model with 5 or 10-litre pans, or a 5-litre pan with a hinged thermoset plastic toilet seat.

Specifications - Colour: Black and brown - Width between arms: 505mm - Depth of seat: 350mm - Height from floor to top of seat: 480mm - 570mm - Height from floor to top of back: 800mm - 900mm - Height of arms of seat: 225mm - Max user weight 25st (154kg)

9. モビリティ UK (英国)

会社名	Able Life Products		
ウェブサイト	http://www.mobility.co.uk/		
会社住所	11 Guild Way, South Woodham Ferrers, Chelmsford, CM3 5TG 英国		
取扱い品目数	1,084		
掲載品目大分類	ベッド関連、背中・整形外科関連、入浴サポート、着席・起立サポート、飲食サポート、エクササイズ・リハビリ等、安全・転倒防止、家庭内・キッチンサポート、移動・扱いサポート、圧力緩和サポート、直立・リクライニング椅子、電動スクーター関連、階段昇降リフト、トイレサポート、車いす		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	ベッド関連	調整可能ベッド	8
		ベッドサポート	19
		ベッド取っ手	7
		固定・コンフォート	9
		小計	43
	背中・整形外科関連	背中用クッション・ウェッジ	44
		ブレース・支持具	76
		枕	31
		小計	116
	着席・起立サポート	椅子・クッション類	23
		衣服着用・身だしなみサポート	21
		小計	44
	飲食サポート	エプロン・保護服	6
		カップ・カトラリー	80
		プレート	9
		小計	95
	エクササイズ・リハビリ等	リハビリサポート用品	32
		ハンド・エクササイズ	11
		足回りサポート	24
		小計	67
安全・転倒防止			36
家庭内・キッチンサポート	取っ手・ハンドル	43	
	キッチンサポート	26	
	投薬サポート	14	

		滑り止めなど	36
		ハサミ・テーブル小物など	32
		小計	119
	移動・扱いサポート		22
	圧力緩和サポート	クッション	45
		マットレスなど	24
		小計	69
	直立・リクライン椅子		11
	電動スクーター関連		44
	階段昇降リフト		2
	トイレサポート用品	指示・表示サポートグッズ	14
		室内トイレ	40
		失禁対策	64
		尿瓶その他	29
		小計	147
	歩行・モビリティ	歩行フレーム・杖	49
歩行サポート小物など		30	
小計		79	
車いす	手動車椅子	9	
	電動車椅子	9	
	車いすアクセサリ	31	
	小計	49	
合計品目数		1,084	
製品掲載例	調整可能ベッド http://www.mobility.co.uk/adjustable-beds/relaxomatic-bed		



10. UKS モビリティ (英国)

会社名	UKS Mobility		
ウェブサイト	https://www.uksmobility.co.uk/		
会社住所	385 Washway Road, Sale, Greater Manchester, M33 4FJ 英国		
取扱品目数	1,852		
掲載品目大分類	トイレサポート、入浴サポート、歩行サポート、家庭用品、キッチン・飲食、小児サポート、移動・扱いサポート、モビリティ、傾斜ステップ、ベッド・チェア、衣類着用サポート		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	トイレサポート	スタンダード室内トイレ	31
		車輪付き室内トイレ	18
		シャワー付き室内トイレ	24
		室内トイレ・アクセサリ	34
		トイレ便座	39
		トイレサポートグッズ類	68
		尿瓶類	21
		トイレルーム取っ手・ハンドル	31
		小計	266
	入浴サポート	バスリフト・アクセサリ	38
		バスボード・シート・ステップ	43
		シャワーシート類	82
		シャワー用トイレ	51
バスルーム安全グッズ		95	
小計		309	
歩行サポート	歩行フレーム・アクセサリ	53	

		杖類	43
		モビリティ・アクセサリ	17
		小計	113
	家庭用品	取っ手・掴みなど	44
		カート、腰掛、ステップ	70
		日用品・読書サポートなど	60
		セキュリティ対策関連	69
		小計	95
	キッチン・飲食	調理・食事準備	34
		テーブル用品・カトラリー・コップ類	135
		その他	38
		小計	207
	小児サポート	入浴・トイレ	27
		座椅子・着席サポート	33
		モビリティ	26
		支持具	43
		小計	129
	移動・扱いサポート	移動ボード・回転台	44
		スライドシート・支持ベルト	41
		身体等吊り具	41
		小計	115
	モビリティ	電動スクーター	4
		電動車椅子	20
手動車椅子		21	
車いすアクセサリ		81	
小計		126	
傾斜ステップ	敷居越え	22	
	レールステップ	10	
	その他ステップ	48	
	小計	80	
ベッド・チェア	身障者用ベッド	9	
	ベッド・アクセサリ	86	
	身障者用座椅子	19	
	座椅子アクセサリ	71	
	転倒対策グッズ	10	

		小計	195						
	衣類着用サポート		69						
	合計品目数		1,852						
製品掲載例	<p>トイレ移動スライドボード https://www.uksmobility.co.uk/etac-dolphin-transfer-board</p>  <p>Etac Dolphin Transfer Board Availability: In stock £211.00 INCL. TAX: £253.20</p> <p>Product Code: ETAC-IM409</p> <p>Qty: <input type="text" value="0"/> ADD TO BASKET >></p> <p>Add to Compare</p> <p>Click to Enlarge</p> <p>More Views</p>  <p>INFO & CARE DELIVERY RETURNS RECYCLE PROCESS</p> <ul style="list-style-type: none"> • Etac Dolphin Transfer Board • The Dolphin Board is designed for assisted and independent transfer from a wheelchair to the toilet. • It has the additional benefit of remaining in position during toilet use. • The wheelchair cut outs allow transfer from either side of the toilet. • Strong and lightweight, the board is rigid with no flex during transfer. • Colour: White • Specifications: <table border="1"> <tr> <td>Length</td> <td>690mm (27")</td> </tr> <tr> <td>Width At Widest Point</td> <td>380mm (15")</td> </tr> <tr> <td>Weight</td> <td>1.65kg</td> </tr> </table>			Length	690mm (27")	Width At Widest Point	380mm (15")	Weight	1.65kg
Length	690mm (27")								
Width At Widest Point	380mm (15")								
Weight	1.65kg								

11. ボサート・メディカル (オーストラリア)

<https://www.bosshardmedical.com.au/>

データベース・会社名 : Bosshard Medical

合計取扱品目数 : 身障者用・高齢者用福祉器具を扱う。品目数は 1,000 以下。

12. ディサビリティ・インフォ南アフリカ (南アフリカ) <http://disabilityinfosouthafrica.co.za/>

データベース・会社名 : Disability Info South Africa

合計取扱品目数 : 身障者用・高齢者用福祉器具を扱う。品目数は 1,000 以下。

13. リヴィング・メイド・イージー (英国)

<https://www.livingmadeeasy.org.uk/>

データベース・会社名 : DLF Shaw Trust

合計取扱品目数 : 11,000 以上だが、ウェブサイト掲載の品目数は 1,000 以下。身障者用・高齢者用福祉器具以外にも多くのアイテムを扱う

14. オジケア・エクイップメント (オーストラリア)

<https://www.ozicareequipment.com.au/>

データベース・会社名 : OziCare Equipment

合計取扱品目数 : 身障者用・高齢者用福祉器具を扱う。品目数は 1,000 以下。

15. リハブ・マート (米国)

会社名	RehabMart.com, LLC		
ウェブサイト	https://www.rehabmart.com/		
会社住所	不詳		
取扱い品目数	2,011		
掲載品目大分類	バス (トイレ) ルーム、入浴サポート、ベッドルーム、モビリティ、杖、患者移動・扱いサポート、歩行サポート、失禁サポート、飲食サポート		
掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	バス (トイレ) ルーム	室内トイレ	21
		室内トイレ用品	24
		ウオシュレット	7
		トイレサポートその他	20
		小計	72
	入浴サポート	バスルーム腰掛	52
		バスルーム・チェア	20
		壁取付シャワー腰掛	12
		バス安全マット	11
		シャワーヘッド	8
		バスタブ取っ手	8
		その他バス用品	20
		子供用バスサポート	10
		高さ調整バスタブ	11
		横アクセス可能バスタブ	23
		車いす用バスルーム	34
		小計	209
	ベッドルーム	アジャスタブル・ベッド	21
		安全囲い付きベッド	21
		患者固定ベッド帯	10
		ベッド用取っ手	9
		ベッド用安全用品	34
宙づり取っ手		12	
ベッド取っ手、支持具、その他		61	
保護用レール		31	
圧力緩和マットレス		177	
小計	376		

	モビリティ	電動車椅子	27
		手動車椅子	20
		軽量人間工学車椅子	25
		全地形用車椅子	11
		スポーツ用車椅子	3
		高背もたれ・リクライン車椅子	15
		子供用車椅子	14
		大型車椅子	16
		その他車椅子	28
		バリアフリー傾斜ボード類	52
		小計	208
	杖	杖全般	48
		杖アクセサリ	59
		小計	107
	患者移動・扱いサポート	患者移動器具	129
		シャワー・バス移動椅子	35
		移動援助用具・ボード	65
		歩行ベルト	40
		ストレッチャー類	24
		子供用移動サポート	6
		小計	299
	歩行サポート	椅子付き歩行器	42
		ローラター歩行器	69
		その他歩行器	16
		歩行フレーム	81
		ひざ用ローラター	14
		歩行器全般アクセサリ	78
		小計	260
	失禁サポート	着用パッド	103
		ベッドパッド	52
		カテーテル・管固定用品	74
		小計	229
	飲食サポート	カトラリー類	92
カップ・プレート類		88	
エプロン・保護具		25	

		子供用飲食サポート用品	46
		小計	251
	合計品目数		2,011

製品掲載例

ハンド固定バンド

<https://www.rehabmart.com/product/norco-universal-cuff-7863.html>

Home > Feeding Aids > Feeding Utensils and Accessories

Norco Universal Cuff Utensil and Pen Holder

★★★★★ 4 of 5 star customer rating (Read Reviews)

View More: [Eating Utensils and Accessories](#)



List Price: \$24.24
 Sale Price: **\$15.74**
 Save 35%
 Rehabmart ID: 7863
 SKU #: NCM-NC35344
 MPN: NC35344
 Brand: North Coast
 Rehabmart is a certified North Coast authorized dealer!



Shipping Info

Add to Cart

Norco Universal Cuff Utensil and Pen Holder

About The Norco Universal Cuff Utensil and Pen Holder

The Norco Universal Cuff Utensil and Pen Holder is an adaptive utensil accessory that assists people with disabilities in performing everyday tasks requiring use of the hand. Made of comfortable cotton, the Universal Cuff fits around the top of the hand and includes a pocket, sewn shut at one end, that holds the handle or shaft of eating utensils and silverware.

Product Benefits:

- Easy to put on and take off
- Holds cutlery, pens, and pencils
- Adjusts with a D-ring strap adjustment
- Designed with a hook and loop closure
- Fits palms measuring 7" to 8" in circumference

This product is non-returnable.

Product Specifications / Dimensions

- Palm Circumference: 7" - 8"
- Pocket Dimensions: 3" L x 1" W (7.6cm x 2.5cm)

イ. 日本についての調査

1. ダスキンヘルスレント

(1)データベース名称	ダスキンヘルスレント	https://healthrent.duskin.jp/	
(2)会社名	株式会社ダスキン		
(3)掲載品目大分類	車いす車いす付属品、歩行器・歩行車・松葉杖・杖、介護ベッド・電動ベッド・付属品、床ずれ防止用具・体位変換器、手すり、スロープ・移動用リフト、入浴関連商品、排泄関連商品、シルバーカー・杖・歩行補助関連商品、便利グッズ、衣類、防災関連商品		
(4)掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	車いす 車いす付	自走式	53
		介助式	37
		電動タイプ	68
		子ども用	1
		クッション	6
		その他の付属品	3
		小計	168
	歩行器・歩行車・松葉杖・杖	歩行器	7
		歩行車(屋外)	5
		歩行車(屋内)	14
		歩行補助杖	10
		小計	36
	介護ベッド・電動ベッド・付属品	和夢シリーズ	6
		みおレットシリーズ	2
		楽匠シリーズ	4
		その他のシリーズ	4
		マットレス	6
		移乗用補助具	2
		小計	24
	床ずれ防止用具・体位変換器	静止型マットレス	9
		圧切り替え型エアマットレス	8
		体位変換器	5
小計		22	
手すり	屋内用	20	

		屋外用	1
		トイレ用	4
		小計	25
	スロープ・移動用リフト	スロープ	3
		移動用リフト	11
		小計	14
	入浴関連商品	シャワーチェア	2
		シャワーキャリー	1
		浴槽台踏み台	5
		手すり	2
		その他	12
		小計	22
	排泄関連商品	おむつ関連	1
		ポータブルトイレ	3
		便座	2
		小計	6
	シルバーカー・杖・歩行補助関連商品	靴	6
		杖	5
		歩行補助車シルバーカー	10
		その他	2
		小計	23
	便利グッズ	食事関連	2
		口腔ケア衛生関連	5
		コミュニケーション用品	9
		その他	24
小計		43	
衣類	肌着・靴下類	2	
	サポーター	2	
	その他	1	
	小計	5	
防災関連商品	でるキャップ	1	
	防災頭巾 大人用	1	
	小計	2	
合計品目数			726

<https://healthrent.duskin.jp/products/bousai/B-6-1/index.html?link=type>

防災ずきん 大人用

販売 防災



参考価格
販売価格 **4,400円**

※掲載商品は予告なくデザイン・仕様・価格の変更や取扱いの中止をすることがありますので、予めご了承ください。
※消費税（10%）込みの価格です。

[>購入品の料金について](#)

お電話でのお問い合わせ
0120-100100
フリーダイヤル/年中無休

お見積もり・お問い合わせ ▶

(5) 製品掲載例

2. ケア太郎

(1)データベース名称	ケア太郎	http://caretaro.com/	
(2)会社名	ブティックス株式会社（英文名：Boutiques, Inc.） 会社案内はこちら http://btix.jp 、日本		
(3)掲載品目大分類	介護用品館、シニア用品館、健康用品館、施設・法人館、		
(4)掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	介護用品館	車椅子	82
		シルバーカー 95+	95
		杖、ステッキ	300以上
		歩行器	250
		介護靴、シューズ	300以上
		介護ベッド、寝具	351
		床ずれ予防用品	189
		介護衣類、つなぎ服	191
入浴、風呂用品	116		

		トイレ、排泄用品	250
		介護用おむつ	300 以上
		住宅関連用品	300 以上
		階段昇降機	1
		移乗リフト	4
		食事関連用品	300 以上
		看護、見守り	300 以上
		生活支援用品	300 以上
		リハビリ用品	132
		小計	3761 以上
	シニア用品館	杖、ステッキ	300 以上
		靴、ケアシューズ	300 以上
		シルバーカー	244
		ショッピングカー	88
		電動カート	17
		サポーター、コルセット	78
		機能性ウェア	300 以上
		ルーペ、老眼鏡	300 以上
		拡大読書器	21
		かつら、育毛用品	0
		座椅子	9
		小計	1657 以上
		健康用品館	ルームランナー
	フィットネスバイク		26
	クロストレーナー		18
	ウォーキングボール		110
	トレッキングボール		17
	ダンベル、バーベル		48
	グラウンドゴルフ		0
	ゲートボール		0
	小計		224
	法人向け卸通販サービス	法人向け卸通販サービストップ	300 以上
		小計	300 以上
合計品目数		5942 以上	

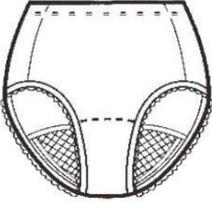
(5)製品掲載例

<http://carentaro.com/shopdetail/109001000112/116/005/Y/page1/recommen>
[nd/](#)

けあ太郎トップ>介護用品館>★おむつ>失禁パンツ>【グンゼ】婦人失禁ショーツ(ウエスト天引)

【グンゼ】婦人失禁ショーツ(ウエスト天引)

電話でのご注文・ご相談は、商品番号をお伝えください ▶ **商品番号: 520-09999** ▶ **このページを印刷する**



KR109-WEL-1-937014
 メーカー希望小売価格:1,980円
販売価格: 1,980円 (消費税込の価格です)
 獲得ポイント:19 ※非課税商品は非課税価格

カラー
 [ベージュ] ▼

サイズ
 [M] ▼

数量 ▶ **カートに入れる** ▶ お届けまでの日数
 ▶ 返品・交換について

▶ 写真を拡大する

こちらの商品は、3月9日(月)午後2時までにクレジットカード または 代金引換でご注文いただくと、
3月9日(月)に出荷いたします!

「後払い」「銀行振込」の場合、与信・入金確認のため上記翌日の出荷となる場合がございます。注文が集中した場合等、万一上記日付に出荷できない場合はご連絡致します。ご了承下さい。

3. ヤマシタ

(1)データベース名称	ヤマシタ	https://www.ycota.jp/		
(2)会社名	株式会社ヤマシタ			
(3)掲載品目大分類	部屋で過ごす、歩いて移動する、車いすで移動する、お風呂に入る、排泄する、知らせる・見守る、便利に暮らす			
(4)掲載品目小分類	部屋で過ごす	大分類	小分類	品目数
		介護ベッド	53	
		マットレス	37	
		ベッド付属品	68	
		床ずれ防止	1	
		防水シート	6	
		移乗用具	3	
		介護リフト	13	
		体位変換	15	
		手すり	5	
	小計	201		
	歩いて移動する	杖	20	
リハビリシューズ		3		

		歩行器	9
		歩行車	25
		シルバーカー	6
		手すり	11
		段差解消機	1
		昇降座椅子	3
		いす式階段昇降機	1
		小計	79
	車いすで移動する	車いす（自走）	14
		車いす（介助）	9
		車いす（ティルト・リクライニング）	8
		電動車イス	10
		車いす付属品	8
		車いすクッション	13
		スロープ	6
		段差解消機	2
		車いす階段昇降機	2
		小計	71
	お風呂に入る	シャワーチェア	6
		浴槽内イス	4
		浴槽てすり	3
		バスボード	2
		すのこ	2
		入浴介助ベルト	1
		シャワーキャリー	2
		お風呂用品	3
		介護リフト（入浴）	3
		簡易浴槽	1
		小計	27
	排泄する	トイレ手すり	5
		ポータブルトイレ	13
		立ち上がり補助便座	8
		自動排泄処理装置	3
トイレ用品		10	
小計		39	

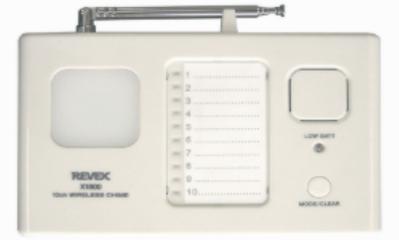
	知らせる・見守る	認知症支援	12
		呼び出しブザー	2
		小計	14
	便利に暮らす	衣類	8
		介護食器	12
		自助具	7
合計品目数			458

(5)製品掲載例

<https://www.ycota.jp/item/13239>

商品コード：II-156

おうちでコール




音と光でお知らせする便利な呼び出しチャイムです。

- 音と光でお知らせします。
- 小型・軽量なので携帯に便利です。
- ご自宅でも施設でも活躍します。

サイズ：受信機 幅12.7×奥行4.3×高さ7.5cm 送信機 幅4.6×奥行2.3×高さ7.4cm
 商品構成：受信機、送信機2台、受信機用ACアダプター
 電 源：受信機 付随ACアダプターもしくは単2形アルカリ電池×3本 送信機/ボタン電池（CR2032）×2枚

メーカー：リーベックス

販売価格 ¥7,260 (税込)

4. アイケア健康福祉通販ショップ

(1)データベース名称	アイケア健康福祉 通販ショップ	http://www.icare-life.jp/	
(2)会社名	株式会社 あかね福祉 郡山営業所		
(3)掲載品目大分類	車いす、杖、シルバーカー、シューズ、持ち上げ介助ゼロ、入浴関連、食事関連、寝具関連、床ずれ予防関連、排泄・トイレ関連、おむつ関連、衣料・洗濯関連、手すり・段差解消、認知症関連用品、介護用家具、その他、アウトレット		
(4)掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	車いす	各種車いす	57
		車いす関連商品	26
		小計	83
	杖	セール、在庫処分杖	3
		各種杖	300 以上
		杖用アクセサリ	35
		小計	338 以上
	シルバーカー、歩行器	在庫処分品・セール品	14
		シルバーカー	72
		歩行器、歩行車、ショッピングカート	66
		小計	152
	シューズ	在庫処分シューズ	25 以上
		各種シューズ	20
		小計	270 以上
	持ち上げ介助ゼロ	乗り移り用具	7
		介護リフト	10
		小計	17
	入浴関連	セール・在庫処分品	27
		浴槽台・浴槽内いす、シャワーチェア、手すり	379
他浴槽内付属商品		16	
小計		422	
食事関連	介護食、栄養補給食品	262	
	食事用具、エプロン、口腔ケア等	83	
	小計	345	
寝具関連	ベッド	1	
	手すり、ベッド用テーブル、	10	

		マットレス、エアーマット、シーツ、 布団カバー等	84
		他付属品等	27
		小計	122
	床ずれ予防関連	在庫処分品	1
		エアーマット、除圧マット、クッション 等他	75
		小計	76
	排泄、トイレ関連	在庫処分品	7
		ポータブルトイレ等	200 以上
		ポータブルトイレ付属品等	17
		小計	224 以上
	おむつ関連	ゼール品、限定品	5
		おむつ関連	185
		おむつ回収車	2
		小計	192
	衣料、洗濯関連	ミトン型介護手袋	119
		介護寝まき、肌着、消臭剤等	24
		小計	143
	手すり、段差の解 消	屋内外スロープ	23
		上りかまち用手すり、踏み台	24
		その他付属品	25
		小計	72
	認知症関連用品	いたづら防止用品	42
		通報装置、徘徊感知器、コミュニケー ション人形	30
小計		72	
介護用家具	テーブル、各種イス	10	
	小計	10	
その他	車両関連用品	19	
	備品等	18	
	小計	37	
アウトレット	大人用おむつ、排泄関連、等	164	
	小計	164	
	合計	2,739 以上	

<http://www.icare-life.jp/category.php?lar=11&mid=82&sma=87&m=small>

約1~3回分吸収



約1~3回おしっこを吸収。こまめに交換のできる方むけの尿とりパッドです。※1回あたり約150ccとして換算。

約1~3回分吸収

[1ページ前へ戻る](#)

[1つ上のカテゴリーへ](#)

約1~3回分吸収商品一覧

商品No.12089



アデント 下着につける尿とりパッド
42枚入 (約2回分吸収)

尿とりパッド
●約2回分吸収●13.5×45cm●1枚あたり18.8円から (税抜)

897円から

商品No.12090



アデント 下着につける尿とりパッド
ダブル消臭21枚入 (約2回分吸収)

尿とりパッド
●約2回分吸収●13.5×45cm●1枚あたり28.8円から (税抜)

693円から

商品No.13564



ライフリー 尿とりパッド男女兼用
45枚入 (約3回分吸収)

尿とりパッド
●約3回分吸収●28×49cm●1枚あたり25.7円から (税抜)

1,494円から

(5) 製品掲載例

5. ケアタウン

(1)データベース名称	介護用品を販売する日本最大級の通販【ケアタウン】	http://caretown.info/	
(2)会社名	ブティクス株式会社 〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 11 階		
(3)掲載品目大分類	ホーム、介護靴、車椅子、つえ、シルバーカー、介護ベット、パジャマ、床ずれ予防、食器、入浴用品、介護トイレ、住宅改修、自器具		
(4)掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	介護靴・シューズ	あゆみ（施設院内用）	164
		快步主義（女性用）	28
		室外用	41
		施設・院内用	164
		室内用	48
		片足販売	73
		左右サイズ違い	63
		はれ・むくみのある方	159
		装具をお使いの方	37
		リハビリ用	115
		小計	892
	車椅子	自走用	98
		自走介助兼用	56
		介助用	73
		リクライニング	60
		携帯用	6
		コンパクトタイプ	10
		軽量タイプ	28
		背折れ式	107
		小計	438
	杖・ステッキ	一本杖(伸縮性あり)	357
		一本杖(伸縮性なし)	248
		折り畳み（伸縮あり）	301
		折り畳み（伸縮なし）	37
		多点杖・四点杖	129

		松葉杖・クラッチ	121
		登山・ハイキング用	13
		白杖	34
		杖立て・杖止め	35
		つえ先ゴム	79
		小計	1354
	シルバーカー・歩 行器	コンパクト・座面なし	7
		コンパクト・座面あり	70
		ボックス・座面あり	31
		軽量タイプ	27
		歩行器タイプ(固定型歩行器・キャ スター付き歩行器・交互型歩行器・ 肘支持型歩行車・四輪歩行車・サイ ドウォーカー)	225
		ショッピングカー	15
		お散歩に使いたい	45
		買物かご搭載可	17
		小計	437
	介護ベット・寝具・ 布団	3 モーター	85
		2 モーター	83
		1 + 1 モーター	5
		1 モーター	82
		折り畳み収納式	0
		マットレス (一般用)	5
		マットレス (体圧分散)	21
		小計	281
	介護パジャマ 肌 着・衣類	紳士パジャマ	28
		婦人パジャマ	23
		紳士肌着	35
		婦人肌着	36
		入院・療養用	41
		リハビリ用	18
		認知症の方向け	33
		肩・腕開き	1
		小計	215
		床ずれ予防・体圧	ムートン製シーツ

	分散用品	体位変換クッション	27
		車いす用クッション	10
		円座・角座	8
		マットレス	24
		ムートン素材	12
		ビーズ素材	31
		ジェル素材	17
		足・踵用	12
		ひじ用	8
		小計	154
	食器・エプロン・ 吸い飲み	マグカップ・湯のみ	26
		箸・スプーン等	55
		食事用エプロン	19
		吸いのみ	22
		小計	122
	シャワーチェア・ 入浴用品	標準タイプ	34
		折りたたみ式	64
		ひじ掛け付き	70
		背もたれ付き	95
		座面が回転	15
		コンパクトタイプ	41
		バスボード	27
		手すり・グリップ	26
		浴槽内いす	69
		シャワーキャリー	59
		小計	500
	介護用トイレ・排 泄関連	樹脂タイプ	54
		木製家具タイプ	74
		コンパクトタイプ	34
		肘掛けはね上げ	46
		暖房+脱臭機能付き	9
		シャワー付き	11
		洋式変換便座	29
		補高便座(便座取付)	31
使い捨て紙パック		4	
小計		292	

	住宅改修用品	玄関用手すり	47
		玄関台	13
		玄関イス	0
		段差スロープ	22
		トイレ用手すり	11
		その他の商品	122
		小計	125
	便利グッズ・介護 する方へ	口腔ケア用品	65
		ヘッドガード	14
		生活用品	44
		センサー関連	30
		電動座椅子	21
		体カトレーニング	35
		健康グッズ	10
		吸引器・血圧計等	7
		便利グッズ	25
		介護する方へお勧め	13
		小計	215
	合計	5,025	

(5)製品掲載例

<http://caretown.info/shopdetail/000000019398/018/005/Y/page1/price/>

前開き七分袖シャツ（プラスチックホック式） 紳士用



商品コード：CT6-CMX-1-U0396-43211
 メーカー希望小売価格：1,760円
販売価格： 1,630 円
 ※消費税込の価格です（非課税商品は非課税価格）
 獲得ポイント：16P

数量

#サイズ

カートに入れる

お気に入りを見る お気に入りに入れる

[写真を拡大する](#)

特長・仕様

6. 介護隊

(1)データベース名称	介護用品を探すなら介護隊	https://www.kaientai.cc/default.aspx	
(2)会社名	株式会社ケアマックスコーポレーション 〒780-0901 高知県高知市上町2丁目6番9号 TEL : 088-820-6087 / FAX : 088-820-6070		
(3)掲載品目大分類	食事関連、入浴関連、ベッド関連、衣類、歩行関連、排泄関連、住宅改修、日常生活、健康管理、住環境用品、衣料・施設、その他		
(4)掲載品目小分類	大分類	小分類	品目数
	食事関連	介護食・健康食品(1638)、箸・スプーン・フォーク(663)	2,301
		カフ・スポンジ(91)、食器類・カップ(876)、吸い飲み器(132)、調理器類(332)、滑り止めマット・オープナー(152)	1,583
		口腔ケア用品(678)、食事用エプロン(476)、食事関連のその他(63)	1,217
		小計	5,101
	入浴関連	シャワーチェア(941)、浴槽台(308)、浴槽手すり(215)、浴槽ボード(73)、バスマット・バスシート(376)、バスリフト・すのこ(88)、簡易浴槽(73)	2,074
		シャワーキャリー(380)、キャリーベルト・入浴用担架(44)	424
		介助用エプロン(148)、防水カバー・バスクッション(38)、入浴小物(219)、入浴剤(250)、清拭剤(417)、保湿剤(119)、清拭タオル(111)、入浴関連(48)	1,350
		小計	3,848
	ベッド関連	ベッド(1775)、ベッドオプション(357)、サイドテーブル・ベッドサイド手すり(136)、マットレス(1115)	3,383
		ベッド周辺用具(63)、寝具(1166)、クッション(1350)	2,579
		移乗用具・介護リフト(508)、ベッド関連等(61)	569
		小計	6,531
	衣類	ねまき(3910)、アウター(2946)、インナー(3115)、ユニフォーム(5881)、	15,852
		衣類小物(612)、ソックス(1552)、サポーター(2571)	4,735

	セーフティ用品(152)、衣類(31)	183
	小計	20,770
歩行関連	▼車いす (6972)▼車いすオプション (3313)▼乗用車 (20)▼屋外用スロープ・電動昇降機 (426)▼歩行車・歩行器 (1837)▼シルバーカー (440)▼ショッピングカート (176)▼杖 (2270)▼杖小物 (752)▼シューズ (15481)▼転倒予防用具 (552)▼自転車 (12)▼歩行関連 (1361)	33,612
	小計	33,612
排泄関連	▼ポータブルトイレ (810)▼簡易便座 (76)▼便座 (327)▼トイレ周辺用具 (627)▼紙おむつ (1409)▼排泄洗浄・清拭 (213)▼採尿・採便 (587)▼排泄関連 (185)	4,234
	小計	4,234
住宅改修	▼踏み台 (292)▼手すり (7589)▼屋内用スロープ (403)▼階段昇降機 (11)▼その他改修 (292)▼住宅改修 (438)	9,025
	小計	9,025
日常生活	▼住宅小物 (212)▼立ち上がり補助いす (244)▼理美容品 (130)▼ADL 用品 (289)▼コミュニケーション補助 (269)▼報知装置 (2029)▼日常生活 (69)	3,242
	小計	3,242
健康管理	▼レクリエーション (1610)▼トレーニング機器 (852)▼トレーニング小物 (995)▼リラクゼーション (542)▼理美容品 (30)▼スポーツ用品 (1185)▼健康管理 (1293)	6,507
	小計	6,507
住環境用	▼機器 (201)▼消耗品 (2019)▼ペーパータオル (165)▼住環境用品 (7)	2,392
	小計	2,392
医療・施設	▼計測器 (885)▼吸引・吸入器 (252)▼ストレッチャー (323)▼施設用備品 (2093)▼施設用家具 (1475)▼衛生材料 (1294)▼その他医療 (464)▼手袋 (1126)▼防護衣 (161)▼マスク (239)▼医薬部外品 (3)▼医療・施設 (1542)	9,857
	小計	9,857
その他	▼リスクマネジメント (565)▼文房具 (50)▼レンタル	1,952

	備品 (42)▼ベビー用品 (184)▼その他 (1111)▼販売非 目的 (11)	
	小計	1,952
	合計	107,071
(5) 製品掲載 例	https://www.kaientai.cc/goods.aspx?webcd=312367 	

7. FEED メディカルケア

(1) データベース 名称	FEED メディカルケア	https://medical-care.feed.jp/	
(2) 会社名	フィード株式会社 〒220-6119 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3 クイーンズタワーB 19 階 TEL : 045(662)4505 FAX : 045(662)4506		
(3) 掲載品目 大分類	感染予防、おむつ・トイレ用品、消耗品・入浴・清拭、洗浄・消毒、衛生材料、 食事用品、口腔ケア、診察・処理、ペット関連用品・歩行・移動用品、施設備品、 ユニフォーム、バスタリユニフォーム、リハビリ・レクリエーション		
(4) 掲載品目 小分類	大分類	小分類	品目数
	感染予防	グローブ、マスク、アイウェア	129
		感染予防衣、感染予防用品	40
		小計	169
	おむつ・ト イレ用品	紙おむつ、軽失禁用尿パッド	28
		失禁下着	2
		おしり清拭用品	22
		ポータブルトイレ	10
		便器、尿器	4
	ポータブルトイレ関連用品 おむつ・トイレ関連	13	

		用品	
		消臭剤・消臭スプレー	11
		紙おむつ（テープ止めタイプ）	15
		紙おむつ（パッドタイプ）	46
		小計	149
	入浴・清拭	清拭用品	25
		ソープ	45
		入浴介助用品、入浴用品	82
		水質管理	2
		タオル、入浴剤、浴室備品	21
		小計	175
	洗浄・消毒	洗浄機器・用品	13
		滅菌用品	19
		手指洗浄・消毒	62
		除菌器具・用品	48
		消毒剤（医薬品）	31
		消毒剤（医薬部外品）	1
		小計	174
	衛生材料	ガーゼ	51
		脱脂綿	13
		清浄・消毒綿	21
		綿球	14
		綿棒	14
		包帯	14
		サージカルテープ	22
		創傷ケア	60
		衛生関連用品	17
		サポーター	14
		アプリーター	4
救急用品		2	
小計		246	
食事用品		食事用エプロン	17
	介護食品	52	
	食品	3	
	介護食器	33	
	業務用食器	2	

		小計	107
口腔ケア		口腔清掃（歯ブラシ、スポンジブラシ）	184
		義歯用品	37
		口腔ケア補助用品	84
		口腔リハビリ・トレーニング	4
		キシリトール含有食品	19
		小計	328
診察・処置		測定用品	84
		処置用品	45
		採血関連用品	4
		コミュニケーション用品	5
		診断用品	13
		診察室用品	62
		調剤関連用品	2
		クリニック備品	9
		小計	224
ベット関連用品		マットレス	27
		床ずれ防止・寝具	59
		拘縮対策	5
		アクセサリー	12
		移乗用具	8
		衝撃吸収マット	2
		センサー関連	11
		ベッド	46
		衣類	2
		小計	172
歩行・移動用品		車いす用品	27
		歩行車・歩行器	27
		スロープ・踏み台	5
		平行棒	2
		車いす	78
		杖アクセサリー	10
		介護シューズ・歩行・移動サポート用品	2
		小計	151
施設備品		ライフケア用品	13
		福祉用家具	44

		カー用品	4
		医療・介護事務用品	16
		文具・事務用品	129
		用紙	6
		投薬関連用品	23
		収納用品・備品	75
		家具・家電	90
		リラクゼーショングッズ	25
		プレゼント用品	11
		小計	436
	ユニフォーム	ケアウェア、メディカルウェア	436
		フットウェア、サポート用品	254
		小計	690
	パステリユニフォーム	メンズ	22
		レディス	29
		ユニセックス	10
		アクセサリー	6
		小計	67
	リハビリ・レクリエーション	スポーツゲーム、桌上ゲーム	106
		トレーニンググッズ	61
		作業療法	37
		手工芸キット	59
		創作材料、イベント用品	210
		小計	473
	合計品目数		2837

(5) 製品掲載例

<https://medical-care.feed.jp/catalog/medical-care/category/1512/product/409004790.html>



ウ. アメリカ・イギリス以外のサイト

1. eastin

団体名：THE GLOBAL ASSISTIVE TECHNOLOGY INFORMATION NETWORK（欧州）

<http://www.eastin.eu/en/searches/Products/Index>

<http://www.eastin.eu/en/searches/Products/Iso>¹

ISO 分類	大分類	件数	構成比
04	医療用具	5,841	8.5%
05	技能訓練用具	1,321	1.9%
06	義肢・装具	2,215	3.2%
09	パーソナルケア関連	12,297	17.8%
12	移動機器	15,730	22.8%
15	家事用具	2,915	4.2%
18	家具・建具、建築装備	11,914	17.3%
22	コミュニケーション関連用具	9,596	13.9%
24	操作用具	3,191	4.6%
27	環境改善機器・作業用具	169	0.2%
28	就労・職業訓練用具	1,758	2.5%
30	レクリエーション用具	2,093	3.0%
	合計	69,040	

ISO	小項目	件数	ISO	小項目	件数
04.33	緩衝材・パッド	2,376	18.12	寝具	2,571
04.48	リハビリ関連用品	1,120	18.09	家具	2,154
04.19	医療用品	444	18.10	家具備品	1,911

¹以下のデータベースを参考にしている

Assistive Technology Australia（豪州）<https://at-aust.org/> Portale SIVA（伊）（英語表記あり）

<http://www.portale.siva.it/en-GB/home/default>、DLF Data（英）

<https://data.dlf.org.uk/info.php?csid=353>、KOC（独）（英語表記なし）<https://www.vlibank.be/> Handicat

（仏）（英語表記なし）、<http://www.handicat.com/>

REHADAT（独）（英語表記なし）、<https://www.rehadat.de/>、The National Board of Social Services（デン

マーク）（英語表記あり）<https://hmi-basen.dk/en/indexdk.asp>

ISO	小項目	件数	ISO	小項目	件数
05.36	歩行器	243	22.27	時計・アラーム・リマインダー	2,485
05.03	教材	373	22.03	視覚補助用具	1,583
06.12	下肢装具	756	22.36	PC 入力補助	1,322
06.06	上肢装具	551	24.18	補助用品	983
06.24	義足	406	24.09	機器操作	607
09.33	洗顔・入浴補助用具	3,028	24.06	オープナー	439
09.12	トイレ補助用具	2,313	27.06	計測	100
09.03	衣類・靴	2,286	27.03	照明・色覚補助	69
12.22	手押し車いす	2,633	28.03	オフィス家具	755
12.23	電動車いす	2,003	28.15	業務用機械・用具	314
12.36	移動補助用具	1,899	28.06	台車	177
15.09	飲食補助用具	1,529	30.03	おもちゃ	1,400
15.03	料理補助用具	765	30.09	スポーツ	370
15.15	裁縫	287	30.12	音楽	183

製品名 : Dash Stowaway Attendant Propelled Wheelchair

カテゴリー : Push Wheelchairs (ISO 分類番号:ISO 12.22.18)

製造者名 : Webster Wheelchairs

登録日 : 14/12/2017

更新日 : 02/03/2020

引用したデータベース情報 : DLF DATA (GB)

製造者の連絡先 (住所・電話番号・Email・Web サイト)

製品情報・詳細 @Magic

<http://www.eastin.eu/en/searches/Products/Detail/database-dlf%20data/id-0120766>

2. 団体名 : Assistive Technology Australia (豪州) ²

<https://at-aust.org/>

大分類	件数	構成比	大分類	件数	構成比
寝具	549	7.0%	ライブラリ	143	1.8%
建具・建築装備	866	11.1%	移送機器	404	5.2%
衣類	332	4.3%	修理サービス	13	0.2%
コミュニケーション関連用具	632	8.1%	関連団体・その他サービス	479	6.1%

² Eastin のデータベース作成の際に協力した機関

大分類	件数	構成比	大分類	件数	構成比
PC 周辺機器	387	5.0%	レクリエーション用具	292	3.7%
衛生雑貨	325	4.2%	椅子	406	5.2%
飲食補助用品	206	2.6%	車周辺機器	279	3.6%
環境改善機器	48	0.6%	就労・職業訓練用具	147	1.9%
業務用機器・用具	33	0.4%	移動補助機器	287	3.7%
家事用具	336	4.3%	車イス	1,020	13.1%
衛生用品	612	7.9%	合計	7,796	

小分類	件数	小分類	件数
寝具	549	食器類	206
浴室・トイレ	487	リモコン・ホームオートメーション	34
床・ドア	231	台所用品	240
台所用品	41	洗濯・掃除	36
手すり	90	昇降機	148
衣類	86	スポーツ	30
靴・手袋・ヘルメット	164	おもちゃ	33
コミュニケーション	195	車周辺機器	279
読み書き補助	115	就労・職業訓練用具	147
電話	128	移動補助機器	287
PC 周辺機器	387	車イス	1020
衛生雑貨	325		

製品名：51cm Seat Bariatric Wheelchair

製品説明

販売価格

問い合わせ先の情報（Web サイト、電話番号記載）

納品業者情報（住所、電話番号、Web サイト）

最終更新日

製品の各部品の詳しい説明・特徴

3 種類からモデルを選択可能（51cm、56cm、61cm）

各モデルの寸法

設定・修理の必要性の有無

必要条件・規格

免責事項

https://at-aust.org/items/11804#product_details

3. Portale SIVA

団体名 : SIVALab (伊) <http://www.portale.siva.it/en-GB/databases/products/list>

ISO	大分類	件数	構成比
04	医療用具	378	9.2%
05	技能訓練用具	67	1.6%
06	義肢・装具	47	1.1%
09	パーソナルケア関連	533	13.0%
12	移動機器	1,304	31.8%
15	家事用具	126	3.1%
18	家具・建具、建築装備	523	12.7%
22	コミュニケーション関連用具	841	20.5%
24	操作用具	194	4.7%
27	環境改善機器・作業用具	2	0.0%
28	就労・職業訓練用具	13	0.3%
30	レクリエーション用具	64	1.6%
89	その他	14	0.3%
	合計	4,106	

4. Independent Living Centres Australia (ILC)

https://ilcaustralia.org.au/search_category_paths

車いす 1,675 件

家具 143 件

大分類での件数の表示なし

Aids for vision and hearing

Bathing, showering and toileting

Children

Communication speak, read and listen

Computer access

Continence products

Design and building for access and safety
 Driving
 Eating and drinking
 Hire, repair and other services
 Kitchen and household tasks
 Listing and transferring people
 Office, workplace and school
 Personal care and dressing
 Products grouped by task
 Recreation, leisure and sports
 Safety and health management
 Scooters, wheelchairs and wheeled mobility
 Seating, sleeping and body support
 Standing aids 52 件
 Switches and remote controls
 Telephones, intercoms and call systems
 Vehicles
 Walking aids

5. REHACARE INTERNATIONAL (国際展示場 独 2019 年)

https://www.rehacare.com/vis/v1/en/search?oid=43530&lang=2&query=&f_type=prodinfo

大分類	件数	構成比
日用品ケア用品及び衣類	89	6.2%
作業・就労関連	13	0.9%
バリアフリー建築、家具	147	10.3%
子ども向け用品	69	4.8%
コミュニケーション関連用具	58	4.1%
医療用具	34	2.4%
移送機器、車いす、移動補助機器	663	46.3%
義肢・装具	31	2.2%
パーソナルケア関連用具	148	10.3%
レクリエーション用具	53	3.7%
物理療法、作業療法	97	6.8%
関連団体、その他サービス	29	2.0%

合計	1,431	
----	-------	--

6. The National Board of Social Services ASSISTDATA (デンマーク)

<https://hmi-basen.dk/en/>

ISO	大分類	件数	構成比
04	医療用具	1,581	10.2%
05	技能訓練用具	67	0.4%
06	義肢・装具	367	2.4%
09	パーソナルケア関連	3,225	20.8%
12	移動機器	3,172	20.4%
15	家事用具	909	5.9%
18	家具・建具、建築装備	2,394	15.4%
22	コミュニケーション関連用具	2,508	16.2%
24	操作用具	806	5.2%
27	環境改善機器・作業用具	56	0.4%
28	就労・職業訓練用具	169	1.1%
30	レクリエーション用具	261	1.7%
	合計	15,515	

7. Mobility centre life unlimited (ニュージーランド)

<https://www.mobilitycentre.co.nz/shop/>

大分類	件数	構成比
家具	105	10.7%
リハビリ用器具	108	11.0%
歩行用杖	83	8.5%
日用品及び家事用具	267	27.2%
バリアフリー建築	67	6.8%
衛生雑貨	130	13.2%
移動機器	72	7.3%
トイレ及び浴室	89	9.1%
歩行器	25	2.5%
車いす	36	3.7%
合計	982	

(その他)

8. etac

Nordic welfare assistive devises shop <https://www.etac.com/products/>

合計数、分類ごとの件数不明（おそらく 1000 件は超えていない）

Bathing and Showering
Mobile shower commodes
Toileting
Small Aids for Daily Living
Hoists and Slings
Manual Transfer
Wheelchairs
Pressure care

9. EXPOSANITA' (イタリア)

2020 年カタログ <http://www.exposanita.it/en/catalogo-online-espositori/espositori/>

件数の表示なし

2018 年実績

来場者数 : 31591 人

出展社数 : 634 社

10. World Health Organization (国際機関)

<https://www.who.int/news-room/articles-detail/open-consultation-assistive-product-specification-drafts>

合計数、分類ごとの件数不明（おそらく 1000 件は超えていない）

Clubfoot braces
Therapeutic footwear
Crutches
Handrails and grab bars
Portable ramps
Manual wheelchairs
Personal wireless remote microphone systems
Medication organizers
Magnifiers optical
Spectacles for low vision and short distance
Braille writing equipment

Mechanical braille typewriter
Talking and touching watches

(その他)

11. Oslo Assistive Technology Centre (ノルウェー)

2018 年年間レポート (ノルウェー語のみ) 合計数、分類ごとの件数不明 (おそらく 1000 件は超えていない)

https://nsd.no/polsys/data/filer/aarsmeldinger/AN_2018_38611.pdf

以上

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

ICF および IS09999 の現状把握

研究代表者 井上剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
研究所福祉機器開発部長
研究協力者 中山剛 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
自立支援ロボット技術等研究室長

研究要旨 近年、種々の支援機器データベース作成や、それに基づいた選定・導入運用が行われているが、既存のデータベースは、支援場面や適応者等の情報が統一されていない。加えて、選定・導入運用に関わるリハビリテーション関連医療専門職等に対する統一した教育等もなく、個人の知識や技術に委ねられているのが現状である。本研究は、収集した情報を分類、整理するための基礎として、世界保健機関（WHO）が発行している国際生活機能分類（ICF）と国際標準化機構（ISO）が発行する福祉用具の分類と用語（IS09999）の改訂に関する動向を把握することを目的とする。ICF の改訂の動向、WHO で進められている支援機器のグローバルレポート作成の動向、IS09999 の改訂の動向について情報収集を行い、それらを基に、今後実施するガイドライン作成作業に向けた考慮点を整理した。その結果、多くのステークホルダーが共通認識を持つためのツールや、システム思考が重要であることが指摘された。

A. 研究目的

近年、種々の支援機器データベース作成や、それに基づいた選定・導入運用が行われているが、既存のデータベースは、支援場面や適応者等の情報が統一されていない。加えて、選定・導入運用に関わるリハビリテーション関連医療専門職（以下、リハ関連専門職）等に対する統一した教育等もなく、個人の知識や技術に委ねられているのが現状である。このことから、適切な支援機器の選定・導入運用には、統一された支援機器分類の構築が必須と考えられる。これらを改善するために、支援機器の情報を集約するための仕組みが必要とされている。本研究は、収集した情報を分類、整理するための基礎として、世界保健機関（WHO）が発行している国際生活機能分類（ICF）と国際標準化機構（ISO）が発行する福祉用具の分類と

用語（IS09999）²⁾の改訂に関する動向を把握することを目的とする。

B. 研究方法

ICF の改訂に関する議論を行っている WHO 国際分類ファミリー生活機能分類グループ（WHO-FIC FDRG: WHO Family of International Classification, Functioning and Disability Reference Group）の議論に参加するとともに、関係資料を基に、その動向について情報収集を行った。また、WHO の新たな動向として、支援機器に関するグローバル・レポート作成に関する活動が始まっており、その会議（WHO GRaT [Global Report on effective access to Assistive Technology] Consultation）に参加し、現状での支援機器の動向について、情報収集を行った。

ISO に関しては、ISO9999 の改訂を行っている ISO/TC173/SC2 の議論に参加し、その動向に関する情報収集を行った。

(倫理面への配慮)

本研究は、国際会議での議論に関する情報収集を行う調査研究であり、倫理面の配慮は特に必要ない。

C. 研究結果

1. ICF の動向

ICF は 1980 年に WHO から発行された国際障害分類 (ICIDH : International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps) の改訂定版として、2001 年に発行された。ICIDH ではマイナスの側面のみを捉えた“障害”が概念の中心にすえられていたが、ICF ではプラスにもマイナスにもなり得る生活機能 (Functioning) として人の機能をとらえることを提唱し、画期的なものであった。また、生活機能に作用する環境因子と個人因子が加わり、支援機器も環境因子の中に位置づけられたことも大きな意義がある。ICF は、心身機能、身体構造、活動・参加、環境因子の 4 つの章からなり、それぞれに下位項目が設定された分類となっている。

2001 年に発行以来、改訂作業が継続的に行われており、改訂の流れ以下のようになっている^{3),4)}。

- (0) 提案 : プラットフォームの一般ユーザー
- (1) 最初のレビューグループ層 : IRG (Initial Review Group) のメンバーによるレビュー
- (2) 生活機能分類グループ層 : FDRG メンバーによるレビュー
- (3) 公開討論層 : プラットフォームのすべてのユーザーによるレビュー
- (4) 非公開討論層 : CSAC (投票メンバー) からのコメント
- (5) 議論 : (WHO-FIC 年次会議)

改訂に関する議論は、主に WHO 国際分類ファミリー生活機能分類グループ (FDRG) で行われている。議論の最終段階では WHO-FIC の分類・統計諮問委員会 (CSAC: Classification and Statistics Advisory

Committee) での議論をへて、WHO-FIC 年次会議にて投票が行われる。

最近の改訂項目数および改訂された項目を表 1 に示す⁵⁾。改訂の特徴としては、2013 年までは項目名や説明文の修正が多くみられたが、2014 年以降は、分類の追加や分類構造の変更が多くみられるようになった。また、心身機能・身体構造と活動・参加に関する改訂は多いものの、環境因子に関する改訂は少ないのも特徴である。

2017 年版では、これまで WHO 国際分類ファミリーの派生分類に位置づけられてきた国際生活機能分類—小児・青少年版 (ICF-CY : International Classification of Functioning, Disability and Health for Children and Youth) との統合が行われ、児童に特徴的な項目が追加された。例を以下に示す。

- b761 Spontaneous movement 自発的な運動
- d131 Learning through actions with objects モノに関連した行動による学習
- d132 Acquiring language 言語の獲得
- d137 Acquiring concepts 概念の獲得

以上のような改訂に基づいて項目数も、発行当時 1,494 項目であったものが、2017 年版では 1,616 項目と増加している⁶⁾。

現在、2017 年版で採用にならなかった ICF-CY の項目や、これまでの改訂の議論で時間がかかっている項目を総括し、2020 年版での改訂に向けて、大幅な修正作業を行っている。

近年の大きなトピックとして、2019 年の WHO 総会で勧告が出された国際疾病分類 (ICD11 : International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems) に生活機能の章が追加された点が挙げられる。ICD11 では、第 V 章として、生活機能評価に関する補助セクションが設けられ、生活機能に関連する項目が追加された。ここでは、WHO-DAS2.0 (WHO Disability Assessment Schedule) の 36 項目版と MDS (Model Disability Survey) ショートの二つの評価ツール、ICF 付録 9「理想のおよび最低限の健康情報システムまたは調査のために提案された ICF データの要件」

表 1 ICF の改訂項目および項目数

改訂年	項目数	改訂項目
2011	13	d4302, d3152, d140, d4303, d4403, d4451, d610, d740, d7409, d910, d6508, e1100, d430
2012	24	b310, b3401, b440, d110, d4107, d4155, b735, d115, d3500, d3501, d3600, d4402, d4450, d520, d4453, d5205, d4601, d730, d940, e575, e1503, e155, e1553, d4701
2013	12	s32000, s32001, s32008, s32009, s3205, s6304, d620, d6200, d650, e110, e1100, e115
2014	45	b114, b5550, b55500, b55501, b55502, b55508, b55509, b6503, b6504, d410, d9202, b1143, b1565, b1144, b16703, b16713, b750, d1200, d1201, d1202, d1203, b7502, d130, d2303, d137, d1370, d1371, d1378, d1379, d332, d145, d155, d1550, d1551, d5700, d5702, d7106, d720, d835, b1140, d1700, d1701, d1702, d1708, d1709
2015	25	d446, d470, d4703, d6102, b340, b3400, b1442, b1443, d132, d1320, d1321, d1322, d1328, d1329, d133, d138, d1500, d1501, d1502, d1508, d1509, d1720, d1721, d1728, d1729
2016	47	b761, b7610, b7611, b7618, b7619, d5702, b5105, b51050, b51051, b51052, b450, b4500, b4501, b4502, b4503, b4504, b450050, b45041, b45048, b45049, b4508, b4509, b5106, b51060, b51061, d140, d1400, d1401, d1402, d1408, d1409, d145, d1450, d1451, d1452, d1458, d1459, d160, d1601, d1608, d1609, d2304, d310, d3101, d3102, d3108, d3109
2017	36	S230, s2302 削除, s240, s310, s840, s8400, s8401, s8402, s8403, s8404, s8408, s8409, d131, d1310, d1311, d1312, d1313, d1318, d1319, d135, d670, b6700, b6701, b6702, b6703, d3300, d3301, d3302, d3308, d3309, d331, d3350, d465, d470, d4700, d1400
2018	11	d550, e110, e1102, d620, d6201, d530, d650, d6507, d451, d4551, e255

に示された項目を基にして、64項目が掲載されている。現在、FDRG では WHO-DAS の児童版の作成が進められている。国内でも V 章の項目に基づいたデータ収集が行われており、今後、評価ツールや統計情報ツールとしての展開も考えられ、注視していく必要がある。

2. WHO 支援機器グローバルレポート作成の動向

2019年8月22日～23日に、WHO本部（スイス ジュネーブ）で開催された GREAT [Global Report on effective access to Assistive Technology] Consultation に参加し、現状での支援機器の動向について、情報収集を行った。参加者は 226名（参加者リストより）であった。

この会議は、WHO が 2021 年の発行を目指している “Global Report on Assistive Technology” の掲載内容に関する話題提供および意見交換が主たる目的であった。全体のレポートの構成は、ICF を基本とし、開発から利用に至るプロセスをシステムとしてとらえ、各段階でのキーワードを基に構築する案が示された。会議の内容については、WHO からこのグローバルレポート掲載論文のコールがあり、提出された提案書について査読を経て採択された 89 件の提案に関する発表および意見交換が行われた。提案は以下の 8 セッションに分かれて議論が行われた。

- Session 1 : Assistive technology needs and supply
- Session 2 : Access to assistive technology
- Session 3 : Outcomes
- Session 4 : Policies and programmes
- Session 5 : Procurement and service provision
- Session 6 : Capacity building
- Session 7 : Innovations
- Session 8 : Enabling the AT sector

著者らは、Session 6 Capacity building にて、福祉機器サービスに関する用語の標準化の必要性について、発表を行った。

今後、各地域を代表するメンバーによる編集委員会が構成され、2021年の発行に向けた作業が行われる予定である。

3. ISO9999 改訂の動向

ISO9999は、福祉用具の分類と用語に関する国際規格であり、国際標準化機構(ISO)が発行している。本規格は、1992年に初版が発行され、以降、5回の改訂が行われ、最新版は2016年版である。その改訂作業を行っているのが国際標準化機構福祉用具専門委員会分類と用語分科委員会(ISO/TC173/SC2)である。現在、2016年版の改訂作業が進められており、それを実施している作業部会(WG12)の議論に参加し、その動向について情報収集を行った。

ISO9999の改訂作業は、現在、専門委員会原案(CD:Committee draft)の投票が終了し、そこで出された各国の意見を基に、次の段階である国際規格原案(DIS:Draft International Standard)の作成作業を行っている。2016年版からの改訂作業で、主なトピックとなったものを以下に挙げる。

- 1) 支援機器の定義の改訂
- 2) 認知機能に関する支援機器の分類の見直し
- 3) 訓練機器に関する項目の大幅な見直し
- 4) 支援機器サービスに関する議論

1) 支援機器の定義の改訂

2016年版の定義は以下のようなものである。

any product (including devices, equipment, instruments and software), especially produced or generally available, used by or for persons with disability

-for participation ,

-to protect, support, train, measure or substitute for body functions/structures and activities, or

-to prevent impairments, activity limitations or participation restrictions

改訂の議論は、WHOより国際生活機能分類(ICF)の考え方に基づき、”disability”等のネガティブな用語を使わずに支援機器を定義できないかとの要請があったことをきっかけに始まった。心身機能と構造、活動、参加について、それを促進する点についてはネガティブな用語を使わずにそれらを表現できるものの、障害の予防に関する記述では、ネガティブな用語を使わざるを得ない点はWHOとも共通認識を得ることとなり、その方針で定義の作成を進めた。今年度行われた議論では、WHOが進めるRehabilitation2030に関する文献⁷⁾にて、リハビリテーションの新たな定義が以下のように示された点が重要な情報として取り扱われた。

Rehabilitation is a set of interventions designed to optimize functioning and reduce disability in individuals with health conditions in interaction with their environment.

すなわち、リハビリテーションとは、生活機能を最適化し、障害を減じることを意図した介入と定義された。支援機器はICFでは環境因子に位置づけられ、その点でリハビリテーションと同様な介入と考える事ができる。その点を考慮して作成した現段階での支援機器の定義は以下の通りである。

assistive product

product which optimizes a person's functioning and reduces disability

NOTE 1 to entry: Assistive products include devices, instruments, equipment, and software [ISO 9999:2016]

NOTE 2 to entry: Assistive products can be especially produced or generally available items [ISO 9999:2016]

2) 認知機能に関する支援機器の分類の見直し

近年、認知機能に関する支援機器の開発や活用が進むことを背景として、この分野の分類項目の充実を図る議論が行われた。この議論は、ISO/TC173/

WG10(認知支援機器作業部会)との連携作業が進められた。2016年版では、スキル訓練機器(05)の中に、認知機能の訓練に関する機器の項目が示されていたため、それらを基に情報コミュニケーション機器の大分類項目(22)の中に、認知機能支援機器の中分類を作成する以下の案が提案された。

- ・記憶を支援する機器
- ・順序に基づいた行動遂行を支援する機器
- ・注意機能を支援する機器
- ・概念形成を支援する機器
- ・物事の分類・グループ化を支援する機器
- ・問題解決を支援する機器
- ・論理的思考を支援する機器
- ・物事の原因や影響の理解を支援する機器
- ・数を数えることを支援する機器
- ・文字の理解を支援する機器
- ・時間管理を支援する機器
- ・金銭の理解を支援する機器
- ・大きさや容量の測定を支援する機器
- ・空間理解を支援する機器
- ・場所見当識を支援する機器

これらの議論の中で問題となったのは、機器自体で考えた場合に、訓練に利用する機器と支援に利用する機器が同じ場合が多いという点であった。これらをふまえて、提案の見直しを進める事となった。

3) 訓練機器に関する項目の大幅な見直し

前述の認知機能支援機器の議論でも問題となったが、訓練に使用する機器と支援する機器が、特にIT関係の機器については同じ場合が多い。これに対して、実際の機器を想定することで、訓練に使用する機器と支援に使用する機器が同じ場合については、訓練機器ではなく、支援機器の分類を優先して項目を設定する作業が行われた。この点については、機器の抽出が十分ではない項目があることも考えられ、今後これらの情報を精査し、再検討が必要な項目もできる可能性がある。

4) 支援機器サービスに関する議論

2018年のISO/TC173(福祉用具技術委員会)の会議において、同委員会のスコープが改訂され、支援機器サービスも含むこととなった。それを受けて、支援機器の分類を扱うTC173/SC2でも支援機器サービスに関する議論が行われるようになった。これまでの議論で、フィンランドでは支援機器の導入におけるサービスを分類し、それを実際に使用しているとの報告が行われ、それらを標準化していくことの必要性は共有された。しかしながら、このような分類については、国の制度にも影響されるため、詳細な規格を作成することには問題がある点も指摘された。それを受け、現段階として、用語の統一を図るための規格作りを進めることで、議論が進められている。今後、作業部会を作る方向で話が進められている。

D. 考察

ICFの動向では、ICD11に生活機能の章(V章)が設けられた点が今後の方向性に影響する大きな出来事といえる。ICD11は死亡統計や疾患の統計に用いられる分類である。その中に、生活機能が取り込まれたということは、生活機能についてもそれらの疾患の情報と関連付けられて数値化される可能性が高まったということになる。これまで、ICFの普及はなかなか進まないとされてきたが、これをきっかけに一気に普及が進む可能性もある。ICFの改訂の動向では、生活機能に関しては多くの改訂が進められているものの、環境因子についての改訂はまだ数が少ない。支援機器は環境因子に位置づけられるため、さらなる改訂に向けた議論が必要である。ICFの支援機器に関する環境因子の項目は、生活支援機器、移動機器、コミュニケーション機器、教育関連機器、就労関連機器、文化・レクリエーション・スポーツ関連機器、宗教関連機器の7つであり、IS09999の大分類と比較しても数が少ない。これらの点も考慮して、ICFの改訂を進めることも必要である。

WHOでは、支援機器に関する包括的な取り組みの一つとして、グローバルレポートの作成を進めている。ここでは、研究開発から利活用の方法論、政策も含めたシステム思考での考え方が基本となっている。

る。本研究で進めるガイドラインの作成においても、これらの視点を取り込み、グローバルな展開につなげられるものとする必要性も指摘された。また、このような包括的な知見のとりまとめには、用語の共通化も重要であることが指摘されており、共通言語である ICF をコアとした機器のマッピングの意義についても指摘されたと考えている。

IS09999 の改訂の動向から、支援機器の定義に関する重要な改訂が進められている点は注目すべき項目である。その流れとして、やはり ICF で示される生活機能が核となる点と、その負の表現である障害を低減することが、改めて支援機器の役割である点も確認されたといえる。また、認知機能支援機器やその他の先端的な機器の台頭も課題として議論されており、支援機器分野の発展のスピードに、規格や制度がどのように対応できるのかという問題提起も捉えられたといえる。

以上より、多くのステークホルダーが関わる支援機器分野では、改めて共通認識をもつためのツールの必要性が指摘されたと考えている。その核としては、ICF と IS09999 の分類や用語の活用が妥当であり、それらを基にしたツールとしてマッピングは必要とされている。また、支援機器の利活用には、システム思考の考え方も重要であり、ガイドライン作成には、利活用のみの視点ではなく、開発や政策などの複数の視点が必要である点も指摘された。

E. 結論

本研究では、ICF の改訂の動向、WHO で進められている支援機器のグローバルレポート作成の動向、IS09999 の改訂の動向について情報収集を行い、それらを基に、今後実施するガイドライン作成作業に向けた考慮点を整理した。その結果、多くのステークホルダーが共通認識を持つためのツールや、システム思考が重要であることが指摘された。

F. 参考文献

1) WHO, International classification of functioning, disability and health, 2001.

- 2) ISO, IS09999:2011 Assistive Products for Persons with Disability - Classification and Terminology, 2011.
- 3) 山田深, WHO の動向, 総合リハビリテーション, 第 47 巻, 第 5 号, 2019, pp. 493-495.
- 4) 山田深, ICF のアップデートと今後の展望, 第 8 回厚生労働省 ICF シンポジウム講演資料, 2019, pp. 20-27.
- 5) WHO, List of Official ICF Updates, <http://origin.who.int/classifications/icfupdates/en/>
- 6) 井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈, WHO 国際分類ファミリーの最近の動向, 国立障害者リハビリテーションセンター第 35 回業績発表会, 2018, <http://www.rehab.go.jp/achievements/japanese/35th/60.pdf>.
- 7) Rehabilitation: key for health in the 21st century, WHO Rehabilitation2030

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Linda-Jeanne Elsaesser, Stephen Bauer, Emily Steel, Emma Friesen, Takenobu Inoue, The value of vocabulary standards towards improving access to assistive technology, Grobal Report on effective access to Assistive Technology, WHO. (in submission)
- 2) 井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈, ICF 活用の実際と展望第 7 回福祉機器, 総合リハビリテーション, 第 47 巻, 第 11 号, pp. 1126-1129, 2019.
- 3) 井上剛伸, 活動・参加に向けた歩行支援機器の意義, バイオメカニズム学会誌 (印刷中) .

2. 学会発表

- 1) 井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来. ICF を活用した支援機器のマッピング. 第 8 回厚生労働省 ICF シンポジウム, 2020.

- 2) Linda-Jeanne Elsaesser, Stephen Bauer, Emily Steel, Emma Friesen, Takenobu Inoue, The value of vocabulary standards towards improving access to assistive technology, Grobal Report on Assistive Technology COnsultation, WHO, 2019.
- 3) 井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈, 福祉用具の分類と用語の規格に関する研究 — 福祉用具の定義について, 第36回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会, 2019.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

支援機器の利用状況および関係する専門職の状況把握

研究分担者 硯川潤 国立障害者リハビリテーションセンター
研究所福祉機器開発部 福祉機器開発室長
研究協力者 澤田有希 帝京科学大学
医療科学部作業療法学科 助教

研究要旨

近年、障害者が用いる生活支援機器の種類は多様化しており、その選択や調整に必要な知識や技能の範囲が広がっている。特に、スマートフォンやタブレット端末のような携帯型情報処理装置の演算速度が飛躍的に向上したことにより、従来補装具や日常生活用具などの専用機器を必要としていた種別の機器も、汎用製品で代替できるものが増加している。そこで本分担研究課題においては、これらスマートデバイスの支援機器としての活用状況や、専門職による適合プロセスの実態を明らかにすることを目的とする。

今年度は、概況の把握と課題の整理を目的に、障害者の在宅支援に従事する作業療法士へのヒアリング調査を行った。その結果、補装具や日常生活用具の範囲に含まれない多様なスマートデバイスが、意思伝達装置や環境制御装置と同等の用いられ方をしていることが示された。特に、罹患前に利用していたシステムやコミュニケーションツールを継続利用することが、スマートデバイス選択の大きな動機となっていた。一方で、これらを選択した際には、トラブル時に公的な支援を受けられないといった課題もあり、利用者側に一定の情報機器に関するリテラシーが求められることが示唆された。このようなリテラシー・スキルは、支援者側にも求められ、情報技術に通じたエンジニアの支援が望まれる場合もあった。適切な機器選択には日々進歩する情報技術のフォローが必須であり、専門職に相当の自助努力が求められることが示唆された。また、適合のプロセスにおいては、機器の選択肢が増えたことで、求められる機能に対する最適解が一意に定まらず、利用者の意思決定を支援することの重要性が指摘された。

A. 研究目的

近年、障害者が用いる生活支援機器の種類は多様化しており、その選択や調整に必要な知識や技能の範囲が広がっている。これらの多くは、現場での経験に裏打ちされた暗黙知に支えられており、習得は容易ではない[1]。対象となる障害種別やそれによる機能不全の程度が比較的限定される入所施設や

医療機関では、組織内での情報伝達による暗黙知の共有が期待できる。一方で、多様な障害に対応する必要がある在宅支援の現場では、十分なノウハウの共有化が実現できない可能性が想定される。従って、在宅生活をおくる障害者が通常リーチできる医療専門職が、適切な支援機器の適合に必要な十分な知識・技能を有していない場合があり得る。

支援機器の中でも、情報通信技術を用いた機器の使用が技術発展とともに広がっている。スマートフォンやタブレット端末のような携帯型情報処理装置の演算速度が飛躍的に向上したことにより、従来補装具や日常生活用具などの専用機器を必要としていた種別の機器も、汎用製品で代替できるものが増加している。このような支援機器は、補装具費支給制度などの公的支援が適用されないことも多く、選定から適合までの過程が明確ではない。

以上のような問題意識から、本分担研究課題においては、スマートフォンやタブレット端末に代表されるスマートデバイスの支援機器としての活用状況や、専門職による適合プロセスの実態を明らかにすることを目的とする。これにより、範囲が拡大する支援機器を障害者の在宅環境に導入するための課題やその解決策を整理し、ガイドラインの整備につなげることを目指す。本年度は、支援機器の選定・適合経験を有する医療専門職へのヒアリング調査から、概況を把握・整理した。

B. 研究方法

異なる機関に属し、業務の一部として障害者の在宅支援に従事する3名の作業療法士を対象に、半構造化面接を行った。主たるインタビュー項目は以下の通りである。

・基本情報：

経験年数・年齢 / 現在までの業務経験 / 現在の業務内容（日常的な1日の流れも含む）

これまでの教育歴 / 在宅リハビリテーションの概要

対象とする利用者・疾患

・スマートデバイスの利用実態：

（タブレットPCやスマートスピーカー、スマートフォンなど）

スマートデバイスを利用した支援をした経験 / 支援時の職種の関わり

具体的な支援内容 / 支援した利用者の疾患や状況など / 支援の頻度

導入からフォローアップまでの流れ

どのように依頼されるのか / 利用している制度
従来の機器の利用と比較してどうか

スマートデバイスを支援するときに必要なもの / 注意すること。

・スマートデバイスの選定・導入における各専門職の役割：

作業療法士の他に関わっている職種 / 具体的な連携内容 / 自身の役割の認識 / 各専門職の役割の認識 / 役割分担の認識

・スマートデバイスの選定・導入のための知識・技能の習得過程

知識はどのようにして得たか

選定や導入ができるようになったのはどの時期か

どんな経験がどのくらい必要だと考えるか

なお、本調査の実施においては国立障害者リハビリテーションセンターおよび帝京科学大学倫理審査委員会の承認を得た。インタビュー協力者からは、承認を受けた手順に従って事前に同意を得た。

C. 研究結果

以下に、インタビューで得られた情報の概要を主な項目ごとに示す。

・スマートデバイスの利用状況

— 罹患前に使っていたPCやSNSを継続利用したいというニーズには、それに対応した新たな機器の導入が不可欠。

— SNSを用いたコミュニケーションへのニーズが高い。

— 就労での使用など、入力効率が重視される場面では、補装具の専用機種を追加導入する事例もある。

— 進行性疾患であれば制度を利用した専用機よりも、多様な選択肢があるフリーソフト等の組み合わせが適している場合もある

— 意思伝達装置専用機ではインターネットブラウザの操作など多様な用途には使いにくい場合がある。

— 神経難病者の読書を支援する機器としてタブレット端末と電子書籍を紹介した。その際スイッチとそのインターフェースも併せて紹介した。

— 失語症のある高次脳機能障害者には、スマートフォンの絵文字や予測入力機能の利便性が高い。画像やメッセージ交換アプリのスタンプも重要なコミュニケーション手段となる。

— 目的に応じて意思伝達装置と PC を使い分ける。動画の視聴や SNS の利用には PC を用いることが多い。

— 意思伝達装置の専用 PC に、他の汎用ソフトウェアをインストールして用いる場合もある。ソフトの競合でトラブルになる場合もある。

・導入のプロセス

— 入院から在宅への移行では、コミュニケーションに関する調整は後回しにされる場合が多い。

— 制度が適用とならないものや生活家電の延長にあるものについては、導入支援ではなく情報提供を行う。

— 利用者のニーズを十分に把握した上で、選択肢を伝える必要がある。選択肢が多様化し、複数の手段が存在する 경우가多く、選択肢を提示することが重要になっている。

— 制度を使う、使わないにかかわらず、支援者側が決めるのではなく選択肢を提示して利用者にも選んでもらう。

・使用時に必要な支援

— 高機能なフリーソフトも開発されているが、環境を整備するためには相当の工数が必要で、何らかの支援が必要な場合が多い。

— 高次脳機能障害ではスマートデバイスを使用するための訓練がリハビリテーションの一環として必要になっている。

— オペレーティングシステムに実装されたアクセシビリティの機能が適合しない場合は、スイッチなどのインターフェースが必要となる。

— ソフトウェアやオペレーティングシステムのアップデートなど、メンテナンスに関するフォローも必要。情報機器に関する基本的知識が欠けていると、些細なことでも支援が必要となる。

— PC に関連したトラブル対応は、販売業者に支援してもらうが、無料のサービスという位置付けであり業者間で差がある。

— 高次脳機能障害では、認知・認識特性に合わせて画面上のアイコン配置やメニュー階層などを調整する必要がある。

・導入時の注意点

— その機器を使って何をしたいかを見極めることが重要。意思伝達装置についても、ニーズは 1 対 1 の対面コミュニケーションにとどまらないことが多い。

— 罹患前に使っていたシステムを継続して使いたいという動機が根底にある場合が多い。

・適用する制度

— 部分的には日常生活用具の情報通信支援用具を使える場合がある。

— 自治体独自の制度と補装具費給付制度との切り分けはあいまいな部分もあり、ケースごとに評価して判断している。

— 機能が高く既存の補装具項目にないものだと公的な給付の対象外となり、相談が来ても自費での購入を提案するだけになる。

— フリーソフトなどは、トラブル時のフォローが（技術的にわからないため）できないことが多く、紹介時は慎重になる。

・専門職間の役割分担

— 導入の入り口はケースワーカーが担う。何が利用者の生活の中で価値のあるものかを探ることが OT の役割。

— リハビリテーション医師が医学的な状態の安定を確認する。

— 技術的に高度な専門性を必要とする部分は、販売業者に支援を依頼するが多い。業者の得意分野を把握しており、任せることができるため、自身で全ての技術的詳細を把握する必要はない。

— ソフトウェアの詳細などエンジニアの支援を得たい場合も多い。

・知識の習得過程

— 組織内部では業務量が多く、外部での研修に参加するなど個別的な努力が必要。

— 在宅支援では求められる支援の幅広く、意識的に知識を吸収する必要がある。

— ケースカンファレンスは全例で行うが、支援内容の詳細は共有しきれない。

— 相談に応じて調べることも多く、知識の習得は追いついていない。販売業者への問い合わせやデモを通して情報を入手することが多い。

— 導入過程で不明点が生じた場合は、近隣の同職種に問い合わせることがある。

D. 考察

ヒアリングの結果、補装具や日常生活用具の範囲に含まれない多様なスマートデバイスが、意思伝達装置や環境制御装置と同等の用いられ方をしていることが示された。特に、罹患前に利用していたシステムやコミュニケーションツールを継続利用することが、スマートデバイス選択の大きな動機となっていた。一方で、これらを選択した際には、トラブル時に公的な支援を受けられないといった課題もあり、利用者側に一定の情報機器に関するリテラシーが求められることが示唆された。

このようなリテラシー・スキルは、支援者側にも求められ、情報技術に通じたエンジニアの支援が望まれる場合もあった。適切な機器選択には日々進歩する情報技術のフォローが必須であり、専門職に相当の自助努力が求められることが示唆された。一方で、商材の適合に秀でた販売業者へのリーチが技術的知識の不足を補い得ることも指摘された。

適合のプロセスにおいては、機器の選択肢が増えたことで、求められる機能に対する最適解が一意に定まらず、利用者の意思決定を支援することの重要性が指摘された。支援機器選択にユーザが積極的に関与することは、機器の継続的な活用につながる重要な要素であることが先行研究で指摘されている[2]。また、機器の選択肢などの情報提供は、機器使用の満足度向上に効果的であることも示されている[3]。新規性の高いスマートデバイスの適合においても、同様のアプローチがとられていることは注目に値する。

E. 結論

本報告では、支援機器としてのスマートデバイスの利用実態を把握するために、障害者の在宅支援に従事する作業療法士へのヒアリング調査を行った。その結果、主に意思伝達装置や環境制御装置を代替、または補助する形での利用が進んでいることが明らかになった。インターネットや SNS の利用が選択の動機であり、コミュニケーション手段の多様化が利用拡大の一因となっていた。適切な機器の選択には、支援者側にも知識の継続的な拡充が求められ、大きな負担になり得ることが示唆された。従って、入手可能なハードウェア・ソフトウェアの情報を幅広く提供するデータベースやガイドラインの構築が求められると考える。今後は、調査を量的に拡充し、スマートデバイスの適合に必要なとなる知識・技能の要件を明確にしていく。

G. 研究発表

1. 論文発表

無

2. 学会発表

無

H. 知的財産権の出願・登録状況

無

I. 参考文献

- [1] Gitlin, L. N., & Burgh, D. (1995). Issuing assistive devices to older patients in rehabilitation: an exploratory study. *The American Journal of Occupational Therapy*, 49(10), 994-1000.
- [2] Phillips, B., & Zhao, H. (1993). Predictors of Assistive Technology Abandonment. *Assistive Technology*, Vol. 5, pp. 36-45.
- [3] Martin, J. K., Martin, L. G., Stumbo, N. J., & Morrill, J. H. (2011). The impact of consumer involvement on satisfaction with and use of assistive technology. *Disability and Rehabilitation: Assistive Technology*, 6(3), 225-242.

原因疾患別の支援機器利用状況の整理－認知機能関連の支援機器について
認知機能関連機器の情報収集および対応表作成について

研究分担者 上村 智子 信州大学 教授

研究要旨

認知機能を補う代表的な支援機器を ICF 対応表（心身機能の精神機能と、活動・参加の第 2 レベルの分類）に整理した。対象機器は、AT Dementia (Trent Dementia Services Development Centre) から選んだ。分析の結果、37 種類の代表的な機器が選択され、全て ICF で分類可能であった。また、既存の支援機器として、記憶機能や見当識機能を補うことで、健康に注意することや、日課の遂行や、さまざまな場所での移動などを支援する製品はあるが、中等度以上の認知症者で支障になる排泄や更衣を支援する機器は無い等、この領域の支援機器のアンメットニーズを体系的に把握する上でも ICF が有用であることが示唆された。

A. 研究目的

近年、支援機器に関する種々のデータベースが作成され、選定や導入運用に用いられている。しかし、既存のデータベースは、機器の種類やデータベースによって構造が異なるため、機器の検索が容易ではない。加えて、機器の選定・導入運用に関わるリハビリテーション関連医療専門職（以下、リハ関連専門職）等への統一した教育もなく、提供されるサービスの質が担保されていないことが課題である。

本研究班では、この課題の解決に「国際生活機能分類（International Classification of Functioning, Disability, and Health、以下 ICF）によって支援機器を整理したデータベースが存在し、そのデータベースに基づく、リハ関連専門職等が共通で利用する支援機器ガイドラインの作成」が役立つと考え、今回の研究に着手した。整理の枠組みとして ICF を選択した理由は、心身機能・身体構造と、活動・参加の水準の分類を有し、生活の多様な領域を系統的に分析することができるため、支援機器の選定条件の検索に有用と考えたからである。

しかし、多様な支援機器に対して ICF で統一した分類が実用的で有用かは明らかになっていない。そこで最初に、種類の異なる支援機器の製品を ICF コードを使った対応表（以下、ICF 対応表）に整理し、

その実施可能性や有用性を調べるフィージビリティスタディを企画した。そして、本分担研究では認知機能を補う支援機器に対して実施した。

本分担研究の目的は、認知機能を補う支援機器の既存情報を収集し、その中から代表的な支援機器を選択して ICF 対応表に整理し、そのことの実施可能性と成果の有用性について考察することである。

B. 研究方法

対象とする支援機器の選択

認知機能を補う支援機器に関する情報源として、国内においては、認知症や MCI (Mild Cognitive Impairment 軽度認知障害) の人のための支援機器を掲載した書籍¹⁾や、認知機能を含む多様な機能の障害をもつ人のための電子情報支援技術に特化した製品の検索ウェブサイト²⁾等は存在している。しかし、認知機能を補う支援機器に特化して、多数の製品を掲載した情報源はみあたらない。

一方で、英国では 2005 年に、認知症当事者や介護者や専門職が、認知機能を補う支援機器の最新情報をユーザーフレンドリーな形式で入手できるよう、AT Dementia (Trent Dementia Services Development Centre、URL は <https://www.atdementia.org.uk/>) という製品検索サイトを開設し、継続的にアップデ

ートしており、さまざまな種類の、複数の製品に関する情報の入手が可能である。そのため、本分担研究では、ICF 対応表に整理する対象として、AT Dementia の支援機器を取り上げた。

ICF 対応表の作成

筆者（認知障害を専門とする作業療法士）と大学の作業療法学生 4 名が、AT Dementia に掲載された製品ごとに用途を調べ、認知症者の支援機器としての適切性を判断し、用途別に代表的な支援機器を選択した。次に、選んだ支援機器が ICF の活動・参加領域および心身機能領域の精神機能の第 2 レベルの分類コードで、どの側面を支援するかを判断し、ICF 対応表を作成した。

（倫理面への配慮）

本研究は、ヒトを対象とする研究ではないため、倫理委員会への付議を要しないと判断した。

C. 研究結果

分析の結果、37 種類の代表的な支援機器を抽出し、製品あたり 1～6 個の ICF コードをつけることができた（Appendix 参照）。

機器で支援する活動・参加領域としては、日課の遂行 d230 が 9 件（電子カレンダー、服薬支援器など）で最多であり、健康に注意すること d570 が 8 件（転倒や室温や徘徊などの見守りシステム、一酸化炭素検知器など）、コミュニケーション用具および技法の利用 d360 が 5 件（簡単電話など）、さまざまな場所での移動 d460 が 5 件（GPS、センサーライトなど）、調理 d630（水漏れ検知器、ガス警報器など）が 5 件、食べること d550 やコミュニティライフ d910 やレクリエーションとレジャー d920 や宗教とスピリチュアリティ d930 が各 3 件、自分の身体を洗うこと d510 が 2 件、非言語的メッセージの表出 d335、飲むこと d560、物品とサービスの入手 d620、調理以外の家事 d640 が各 1 件であった。一方で、探し物発見器のように、使用可能な生活場面の特定が難しく、活動・参加のコードをつけにくい製品は存在した。

支援する精神機能としては、記憶機能 b144 が 10 件（探し物発見器、ボイスレコーダなど）、見当識機能 b114 が 8 件（音声時計など）であった。

しかし、排泄 d530 や更衣 d540 などを支援する機器はなかった。

D. 考察

本研究の結果、認知機能を補う代表的な支援機器に対して、ICF コードで分類できない製品はなかった。一方で、使用可能な生活場面の特定が難しく、活動・参加のコードをつけにくい製品は存在した。

ICF 対応表を作成することで、認知症者のための既存の支援機器としては、記憶機能や見当識機能を補うことで、健康に注意することや、日課の遂行や、さまざまな場所での移動などを支援する機器については製品があるものの、中等度以上の認知症者で支障になる排泄や更衣を支援する機器はなく、コミュニケーションの理解・表出を支援する機器もわずかであるといった認知機能を補う支援機器のアンメットニーズが明らかになった。

本研究は、海外のウェブサイト 1 つだけを用いた調査であり、軽度認知症の人に適応のある共用品は含まれていないという限界はあるが、支援機器のアンメットニーズを体系的に把握する上で、ICF が有用であることを示唆する結果であった。

E. 結論

本研究により、認知機能を補う支援機器を ICF 対応表に整理することが実施可能で、機器の検索だけでなく、機器開発につながる可能性を含むアンメットニーズを明らかにする可能性が示唆された。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

無

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

無

2. 実用新案登録

無

3. その他

無

I. 文献

- 1) 安田清. MCI・認知症のリハビリテーション：
Assistive Technology による生活支援. エスコアール. 2018.
- 2) 中邑賢龍ほか. AT2ED (エイティースクウェアード). 東京大学先端科学技術研究センター.
<http://at2ed.jp/> (参照 2020-03-24)

Appendix 認知機能を補う支援機器の ICF 対応表

製品	製品名	ICF コード	用途
	orientation board	b114	時間や場所の見当識を賦活するためのボード
	talking watch	d230 b114	ボタンを押すと音声で日付や時間を伝える
	talking memo watch	d230 b114 b144	音声腕時計に、音声メモがつけられる
	wall calendar clock	d230 b114	日付、曜日、時間の表示のみ
	talking reminder clock	d230 d910 d930 b114 b144	日付、曜日、時間の表示に加えて、「事前に登録した予定」のリマインダー機能あり
	scheduler	d230 d360 d910 d930 b114 b144	日付、曜日、時間の表示に加えて、「事前に登録した予定」のリマインダー機能あり、さらに電話機能付き
	voice recorder	d230 b144	記憶しておきたい事を録音して、再生ボタンを押して再生する
	voice reminder	d230 d910 d930 b144	「事前に登録した予定」をリマインドする
	object locator	b144	探し物発見器

	medication alarm	d230 d570 b144	服薬支援器. 8 回分の薬を収納. 時間になると音と光でリマインドし, ケースを開けるまで光り・鳴り続ける
	pill dispenser	d230 d570 b144	服薬支援器. 28 回分の薬を収納. 時間になると, 1 回分を配薬, 音と光でリマインドし, 機器を傾けて取り出すまで光り・鳴り続ける
	one touch lights	d460	ボタンを押すと光るライト. 可動式で, マグネットに取り付け可能
	home signs	d460 b114	部屋の場所や目的を絵で示したステッカー
	sensor lights	d460	コンセントに差し込んで, 通路を明るくする
	memo minder	b114	ドアなどに設置し, 人が通過すると, メッセージを伝える. 徘徊予防などに用いる
	GPS	b114 d460	腕時計型のGPS
	bath safety strips	d510	浴室, 浴槽に貼るすべり止め
	non slip cutlery set	d550	滑りにくいスプーン・フォークなど
	sloped plate	d550	すくいやすい皿

	keep warm and not slip bowl	d550	食品が冷めにくく、滑りにくい皿
	mug with spouted lid	d560	飲みやすくこぼれにくいマグカップ
	cut resistant glove	d630	刃物を使うときの切傷予防グローブ
	water boil alert	d630	鍋などに入れ、湯沸かしの際、沸騰したら、音で教える
	big button telephone	d360 d620	ボタンの大きい電話. 写真を張っておき, そのボタンを押すと, その写真の人につながる機能あり
	mobile phone	d360	操作ボタンの少ない携帯電話
	call blocker	d360	迷惑電話を防ぐ
	remote control	d920	操作ボタンの少ないリモコン
	one button radio	d920	操作ボタンの少ないラジオ
	music player	d920	操作ボタンの少ない音楽プレイヤー

	pocket care chart	d335	要求などを伝える絵カード
	personalised online tool	d360 b144	個人の思い出を回想するツール
	smoke alarm	d570 d630	煙探知機
	carbon monoxide alarm	d570 d630	一酸化炭素探知機
	gas detector and shut off	d570 d630	ガス探知機, 停止機能付き
	temperature sensor by alarm	d570	室温管理. 高・低温の時に, 介護者に連絡
	flood detectors and water temperature monitors	d510 d570 d630 d640	シンクやバスタブに設置し, 水量や温度を感知し, 危険な時にアラームが鳴る
	home monitoring system	d460 d570	転倒, 徘徊, 室温などをモニタリングして, 危険を連絡する

注) 写真は AT Dementia (Trent Dementia Services Development Centre) に掲載された写真を引用した URL は <https://www.atdementia.org.uk/>

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

原因疾患別の支援機器利用状況の整理－感覚機能関連の支援機器について

研究分担者 石川浩太郎 国立障害者リハビリテーションセンター病院
第二診療部 第二耳鼻いんこう科医長
研究協力者 西脇 友紀 国立障害者リハビリテーションセンター病院
リハビリテーション部 主任視能訓練士

研究要旨

本研究では国際規格 IS09999 福祉用具の分類と用語の支援機器の分類規格等を基に、既存の支援機器を ICF に対応した表を作成し、それに基づいた機器の選定・導入運用に関するガイドライン作成に資する情報を整理することを目的としている。感覚器領域においては、聴覚障害、音声言語機能障害、そしゃく嚥下機能障害、視覚障害について、患者団体や学会、社会福祉法人日本点字図書館の商品データベースなどを用いて支援機器の抽出と整理を行った。また視覚障害においては、IS09999/支援機器と ICF の心身機能・構造、活動・参加とを対応づけるデータベースに視覚障害関連の支援機器として抽出された新旧の支援機器を配置し、対応表の素案を作成した。今後は、素案を基に対応表の作成およびガイドライン作成に資する情報整理を実施する予定である。

A. 研究目的

本研究では適切な支援機器の選定・導入運用には、統一された支援機器分類の構築が必須と考えられ、既存の支援機器に関するデータを有効に活用するためには、リハビリテーション関連医療専門職等が共通して利用できるガイドライン等が必要であり、その第一歩として、支援機器利用者の障害等の状況と、支援機器の利用場面との関係を整理し分類することが重要となると考えた。そこで研究班全体として、利用者の心身機能と支援機器が主に作用する国際生活機能分類（以下 ICF）における活動・参加の項目、国際規格 IS09999 福祉用具の分類と用語（以下、IS09999）の支援機器の分類規格等を基に、既存の支援機器を ICF に対応した表（以下、対応表）を作成し、それに基づいた機器の選定・導入運用に関するガイドライン作成に資する情報を整理することを目的とした。

我々は感覚器障害分野において、耳鼻咽喉科関連の4障害（聴覚、平衡機能、音声言語機能、そ

しゃく嚥下機能）と視覚障害で使用する障害支援機器を検索して検討し、その整理と対応表の作成を目的に研究を実施した。

B. 研究方法

耳鼻咽喉科と眼科の各障害で使用する機器を広く検索することから研究を開始した。耳鼻咽喉科関連の障害については、聴覚障害では全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（以下、全難聴）に当事者が使用する機器についての情報提供を依頼した。全難聴香川支部からの協力が得られ、各種機器の情報が得られたため、これを整理した。平衡機能障害については支援機器が杖などに限られるため、今年度は調査を行わない方針とした。音声言語機能およびそしゃく嚥下機能障害については、日本音声言語医学会に協力を要請し、役員、評議員が所属する機関で利用している機器の調査を行った。また浜松市リハビリテーション病院にも協力を仰ぎ、病院で利用している機器の調査を行った。

視覚障害については、国内における視覚障害関連の支援機器販売店の中で最も認知度が高い社会福祉法人日本点字図書館の商品データベースを参考に利用されている機器を抽出した。また、流通している製品について、なるべく漏れがないように他の支援機器販売店(社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センターなど)のカタログリストも調査し、加えてIS09999の項目内容と「視覚障害」または「ロービジョン」などの用語でインターネット検索を行い、機器に関する情報を収集した。

(倫理面への配慮)

倫理審査については研究代表者の井上剛伸が一括して担当している。利益相反については特に対応の必要が無いことを国立障害者リハビリテーションセンター利益相反管理委員会で承認を得ている。

C. 研究結果

1. 耳鼻咽喉科領域

1) 聴覚障害

聴覚障害は全難聴香川支部の協力で当事者が使用する支援機器について調査を行った。挙げた製品の内容としては、電話や来客を知らせるフラッシュベルやライト、バイブレーション機能がついた時計、電話音量増幅器、補聴器や人工内耳などに会話音やテレビの音声などを伝える補助装置、スピーカーシステム、UDトークなどのアプリケーションなどが見られた。

2) 音声言語機能障害

音声言語機能障害に使用する支援機器はいくつかの 카테고リーに分類することができる。喉頭摘出後などの代用音声としての電気式人工喉頭やプロボックスなど、呼吸機能計測やリハビリテーションとして使用するピークフローメーターや巻き笛など、吃音の発声リズム訓練のためのメトロノーム、神経難病などによる音声言語障害に対するAAC

(Augmentative and Alternative Communication : 拡大代替コミュニケーション)として使用するレッツチャット、トーキングエイド、伝の心、オリヒメなど、古典的なAACとして知られる透明文字盤やフ

インガーボード、コミュニケーションボードなど、パソコンやアプリとしてUDトークやハーティラーダーなどが挙げられた。

3) そしゃく嚥下機能障害

嚥下リハビリテーションの際に使用するペコパンダ、舌接触補助床(PAP)、JMS舌圧計など、食事介助や摂食時に使用するKスプーン、スワローチェア、らくらくごつくん、箸ぞうくんなど、口腔ケアで使用する吸引付き歯ブラシ、くるリーナブラシ、リフレケア、オーラルピース、マウスウォッシュなど、栄養補助食品などとしてアイソカル、メイバランス、あいーとなどが挙げられた。

2. 眼科領域

研究方法で述べた各支援機器販売店の商品データベースやカタログリスト等を参考に該当機器を抽出したところ、多くの機器は重複していた。

抽出できた機器を確認すると、保有視覚を利用するいわゆるロービジョン(低視覚)の状態を利用する機器と、視覚を利用せず他の感覚(聴覚、触覚)で代行して当該動作を行う機器とに大別された。また拡大読書器や点字タイプライターといった従来から利用されている機器が今も利用され続けている一方で、各種のデジタルデバイスや人工知能を用いたスマートグラスなども見られた。

さらに抽出できた機器を、今回の研究班全体で作成しているICFの心身機能・構造を縦軸、活動・参加を横軸とする二次元の表にIS09999/支援機器を配置するマップをベースとし、IS09999/支援機器とICFの心身機能・構造、活動・参加とを対応づけるデータベースに配置し、対応表の素案を作成した。

D. 考察

耳鼻咽喉科領域では、これまで補装具や日常生活用具として取り上げられている製品から、実際の訓練や生活で工夫して使用されている品物まで、幅広く情報を収集することができた。IT機器の進歩により、各領域において、パソコンやスマートフォンを使用したアプリや音声文字情報処理システムの進歩が注目すべきところとなっている。一方でパソコンやスマートフォンは汎用機器であり、公費での補助

にはなじまないところがあるため、これらを当事者にどのように普及していくかは問題が残るところである。一方で構造は単純であるが、使用法の工夫で非常に有用な支援器具も使用されていることが明らかとなった。これらの情報はその使用方法を広く知らせることで多くの当事者にとって有益な情報となり得る可能性がある。

視覚障害に関しては、遮光眼鏡や義眼、白杖などの補装具や拡大読書器などの日常生活用具が代表的な支援機器として挙げられるが、各種のデジタルデバイスや人工知能を用いたスマートグラスなども視覚に障害を持つ人が自立した生活を送るためのサポートツールとして、今後、ますます有用性が高まることは必至である。スマートフォンやタブレット端末は、視覚障害の有無にかかわらず一般的に普及しているが、視覚に障害がある場合、拡大鏡として用いたり音声機能を駆使したり、中にはGPSアプリを使って歩行する全盲の当事者もいる。支援機器の中には新旧が交代する製品も現れると思われるが、多くは両者が混在しながら活用されていくものと予想される。現在既に、タブレット端末やスマートグラスを日常生活用具として認めている自治体もみられるが、今後、どの程度ニーズが生じるのか、またそれに対して、限りある予算の中でどの程度対応できるのか、注視する必要があると思われる。

E. 結論

耳鼻咽喉科領域の3障害（聴覚、音声言語、そしゃく嚥下）については、当事者および訓練や診療を行う医療者から調査を行い、支援機器の調査と整理を行った。

視覚障害については、支援機器を調査し、IS09999/支援機器とICFの心身機能・構造、活動・参加とを対応づけるデータベースに視覚障害関連の支援機器として抽出された新旧の支援機器を配置し、対応表の素案を作成した。次年度は、素案を基に対応表の作成およびガイドライン作成に資する情報整理を実施する予定である。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

支援機器の ICF 対応表の作成

研究分担者 石渡 利奈 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部 第一福祉機器試験評価室長
研究協力者 阿久根 徹 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
義肢装具技術研究部 部長

研究要旨 本分担研究では、リハビリテーション関連医療専門職等が共通して利用できるガイドラインを作成するにあたり、支援機器と利用者の状況の情報を統一された分類等を用いて整理することを目的とし、今年度は、整理のための対応表の素案、および対応づけを円滑化するためのデータベースを作成した。

素案は、義肢装具を例とし、ISO のコード（6桁）と、ICF のコード（3桁）の表（縦：心身機能、身体構造。横：活動と参加）との対応について検討を行い、ISO と ICF の対応表を作成した。

また、データベースについては、FileMaker Vr. 18 を用い、支援機器の製品情報、関連する ISO のコード、ICF の心身機能、身体構造、活動と参加の項目について、確信度を付して対応づけられるデータベースを作成した。

A. 研究目的

本分担研究では、リハビリテーション関連医療専門職（以下、リハ関連専門職）等が共通して利用できるガイドラインを作成するにあたり、支援機器と利用者の状況の情報を統一された分類等を用いて整理することを目的とし、今年度は、義肢装具を例とした支援機器の ICF（国際生活機能分類）対応表の素案、および支援機器と ISO のコード（ISO9999：国際規格 ISO9999 福祉用具の分類と用語）、ICF のコードとの対応づけを円滑化するためのデータベースを作成する。

A-1. 支援機器の ICF 対応表の素案作成

義肢装具について、ISO のコード（6桁）を ICF のコード（3桁）の表（縦：心身機能、身体構造。横：活動と参加）に入力し、ISO と ICF の対応表を作成する。

A-2. データベースの作成

支援機器の製品情報の入力、および各支援機器に関連する ISO のコード、ICF のコードを検索し、対応づけを行えるデータベースを作成する。

B. 研究方法

支援機器利用者の障害等の状況と、支援機器の利用場面等を整理するにあたり、ICF の心身機能、身体構造と活動と参加の分類を用いた。また、支援機器の分類として、国際規格 ISO9999（福祉用具の分類と用語）を用いた。

B-1. 支援機器の ICF 対応表の素案作成

ISO コードとして、『International standard ISO 9999 (Sixth edition, 2016-10-15) Assistive products for persons with disability - Classification and terminology』の『06 Assistive products attached to the body for supporting neuromusculoskeletal or movement related functions (orthoses) and replacing anatomical structures (prostheses)』に記載されている 6桁のコード番号と用語を対象とした。

ICF コード（3桁）は、『心身機能 第7章 神経筋骨格と運動に関連する機能』、『身体構造 第7章 運動に関連した構造』、『活動と参加 第4章 運動・移動、第5章 セルフケア、第6章 家庭生活』を対象とした。

義肢装具は身体機能や構造を補完するものであり、身体の中の部位を補完するものであるか、部位について検討した。ICF コード（3桁）については、『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—（初版）』3桁のコードとその下位項目である4桁のコードの記載事項全体を読んだ上で、そこに含まれる全ての身体部位をイメージして、身体の中の部位が該当するかを検討した。

エクセルのICFコード表（3桁）の縦（心身機能、身体構造）と横（活動と参加）のそれぞれの項目の交点部分に相当するセルについて、身体の中の部位が該当するかを検討した。

上記の各セルについて、身体の中の該当部分に相当する義肢装具を、ISOコード（6桁）において検討し、6桁のコード番号と用語を入力した。

以上の作業により、義肢装具についてISOとICFの対応表を作成した。

B-2. データベースの作成

データベースの作成では、支援機器とISO、支援機器とICFの対応づけを行える仕様とし、最終的に、二次元等の対応表に出力することを想定して、データベース内で、相互の対応づけを行うこととした。

1つの支援機器に対し、複数のISO、複数のICFコードが対応すると考えられる。このため、支援機器とISO、支援機器とICFの対応づけを行う多対多のリレーショナルデータベースを構築した。

データベースの作成には、クラリス社が開発するデータベースソフトウェアFileMaker Vr.18を用いた。構成は、クラウド上で稼働しているFileMaker Serverに各クライアントからFileMaker Pro Advancedを利用して接続することとした。データは、サーバー上に置き、クライアントが割り当てられたアカウント名とパスワードを用いて、インターネット経由で接続し、入力を行うこととした。クライアントは、研究班メンバーを想定し、9クライアントとした。

データベースの基本要件機能として、以下を設定した。

1. 支援機器を登録後、その支援機器に関連のあるISO、およびICFを登録。
2. 登録するISOは、基本的に3階層。複数のISOの登録が必要。ISOは、随時改訂作業を行っているが、本データベースでは、2016年版を使用し、改訂版が出た際も、基本的に版の更新は行わない。
3. 登録するICFは、第一レベルから第四レベルまであり、また複数の第一から第四レベルの登録が必要。
4. ISO、ICFともに登録の方法としては上位階層から入力もあるが、中間や下位の階層からの入力も有り。下位の階層を登録した場合、上位の階層も自動的に登録できる仕様とする。
5. 検索機能としては、入力項目は単独フィールドであればすべて検索ができる仕様とする。またある階層を検索すると、上下の階層も結果として表示される機能も実装する。
6. ISO、ICFのデータは、特定のフォーマット形式にて作成したデータをインポートする。
7. 登録データは、すべてあらかじめ決められたフォーマット形式にてエクスポートされる機能を実装する。
8. 画像解像度「1280×1024」に合わせて画面を設計する。

作成するデータベースは、図1のような画面遷移で構成することとした。

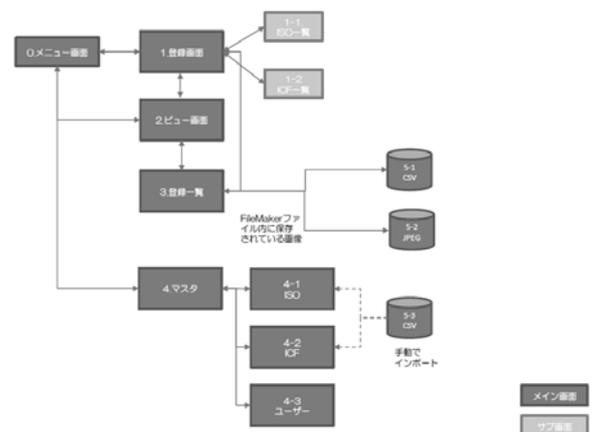


図1 データベースの画面遷移

C. 研究結果

C-1. 支援機器の ICF 対応表の素案作成

義肢装具が、身体の中のどの部位を補完するものであるか、部位について検討した後、『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—（初版）』3桁のコードとその下位項目である4桁のコードの記載事項全体を読んだ上で、そこに含まれる全ての身体部位をイメージして、身体の中のどの部位が該当するかを検討し、またエクセルの ICF コード表（3桁）の縦（心身機能、身体構造）と横（活動と参加）のそれぞれの項目の交点部分に相当するセルについて、身体の中のどの部位が該当するかを検討した。

上記の各セルについて、身体の中の該当部分に相当する義肢装具を、ISO コード（6桁）において検討し、6桁のコード番号と用語を入力し、義肢装具に関する ISO と ICF の対応表（図2）を作成した。

C-2. データベースの作成

図3に、作成したデータベースのトップメニューを示す。一番上の項目は、支援機器（製品情報）の登録画面への入り口である。また、以下のマスターは、ICF、ISO、ユーザの各データテーブルである。ISOは、第一レベル（大分類）から、第三レベル（小分類）、ICFは、第一レベル（大分類）から、第四分類（小分類詳細）に加え、第二レベルの見出しで構成される。

本マスターデータは、『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—（初版）』、および『International standard ISO 9999 (Sixth edition, 2016-10-15) Assistive products for persons with disability - Classification and terminology』を元に、本研究で翻訳した和訳データを用いた。

図4に、支援機器の登録画面を示す。画面上部では、基本情報として、支援機器種類、型番、メーカー、カテゴリ、価格、画像、説明文、備考などを登録できる。なお、データの登録者も自動で記録される。

また、画面下部では、ISO、ICFの編集ボタンを押すことにより、別画面が開き、関係する第一から第三/四レベルを登録することで、登録結果が表示される。ISO、ICFの登録は複数可能である。支援機器とISO/ICFの対応づけの際、登録を行う各研究班メンバーが、関係性の確信度について3段階の評価を行う。確信度が低いものについては、他の研究者や医療関連専門職と協議し、その結果を反映して、修正することが可能である。

図5、図6にISO、ICFの選択画面を示す。右側の詳細ボタンを押すと、各コードの説明文のすべてを表示することができる。

図7に、マスターデータの例として、ICFの第4レベルの画面例を示す。マスターデータは、レベルごとに作成しており、上位のレベルの項目と、和文、英文の項目名等を含む。

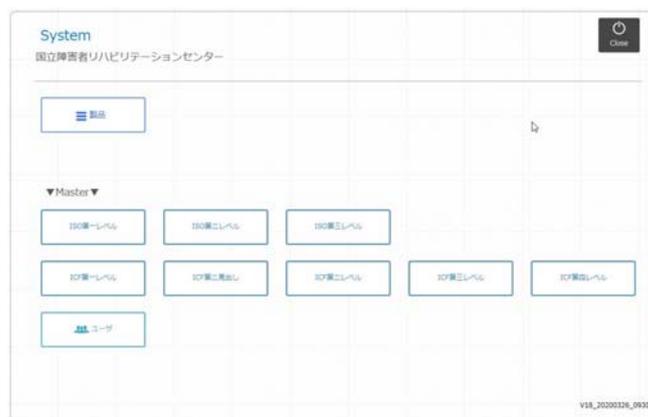


図3 データベーストップメニュー

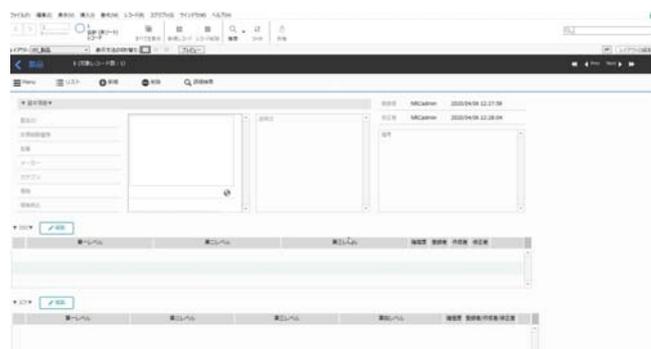


図4 支援機器（製品情報）登録画面

以上より、対応づけた支援機器/ISO と ICF との関係をどのような形で選定や適合に活用し、医療関連職に伝えていくかが今後の課題である。

E. 結論

E-1. 支援機器の ICF 対応表の素案作成

義肢装具について、ISO のコード（6桁）を ICF のコード（3桁）の表（縦：心身機能、身体構造。横：活動と参加）に入力し、ISO と ICF の対応表を作成した。

E-2. データベースの作成

FileMaker Vr. 18 を用い、支援機器の製品情報、関連する ISO のコード、ICF の心身機能、身体構造、活動と参加の項目について、確信度を付して対応づけられるデータベースを作成した。本データベースを用いることにより、対応づけの作業をより円滑に進めることができると考えられる。

G. 研究発表

1. 論文発表

無

2. 学会発表

無

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

無

2. 実用新案登録

無

3. その他

無

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

既存の支援機器データを基にした対応表の確認と修正

研究分担者 上野友之 国立大学法人筑波大学
リハビリテーション部副部長・講師

研究分担者 浅川育世 茨城県立医療大学
保健医療学部理学療法学科 教授

研究要旨 本文

既存の支援機器に関するデータの有効活用を目指し、支援機器利用者の障害等の状況と、支援機器の利用場面との関係を整理し分類するため、既存の支援機器活用状況のデータを参考に対応表の確認と修正を実施し、また小児を対象とした支援機器に関する調査を実施する。

既存の支援機器活用状況のデータを基にした対応表の確認と修正については、「障害者の自立支援機器の活用及び普及促進に求められる人材育成のための機器選択・活用等に関する調査研究（平成30年度～令和元年度障害者政策総合研究事業）」において障害当事者および機器選定者からwebアンケートで収集した実際に利用されている支援機器のデータを使用し、令和2年度に対応表の確認と修正を実施する。既存の福祉・支援機器に関するデータベースにはない支援機器の活用状況等がICFとIS09999福祉用具分類に新たに紐付けされることが期待される。

小児を対象とした支援機器に関する調査については移動の形態により重症度を把握し、また日常生活で使用されている支援機器についてWebアンケートを用い調査を実施する。小児を対象とした支援機器に関する調査からは、移動の重症度により使用する支援機器の種別が明らかになるとともに、ADLのどのような場面で用いられているのかが明らかになることが期待される。

A. 研究目的

近年、種々の支援機器データベース作成や、それに基づいた選定・導入運用が行われているが、既存のデータベースは、支援場面や適応者等の情報が統一されていない。加えて、選定・導入運用に関わるリハビリテーション関連医療専門職（以下、リハ関連専門職）等に対する統一した教育等もなく、個人の知識や技術に委ねられているのが現状である。このことから、適切な支援機器の選定・導入運用には、統一された支援機器分類の構築が必須と考えられる。

これらの状況を背景とし、既存の支援機器に関するデータを有効に活用するためには、リハ関連専門職等が共通して利用できるガイドライン等が必要であり、その第一歩として、支援機器利用者

の障害等の状況と、支援機器の利用場面との関係を整理し分類することが重要となる。そこで本研究では、小児リハビリテーション分野における支援機器の利用状況を明らかにし、既存のデータベースとの対応を整理・分類することを試みる。

1年次：既存の支援機器活用状況のデータを参考にした対応表の確認と修正

2年次：小児を対象とした支援機器に関する調査

B. 研究方法

①既存の支援機器活用状況のデータを参考にした対応表の確認と修正については「障害者の自立支援機器の活用及び普及促進に求められる人材育成のための機器選択・活用等に関する調査研究（平成30年

度～令和元年度障害者政策総合研究事業：研究代表者筑波大学 上野友之）」において障害当事者および機器選定者からwebアンケートで収集した実際に利用されている支援機器のデータを使用し、対応表の確認と修正を令和2年度に実施する。

②小児を対象とした支援機器に関する調査については筑波大学附属病院および茨城県立医療大学附属病院に入院または外来通院し、リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）を受診されている肢体不自由児の養育者を対象に Web 上でアンケート調査を実施する。調査項目は児の年齢、児の性別、支援機器、支援機器の名称、支援機器を使用する場所・場面・使用方法、屋内の移動手段、屋外の移動手段の7項目とした。児の移動手段からみた重症度により、どのような支援機器が使用されているのかを検討するとともに、それらの支援機器と既存の支援機器データとの対応を見る。

（倫理面への配慮）

① 既存の支援機器活用状況のデータを参考にした対応表の確認と修正については筑波大学医学医療系倫理審査委員会に申請し承認を得た（承認番号 R01-69）。

②小児を対象とした支援機器に関する調査については茨城県立医療大学倫理審査委員会に申請し承認を得た（承認番号905）。

C. 研究結果

①既存の支援機器データを基にした対応表の確認と修正

先述した障害者政策総合研究事業において令和2年2月28日までwebアンケートを実施し、結果をまとめているところである。

②小児を対象とした支援機器に関する調査についてはアンケートフォームを外部業者に委託発注したところである（令和2年6月より調査開始予定）。

D. 考察

①既存の支援機器活用状況のデータを参考にした対応表の確認と修正

障害当事者アンケートを全国障害者連合、肢体不

自由特別支援学校等に、機器選定者用アンケートを日本リハビリテーション病院協会加盟施設、日本福祉用具供給協会加盟事業所等に広く回答依頼を送付しており、既存の福祉・支援機器に関するデータベースにはない支援機器の活用状況等が新たに明らかになることが期待される。

②小児を対象とした支援機器に関する調査については移動の重症度により使用する支援機器の種別が明らかになるとともに、ADL のどのような場面で用いられているのかが明らかになることが期待される。

E. 結論

既存の支援機器活用状況のデータを参考にした対応表の確認と修正は、先述した先行研究のアンケート結果がまとまった令和2年度に実施する予定であるが、広くアンケート調査協力を行っており既存のデータベースにない新たな支援機器の活用状況が把握できる期待がある。アンケートの進捗状況については、研究班会議において小児を対象とした支援機器に関するアンケート調査項目等の作成のための議論の参考とした。それらを踏まえ本年度は、小児を対象とした支援機器に関するアンケートを作成し、次年度 web でアンケートが実施できるようプラットフォームを構築した。

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

1) 井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来. ICF を活用した支援機器のマッピング. 第8回厚生労働省 ICF シンポジウム, 2020.

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

既存の支援機器データベースを基にした対応表の関連整理

研究代表者 井上剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部長
研究分担者 石渡利奈 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
第一福祉機器試験評価室長
研究分担者 硯川潤 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発室長

研究要旨 本研究では、国際生活機能分類（ICF: International Classification of Functioning, Disabilities and Health）の分類項目を基に、支援機器をマッピングした対応表を作成することを目指す。本分担項目では、既存の支援機器データベースと本研究で作成する対応表の関連を整理することを目的とし、既存の支援機器データベースについて、ICF と支援機器の関係を整理し、対応表の構造の決定に反映させた。ドイツの支援機器データベース REHADAT に着目し、そこで製品に付されている ICF コードと ISO9999 のコードの状況から、これらのコードの関係を整理し、支援機器の特徴把握や数値化に資する対応表の軸として、利用者の特徴を表す ICF の心身機能・身体構造と活動・参加の二つの軸を設定することとした。これにより本研究で作成する対応表のコンセプトにつながる知見を得ることができた。

A. 研究目的

近年、種々の支援機器データベース作成や、それに基づいた選定・導入運用が行われているが、既存のデータベースは、支援場面や適応者等の情報が統一されていない。加えて、選定・導入運用に関わるリハビリテーション関連医療専門職（以下、リハ関連専門職）等に対する統一した教育等もなく、個人の知識や技術に委ねられているのが現状である。このことから、適切な支援機器の選定・導入運用には、統一された支援機器分類の構築が必須と考えられる。これらを改善するために、支援機器の情報を集約するための仕組みが必要とされている。本研究は、国際生活機能分類（ICF: International Classification of Functioning, Disabilities and Health）の分類項目を基に、支援機器をマッピ

ングした対応表を作成することを目指す。本分担項目では、既存の支援機器データベースと本研究で作成する対応表の関連を整理することを目的とする。今年度は、既存の支援機器データベースについて、ICF と支援機器の関係を整理し、対応表の構造の決定に反映させた。

B. 研究方法

既存のデータベースに関する調査結果を基に、ICF の分類と支援機器の分類を対応づけているものを抽出し、関連表として整理した。また、過去の研究結果等を基にして、支援機器データの数値化に向けた対応表の構造を検討した。

(倫理面への配慮)

本研究は、国際会議での議論に関する情報収集を行う調査研究であり、倫理面の配慮は特に必要ない。

C. 研究結果

世界各国の支援機器データベースのなかで、本研究では、ドイツのケルン経済研究所が運営している REHADAT に着目することとした。REHADAT では、図 1 のように、ISO9999 の分類コードとともに、ICF の分類コードの記載もなされている。ここで示される ICF コードは、関連するコードの羅列として示されている。身心機能、身体構造、活動・参加については、その機器の利用により効果が見込める項目が記載さ

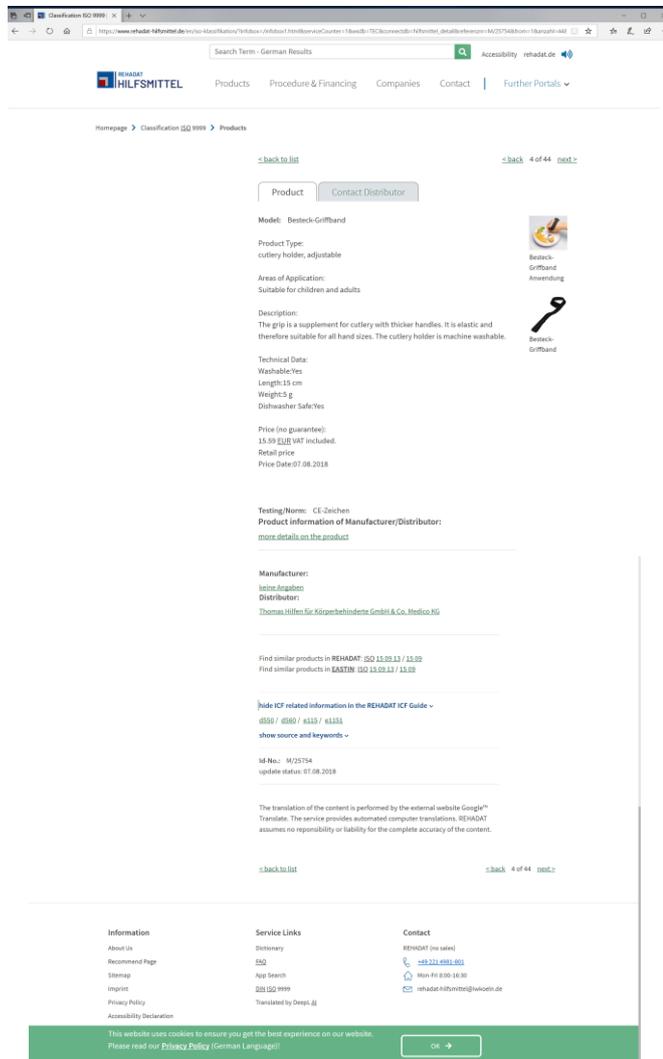


図 1 REHADAT の情報画面 ISO9999 と ICF のコードが示されている

れており、環境因子はその機器自体が含まれる項目が記載されている。

REHADAT の運営者に連絡を取ったところ、データベースに記載されている ISO9999 とコード ICF コードの対応表を作成していることが判明し、協力を得て対応表を入手することができた。詳しくは付録を参照のこと。それを基に、ISO9999 と ICF の対応を確認したところ、以下のような特徴が挙げられた。

- ICF の身体構造に関するコード(s)が振られているものは、ISO9999 の分類では 04 医療関連用具の一部（構造の保護、訓練等に関する機器）、06 義肢・装具、09 パーソナルケア用具の一部（構造の保護用具、呼吸関連用具、皮膚の洗浄・消毒剤、性交関連用具、18 家具・建具の一部（姿勢保持用具）、28 就労関連用具の騒音軽減用具のみであった。
- ICF の心身機能に関するコード(b)が振られているものは、ISO9999 の大分類 04 医療関連用具の大部分、05 技能の訓練用具の大部分、06 義肢装具、09 パーソナルケア用具の一部（構造の保護用具、呼吸関連用具、排泄関連用具、皮膚の洗浄・消毒剤、入浴関連のうちの一部、性交関連用具）、12 移動関連機器の一部（歩行関連機器）、18 家具・建具の一部（照明関連用具、寝具類、床階段用触知剤）、情報・コミュニケーション機器の一部（眼鏡関連用具、補聴器、音声関連機器、計算機、情報提示機器、所持、読み上げ関連機器等）、28 就労支援機器の一部（職場の家具関連用具、照明、防振、空気清浄、騒音軽減、ストレス低減、回復支援関連用具）であった。
- ICF の活動・参加に関するコード(d)が振られていないものは、ISO9999 のうち、認知機能治療用具、感覚・知覚刺激装置、知覚訓練関連用具、感覚統合学習用具、脊椎牽引療法用具、運動・筋力・バランス訓練用機器、顎の訓練用具、時間概念訓練用具、大きさ・容量計測能力訓練用具、下顎前方固定用具、義肢以外の身体補填具、呼吸ケア関連用具、支援機器の付属品、照明用具、遮光眼鏡、ヘッドホン、通話機器、時間管

理関連用具、Eブックリーダー、コンピュータ用双方向機器、保管物の容器であった。

また、これらのコードを用いた数値化の例示のために、REHADATに掲載されているICF環境因子コードとISOの大分類コードについて、それらの商品数をカウントしたところ、表1、表2のような結果が得られた。ICFの分類では、日常生活における支援機器の数が圧倒的に多く、ISO9999ではある程度のバランスで分類がなされていることがわかる。これより、ICFの日常生活における支援機器は、もう少し細かい粒度での分類としても良いことが示唆された。

表1 ICF支援機器分類項目ごとのREHADAT製品数

ICF分類	製品数
e1151 日常生活において個人が使用する支援機器	8,367件
e1201 個人的な屋内外の移動と交通のための支援機器	1,865件
e1251 コミュニケーション用の支援機器	1,309件
e1351 仕事用の支援機器	139件
e1401 文化・レクリエーション・スポーツ用の支援機器	196件

表2 ISO9999大分類項目ごとのREHADAT製品数

ISO9999大分類	製品数
04 心身機能の計測、支援、訓練又は代替用具（医療関連用具）	1,744件
05 技能教育・訓練用具	497件
06 義肢・装具	1,738件
09 セルフケア活動及びセルフケアへの参加のための用具	2,308件
12 移動・輸送関連の活動・参加支援用具	2,189件
15 家事及び家庭生活参加支援用具	299件
18 活動支援のための家具・建具	1,463件
22 コミュニケーション・情報支援機器	1,326件
24 制御・運搬・移動・操作用具	286件
27 物理的環境要素の制御・適用・計測用具	17件
28 就労支援用具	1,218件
30 レクリエーション・レジャー用具	127件

D. 考察

既存のデータベース（REHADAT）に掲載されている製品に付されたICFのコードとISO9999のコードから、心身機能、身体構造、活動・参加のそれぞれのコードが付されている支援機器を抽出したところ、個々の支援機器が作用を及ぼす生活機能の特徴が示されたと考えられる。ほとんどの支援機器は、主に活動・参加に作用するものであるが、医療関連用具、技能教育・訓練用具、義肢装具では、心身機能への作用が主となる特徴がある。また、義肢・装具では身体構造への作用が主となることが考えられ、他の機器とは特徴が異なる点が指摘された。

REHADATのICF・ISO9999対応表では、支援機器が作用を及ぼす生活機能への対応を表している。これに対して、ICFの心身機能と身体構造は、利用が想定される対象者の特徴を表すことも考えられる。前述の義肢・装具や医療関連用具、技能訓練用具を除けば、多くの支援機器は活動・参加に主に作用する。その点を考慮すると、ICFの心身機能・身体構造と活動・参加を2軸にしたマトリックス上に支援機器をマッピングすることで、利用者の特徴とその機器が作用を及ぼす活動・参加を表すことが可能となる。これは、支援機器を利用する際に重要となる、利用者の状況と利用場面との関係を表すツールとなり、支援機器の利用促進に向けた視座を与えることができる。この点を考慮して、ICF・支援機器対応表では、これらの2軸を一つの出力フォーマットとして考えることとした。

また、これらの対応表を用いた数値化の例として、REHADATに掲載されている製品のICF分類とISO9999分類との比較を行ったところ、支援機器の状況を数値によって表せることが示された。今回は、ICFについては、環境因子のコード分類により製品数をカウントしたが、前述の生活機能レベルでのコード化をすることで、さらに有用な情報を示すことも可能となる。そのため、本研究で作成する対応表では、ICFの生活機能に関するコードとISO9999のコードを付すこととした。

E. 結論

ドイツの支援機器データベース REHADAT に着目し、そこで製品に付されている ICF コードと ISO9999 のコードの状況から、作成する対応表のコンセプトにつながる知見を得ることができた。

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈, ICF 活用の実際と展望第7回福祉機器, 総合リハビリテーション, 第47巻, 第11号, pp. 1126-1129, 2019.

2. 学会発表

1) 井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来. ICF を活用した支援機器のマッピング. 第8回厚生労働省 ICF シンポジウム, 2020.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

付録：REHADAT データにおけるISO9999 とICF の対応

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 04 03 03	吸入気前処理器	b440; d570; d5702; e115
ISO 04 03 06	吸入器	b440; d570; d5702; e115
ISO 04 03 12	レスピレーター	b440; b445; d570; d5702; e115
ISO 04 03 18	酸素療法用具	b440; b445; d570; d5702; e115
ISO 04 03 21	吸引器	b440; b445; d570; d5702; e115
ISO 04 03 24	呼吸用ベンチ・クッション	b440; b445; d570; d5702; e115
ISO 04 03 27	呼吸筋訓練用具	b440; b445; d570; d5702; e115
ISO 04 03 30	呼吸機能計測器	b440; b4402; b445; d570; d5702; e115
ISO 04 03 33	口蓋支持器	b440; d570; d5702; e115
ISO 04 03 88	浮腫防止用弾性ストッキング	b440; d570; d5702; e115
ISO 04 06 06	循環障害のための空気を充満したスーツと圧迫療法用具	b415; s410; d570; d5702; e115
ISO 04 06 09	循環障害のための空気を充満したスーツと圧迫療法用具	d570; d5702; e115
ISO 04 08	身体制御および身体感覚を刺激するための用具	d570; d5702; e115
ISO 04 09 03	紫外線ランプA型	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d570; d5702; e115
ISO 04 09 06	選択的紫外線療法 (SUP) と紫外線ランプB形	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d570; d5702; e115
ISO 04 09 09	光線療法用保護眼鏡	b210; d570; d5702; e115
ISO 04 09 12	昼光治療用ランプ	b152; d570; d5702; e115
ISO 04 15 03	血液透析装置 (HD)	b610; b6100; d570; d5702; e115
ISO 04 15 06	持続携帯式腹膜透析 (CAPD) 装置	b610; b6100; d570; d5702; e115
ISO 04 15 12	透析用器具類	b610; b6100; d570; d5702; e115
ISO 04 19 04	薬剤の正しい使用を確保するための、用量の計測・分注・変更に用いる服薬支援用具	d570; d5702; e110; e1101
ISO 04 19 06	インジェクション・ガン	d570; d5702; e115
ISO 04 19 09	ディスポーザル注射器	d570; d5702; e115
ISO 04 19 12	注射器	d570; d5702; e115
ISO 04 19 15	ディスポーザル注射針	d570; d5702; e115
ISO 04 19 18	注射針 (繰り返し・永続的使用)	d570; d5702; e115
ISO 04 19 24	注入ポンプ	d570; d5702; e115
ISO 04 19 27	動力を使わない注入システム	d570; d5702; e115
ISO 04 19 30	座薬挿入器	d570; d5702; e115
ISO 04 19 33	薬剤投与用具の付属品	d570; d5702; e115
ISO 04 22	滅菌用具	d570; d5702; e115
ISO 04 24 03	尿検査器材	b610; d570; d5702; e115
ISO 04 24 06	細菌培養器材	b430; b435; b439; d570; d5702; e220
ISO 04 24 09	血圧計	b420; d570; d5702; e115
ISO 04 24 12	血液検査用機器・装置・器材	b430; d570; d5702; b540; b5401; e115
ISO 04 24 15	心電計	b410; d570; d5702; e115
ISO 04 24 18	理学的検査・評価器材	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; d410; d415; d420; d429; d450; d455; d460; d465; d469; d570; d5702; e115
ISO 04 24 21	人の理学的・生理学的特性を計測する用具	d570; d5702; e115
ISO 04 24 24	体温計	d570; d5702; e115
ISO 04 24 27	体重計	d570; d5702; e115
ISO 04 24 30	皮膚状態を計測する用具	d570; d5702; e115
ISO 04 25 03	言語機能検査・評価器材	b167; d310; d315; d320; d325; d329; d330; d335; d340; d345; d349; d350; d355; d360; d369; d398; d399; e115
ISO 04 25 06	心理学的検査・評価器材	b110; b114; b117; b122; b126; b130; b134; b139; b152; d570; d5702; e115
ISO 04 26	認知機能治療用具	b110; b114; b117; b139; b160; b164; e115
ISO 04 27 06	除痛刺激装置	b280; b289; b730; b735; b7356; d570; d5702; e115
ISO 04 27 09	筋刺激装置 (装具として用いられないもの)	b730; b7306; b735; b7356; b740; b7400; b7401; b760; d570; d5702; e115
ISO 04 27 12	バイブレータ	b265; b440; d570; d5702; e115
ISO 04 27 15	耳鳴刺激装置	b240; b2400; d570; d5702; e115

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 04 27 18	感覚・知覚刺激装置	b210; b215; b220; b229; b230; b235; b240; b249; b250; b255; b260; b265; b270; b279; b280; b289; b298; b299; e115
ISO 04 27 21	細胞増殖刺激装置	s110; s120; s130; s140; s150; s210; s220; s230; s240; s250; s260; s310; s320; s330; s340; s410; s420; s430; s510; s520; s530; s540; s550; 560; s570; s580; s610; s620; s630; s710; s720; s730; s740; s750; s760; s810; s820; s830; s840; d570; d5702; e115
ISO 04 27 24	植込み型刺激装置	b280; b730; b735; d570; d5702; e115
ISO 04 30 03	温熱療法用具	b130; b152; b280; b289; b415; b735; b810; b820; b830; b840; b849; d570; d5700; e115
ISO 04 30 06	寒冷療法用具	b130; b152; b280; b289; b415; b735; b810; b820; b830; b840; b849; d570; d5700; e115
ISO 04 33 03	組織の完全性を維持するための座用クッション・敷物	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d413; d4153; d570; d5702; e115
ISO 04 33 04	組織の完全性を維持するための背クッション・背あて	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d413; d4153; d570; d5702; e115
ISO 04 33 06	臥位での組織の完全性を維持するための用具	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d413; d4150; d570; d5702; e115
ISO 04 33 09	組織の完全性のための特殊な機器	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d415; d570; d5702; e115
ISO 04 36 03	識別及び類別知覚機能の訓練用具	b156; e115
ISO 04 36 06	知覚的協応機能訓練用具	b156; b760; d110; d115; d120; d129; d570; d5702; e115
ISO 04 36 09	感覚統合学習用具	b156; e115
ISO 04 45	脊椎牽引療法用具	b710; b715; b720; b729; s760; s7600; e115
ISO 04 48 03	自転車エルゴメータ	b455; b455; b730; b735; b740; b749; s410; s710; s720; s730; s740; s750; s760; s770; s798; s799; d570; d5701; e115
ISO 04 48 07	歩行パターン訓練用具	b770; d450; e115
ISO 04 48 12	手指訓練用具	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; s7302; d440; d445; e115
ISO 04 48 15	上肢・体幹・下肢訓練用具	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; d410; d415; d420; d429; d570; d5701; e115
ISO 04 48 18	重錘バンド	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; d570; d5701; e115
ISO 04 48 24	運動・筋力・バランス訓練用バイオフィードバック機器	b235; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; e115
ISO 04 48 27	治療用姿勢保持用具	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; d410; d415; d420; d429; e115
ISO 04 48 30	顎の訓練用具	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; s710; e115
ISO 04 49	創傷治療用具	b810; b820; d570; d5702; e115
ISO 05 03 03	音声言語訓練用具	b156; b1560; b310; b320; b330; b340; b398; b399; d330; e125; e1251
ISO 05 03 06	読解力訓練用具	b167; b1670; b16701; d140; e125; e1251
ISO 05 03 09	書字能力訓練用具	b167; b1671; b16711; d145; d345; ; e125; e1251
ISO 05 06 03	指文字・指点字訓練用具	b167; b1670; b16702; b1671; b16712; d315; d320; d335; d340; e125; e1251
ISO 05 06 06	手話訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; e125; e1251
ISO 05 06 09	読唇訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; e125; e1251
ISO 05 06 12	キュードスピーチ訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; e125; e1251
ISO 05 06 15	点字訓練用具	b167; b1670; b16701; d166; d170; e125; e1251
ISO 05 06 18	触覚コミュニケーション訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; d3351; e125; e1251
ISO 05 06 21	図記号訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; d3351; e125; e1251
ISO 05 06 24	ブリスシンボル・コミュニケーション訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; d3351; e125; e1251
ISO 05 06 27	絵図コミュニケーション訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; d3352; e125; e1251

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 05 06 30	モールス信号訓練用具	b167; b1670; b1671; d315; d335; d3351; e125; e1251
ISO 05 09 03	失禁警報装置	b620; b630; d530; d5300; d5301; e130; e1301
ISO 05 12 03	記憶訓練用具	b144; d160; e130; e1301
ISO 05 12 06	順列化能力訓練用具	b164; b172; b176; d163; e130; e1301
ISO 05 12 09	注意訓練用具	b140; d160; e130; e1301
ISO 05 12 12	概念発達訓練用具	b164; b1640; b167; d163; e130; e1301
ISO 05 12 15	類別能力訓練用具	b164; b167; d163; e130; e1301
ISO 05 12 18	問題解決能力訓練用具	b164; b1646; d175; e130; e1301
ISO 05 12 21	帰納・演繹能力訓練用具	b164; b1641; b1645; b1646; d175; e130; e1301
ISO 05 12 24	原因・結果の理解力訓練用具	b117; d175; e130; e1301
ISO 05 15 03	初等計数訓練用具	b172; d150; d172
ISO 05 15 06	読字訓練用具	b167; b1670; b16701; b1671; b16711; d140; d145; e130; e1301
ISO 05 15 09	時間概念訓練用具	b114; b1140; b164; e130; e1301
ISO 05 15 12	金銭概念訓練用具	b164; d860; e130; e1301
ISO 05 15 15	大きさ・容量計測能力訓練用具	b156; b1561; b164; e130; e1301
ISO 05 15 18	学習支援用具	b156; b1561; b1565; b164; d163; e130; e1301
ISO 05 18 03	母国語学習用具	b167; d140; d145; d170; d330; e130; e1301
ISO 05 18 06	外国語学習用具	b167; d140; d145; d170; d330; e130; e1301
ISO 05 18 09	人文科学学習用具	d820; e130; e1301
ISO 05 18 12	社会科学学習用具	d710; d720; d729; d730; d740; d750; d760; d770; d779; d798; d799; d820; e130; e1301
ISO 05 18 15	数学・物理学の学習用具	d820; e130; e1301
ISO 05 24 03	音楽学習用具	b340; b3400; d920; d9202; e130; e1301
ISO 05 24 06	描画・絵画学習用具	d335; d3352; e130; e1301
ISO 05 24 09	演劇・舞踊学習用具	d920; d9202; e130; e1301
ISO 05 27 03	レクリエーション訓練用具	d920; e130; e1301
ISO 05 27 06	社会的行動訓練用具	d710; d720; e130; e1301
ISO 05 27 09	安全訓練用具	d570; d5702; e130; e1301
ISO 05 27 12	旅行訓練用具	d470; d920; e130; e1301
ISO 05 30 03	マウス操作訓練用具	d155; d360; d3601; e130; e1301
ISO 05 30 06	ジョイスティック操作訓練用具	d155; d360; d3601; e130; e1301
ISO 05 30 09	スイッチ操作訓練用具	d155; d360; d3601; e130; e1301
ISO 05 30 12	タイピング訓練用具	d155; d360; d3601; e130; e1301
ISO 05 30 15	選択式入力装置訓練用具	d155; e130; e1301
ISO 05 33 03	義肢装具訓練用具	d155; d410; d415; d420; d429; d430; d435; d440; d445; d449; d450; d455; d460; d465; d469; d470; d475; d480; d489; d498; d499; e130; e1301
ISO 05 33 06	日常生活訓練用具	d155; d510; d520; d530; d540; d550; d560; d570; d598; d599; e130; e1301
ISO 05 33 09	移動機能訓練用具	d155; d410; d415; d420; d429; d430; d435; d440; d445; d449; d450; d455; d460; d465; d469; d470; d475; d480; d489; d498; d499; e130; e1301
ISO 05 33 12	家事訓練用具	d155; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; e130; e1301
ISO 05 36 03	起立フレーム・起立支持装置	b770; d410; d4100; d4104; d415; d4154; e130; e1301
ISO 05 36 06	傾斜台	b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; d410; d415; d420; d429; e130; e1301
ISO 06 03 03	仙腸装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s740; s760; s76003; s76004; d570; e115; e1151
ISO 06 03 06	腰仙椎装具 (LSO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76003; s76004; d570; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 06 03 07	胸椎装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76001; d570; e115; e1151
ISO 06 03 08	胸腰部装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76001; s76003; d570; e115; e1151
ISO 06 03 09	胸腰仙椎装具 (TLSO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76001; s76002; s76003; s76004; d570; e115; e1151
ISO 06 03 12	頸椎装具 (CO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s710; s760; s76000; d570; e115; e1151
ISO 06 03 15	頸胸椎装具 (CTO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s710; s760; s76000; s76001; d570; e115; e1151
ISO 06 03 18	頸胸腰仙椎装具 (CTLSO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s710; s760; s76000; s76001; d570; e115; e1151
ISO 06 03 21	頭部装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s710; d570; e115; e1151
ISO 06 03 27	脊椎装具用関節部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76002; d570; e115; e1151
ISO 06 03 30	脊椎・頭部装具用インターフェイス部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76002; d570; e115; e1151
ISO 06 03 33	脊椎・頭部装具用構造部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76002; d570; e115; e1151
ISO 06 03 36	脊椎・頭部装具用仕上げ（装飾）部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s760; s76002; d570; e115; e1151
ISO 06 03 39	下顎前方固定用具	s710; e115; e1151
ISO 06 04 03	腹部筋サポート	s760; s7601; s7602; d570; e115; e1151
ISO 06 04 06	腹部ヘルニア装具	s760; s7601; s7602; d570; e115; e1151
ISO 06 04 09	腹部装具のインターフェイス部品	s760; s7601; s7602; d570; e115; e1151
ISO 06 04 12	腹部装具の仕上げ（装飾）部品	s760; s7601; s7602; d570; e115; e1151
ISO 06 06 03	指装具 (FO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 06	手部装具 (HO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 07	手一指部装具 (HO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 12	手関節手指装具 (WHO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7301; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 13	手関節指装具 (WHFO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7301; s7302; d570; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 06 06 15	肘装具 (EO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7300; d570; e115; e1151
ISO 06 06 19	肘手関節指装具 (EWHO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7300; s7301; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 20	前腕装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s73010; d570; e115; e1151
ISO 06 06 21	肩装具 (SO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; d570; e115; e1151
ISO 06 06 24	肩肘装具 (SEO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; s730; d570; e115; e1151
ISO 06 06 25	上腕装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s73000; d570; e115; e1151
ISO 06 06 30	肩肘手関節指装具 (SEWHO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; s730; s7300; s7301; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 32	手・指継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7302; d570; e115; e1151
ISO 06 06 33	手継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7301; d570; e115; e1151
ISO 06 06 36	肘継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s730; s7300; d570; e115; e1151
ISO 06 06 39	肩継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; d570; e115; e1151
ISO 06 06 42	上肢装具のインターフェイス部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; d570; e115; e1151
ISO 06 06 45	上肢装具の構造部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; d570; e115; e1151
ISO 06 06 48	上肢装具の仕上げ(装飾)部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s720; d570; e115; e1151
ISO 06 12 03	足装具 (FO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7502; d570; e115; e1151
ISO 06 12 06	短下肢装具 (AFO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7502; d570; e115; e1151
ISO 06 12 09	膝装具 (KO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7501; s75011; d570; e115; e1151
ISO 06 12 12	長下肢装具 (KAFO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7501; s7502; d570; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 06 12 13	下腿装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7501; s75010; d570; e115; e1151
ISO 06 12 15	股装具 (HO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; d570; e115; e1151
ISO 06 12 16	骨盤帯膝装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; s7501; d570; e115; e1151
ISO 06 12 17	大腿装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; s75000; d570; e115; e1151
ISO 06 12 18	骨盤帯長下肢装具 (HKAFO)	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; s7501; s7502; d570; e115; e1151
ISO 06 12 19	胸郭 - 腰椎 - 骨盤 - 長下肢装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s740; s750; s7500; s7501; s7502; s760; d570; e115; e1151
ISO 06 12 20	足一足指継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7502; d570; e115; e1151
ISO 06 12 21	足継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7502; d570; e115; e1151
ISO 06 12 24	膝継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7501; d570; e115; e1151
ISO 06 12 27	股継手	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; d570; e115; e1151
ISO 06 12 30	下肢装具のインターフェイス部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; d570; e115; e1151
ISO 06 12 33	下肢装具の構造部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; d570; e115; e1151
ISO 06 12 36	下肢装具の仕上げ (装具) 部品	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s750; s7500; d570; e115; e1151
ISO 06 15	機能的電気刺激装置とハイブリッド装具	b260; b710; b715; b720; b729; b730; b735; b740; b749; b750; b755; b760; b765; b770; b780; b789; b798; b799; s710; s720; s730; s740; s750; s760; s770; s798; s799; d570; e115; e1151
ISO 06 18 03	手根中手義手	b180; b1801; s730; s7302; d440; e115; e1151
ISO 06 18 06	手義手	b180; b1801; s730; s73011; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 09	前腕義手	b180; b1801; s730; s7301; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 12	肘義手	b180; b1801; s730; s73001; s7301; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 15	上腕義手	b180; b1801; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 18	肩義手	b180; b1801; s720; s7201; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 21	肩甲胸郭義手	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 24	義手及び義指	b180; b1801; s730; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 25	能動フックその他のハサミ動作を用いる末端装具	b180; b1801; s730; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 26	義手用特殊手先具	b180; b1801; s730; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 30	手継手	b180; b1801; s730; s7301; s73011; d440; d445; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 06 18 33	肘継手	b180; b1801; s730; s73001; s7301; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 36	肩継手	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 39	義手の外部（側部）継手	b180; b1801; s720; s730; s73011; s7302; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 40	肘回転ユニット	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 41	屈曲ユニット	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 42	義手のソケット	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 45	義手用断端袋	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 48	吸着部品	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 51	義手用アライメント調整部品	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 54	義手の構造部品	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 18 57	義手の仕上げ（装飾）部品	b180; b1801; s720; s730; d440; d445; e115; e1151
ISO 06 24 03	足根義足・足根中足義足・足指義足	b180; b1801; s750; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 06	サイム義足	b180; b1801; s750; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 09	下腿義足	b180; b1801; s750; s7501; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 12	膝義足	b180; b1801; s750; s7501; s75011; s7501; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 15	大腿義足	b180; b1801; s750; s7500; s7501; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 18	股義足	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 21	片側骨盤切除用義足	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 27	足継手・足部ユニット	b180; b1801; s750; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 30	軸回転装置（トルクアップソーバ）	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d440; d445; d449; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 31	負荷減衰装置（ショックアップソーバ）	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 32	義足ターンテーブル	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 33	膝継手	b180; b1801; s750; s7501; s75011; s7501; s7502; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 36	股継手	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 37	義足の外部（側部）継手	b180; b1801; s750; s7501; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 40	義足の断端袋	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 41	義足用ソケット	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 42	義足用吸着部品	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 45	義足用アライメント調整部品	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 06 24 46	義足の構造部品	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 47	義足の仕上げ（装飾）部品	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 24 48	訓練用仮義足	b180; b1801; s750; d410; d415; d420; d429; d435; d450; d455; d460; d465; d469; d498; d499; e115; e1151
ISO 06 30 03	かつら	b180; b1801; s840; e115; e1151
ISO 06 30 06	ヘアピース・入れ毛	b180; b1801; s840; e115; e1151
ISO 06 30 09	まつげ・まゆ毛	b180; b1801; b215; b2151; s230; s2301; s2302; e115; e1151
ISO 06 30 12	あごひげ・口ひげ	b180; b1801; s840; e115; e1151
ISO 06 30 15	体幹パッド	b180; b1801; s760; e115; e1151
ISO 06 30 18	義乳房	b180; b1801; s630; s6302; e115; e1151
ISO 06 30 21	義眼	b180; b1801; s220; e115; e1151
ISO 06 30 24	義耳	b180; b1801; s240; e115; e1151
ISO 06 30 27	義鼻	b180; b1801; s310; s3100; e115; e1151
ISO 06 30 30	顔用マスク	b180; b1801; s810; s8100; e115; e1151
ISO 06 30 33	義口蓋	b510; b5105; b51051; s320; s3202; e115; e1151
ISO 06 30 36	義歯	b180; b1801; b510; b5101; b5102; b5103; s320; s3200; e115; e1151
ISO 06 30 39	皮膚被覆材	b180; b1801; s810; e115; e1151
ISO 06 30 88	義肢以外の身体補填具（プロテーゼ）	b180; b1801; e115; e1151
ISO 09 03 05	上着	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 09	帽子	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 12	手袋	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 15	ブラウス・シャツ	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 18	上着・ズボン	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 21	スカート・ワンピース	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 24	下着	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 27	ストッキング・ソックス	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 30	ナイトウェア	d540; d5400; d5401; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 33	水着	d455; d4554; d540; d5400; d5401; d5404; d920; d9201; e115; e1151
ISO 09 03 39	よだれかけ・エプロン	d540; d5400; d540; d5401; d5404; d550; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; e115; e1151
ISO 09 03 42	履物	d540; d5402; d540; d5403; d5404; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 03 45	靴用滑り止め	d450; d455; d460; d465; d469; d540; d5402; d5403; e115; e1151
ISO 09 03 48	留具	d440; d445; d540; d5400; d5401; d5404; e115; e1151
ISO 09 03 51	ネクタイ	d440; d445; d540; d5400; d5401; d5404; e115; e1151
ISO 09 06 03	頭部保護用具	s710; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 06	眼及び顔面保護用具	b210; b215; s210; s220; s230; s310; s3100; s320; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 09	耳保護用具	b230; b235; b240; s240; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 12	肘・腕保護用具	b810; b820; s730; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 15	手部保護用具	b810; b820; s730; s7302; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 18	膝・下腿保護用具	b810; b820; s750; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 21	踵・足指・足部保護用具	b810; b820; s750; s7502; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 24	体幹又は全身保護用具	b810; b820; s760; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 06 27	気道保護用具	b440; s430; d570; d5702; e115; e1151
ISO 09 07	身体安定化用具	d415; e115; e1151
ISO 09 07 03	身体安定化のためのシートベルト、ベルト、ハーネス	d415; d4150; d4153; e115; e1151
ISO 09 07 06	位置調整枕、クッション、システム	d4150; d570; d5700; e115; e1151
ISO 09 09 03	ストッキングエイド・ソックスエイド	d540; d5400; d540; d5401; d5402; d5403; e115; e1151
ISO 09 09 06	靴べら・靴脱ぎ具	d540; d5402; d540; d5403; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 09 09 09	衣類着脱用ホルダ	d540; e115; e1151
ISO 09 09 12	ドレッシングエイド	d540; e115; e1151
ISO 09 09 15	ジップエイド	d540; e115; e1151
ISO 09 09 18	ボタンエイド	d540; e115; e1151
ISO 09 12 03	ポータブルトイレ	d410; d4103; d530; e115; e1151
ISO 09 12 06	便器	d410; d4103; d530; e115; e1151
ISO 09 12 09	便座	d410; d4103; d530; e115; e1151
ISO 09 12 10	飛沫ガード	d530; e115; e1151
ISO 09 12 12	フレーム取付け型補高便座	d410; d4103; d4104; d530; e115; e1151
ISO 09 12 15	便座インサート	d410; d4103; d4104; d530; e115; e1151
ISO 09 12 18	固定式補高便座	d410; d4103; d4104; d530; e115; e1151
ISO 09 12 21	起立・着座支援用昇降機構付き便座	d410; d4103; d4104; d530; e115; e1151
ISO 09 12 24	トイレ用肘掛け・背もたれ（固定式）	d410; d4103; d4104; d530; e115; e1151
ISO 09 12 25	トイレ用肘掛け・背もたれ（据置き式）	d410; d4103; d4104; d530; e115; e1151
ISO 09 12 27	トイレットペーパー挟み	d445; d530; e115; e1151
ISO 09 12 30	トイレットペーパーホルダ	d445; d530; e115; e1151
ISO 09 12 33	差し込み便器	d530; e115; e1151
ISO 09 12 36	温水洗浄便座	d445; d530; e115; e1151
ISO 09 12 39	小便器	d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 12 43	可搬型トイレ	d530; e115; e1151
ISO 09 15 03	永久気管孔カニューレ	b440; s430; s4300; e115; e1151
ISO 09 15 04	咽頭チューブ	b440; s430; s4300; e115; e1151
ISO 09 15 06	永久気管孔保護用具	b440; s430; s4300; e115; e1151
ISO 09 15 12	気管切開ケア用付属品	b440; s430; s4300; e115; e1151
ISO 09 18 10	ストーマ用単品系ストーマ袋	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 11	ストーマ用二品系ストーマプレート	b525; b810; b820; b830; b840; b849; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 16	ストーマ用二品系ストーマ袋	b525; b810; b820; b830; b840; b849; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 17	ストーマ用追加ストーマ袋	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 19	ストーマ用ストーマ袋支持・固定用具	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 20	ストーマ用充填物	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 22	ストーマ拡張用具	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 24	腸洗浄用具	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 28	ストーマ内部の排出・洗浄用具	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 31	ストーマの密閉用具	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 48	術後ストーマ袋・付属品	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 51	ストーマ付属品	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 18 88	ストーマ用具	b525; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 21 03	拭き取り剤	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d520; d5200; e115
ISO 09 21 06	洗浄剤	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d520; d5200; e115
ISO 09 21 09	消毒剤	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d520; d5200; e115
ISO 09 21 15	シール材	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d520; d5200; e115
ISO 09 21 18	皮膚保護剤	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d520; d5200; e115
ISO 09 24 03	長期留置カテーテル	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 06	経尿道間欠カテーテル	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 09	ペニスシース	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 12	排尿補助具	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 15	女性用受尿器	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 18	自己導尿用具	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 21	男性用受尿器	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 24 88	採尿器	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 27 04	閉鎖形蓄尿袋	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 27 05	開閉形蓄尿部	b620; d530; d5300; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 09 27 09	しびん	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 27 13	収尿器用吊り具・固定具	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 27 18	収尿器	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 27 21	蓄便袋	b620; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 12	小児用使い捨て失禁用品	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 30 15	小児用洗える失禁用品	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 30 18	成人用使い捨て失禁用品	b620; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 21	成人用使い捨ておむつ	b620; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 24	成人用使い捨て保護下着	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 30 27	男性用使い捨て失禁用品	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 30 30	液バリアのない成人用使い捨て失禁用品	b620; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 30 33	成人用使い捨て便失禁用品	b620; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 36	成人用ウォッシュャブル失禁パンツ	b620; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 39	尿・便吸収用装着品固定具	b620; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 42	尿・便吸収用非装着式使い捨て用品	b620; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 30 45	尿・便吸収用非装着式洗える用品	b620; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 31 03	尿失禁防止用具	b620; b6202; d530; d5300; e115; e1151
ISO 09 31 06	便失禁防止用具	b525; b5253; d530; d5301; e115; e1151
ISO 09 31 88	失禁防止用具	b525; b5253; b620; b6202; d530; d5300; d5301; e115; e1151
ISO 09 32	月経管理用具	b650; d530; d5302; e115
ISO 09 33 04	バスボード	d510; d5101; e115
ISO 09 33 05	浴用シート	d415; d4153; d510; d5101; e115
ISO 09 33 06	浴室用滑り止め材	d415; d510; e115
ISO 09 33 07	シャワーいす（車輪付き／車輪なし）	d510; d5101; e115
ISO 09 33 08	入浴・シャワー用背もたれ	d451; d4153; d510; d5101; e115
ISO 09 33 09	シャワー器具	d510; e115
ISO 09 33 12	入浴担架・シャワータブル・おむつ交換台	d415; d4150; d510; d530; e115
ISO 09 33 15	洗面	d510; d5100; e115
ISO 09 33 18	ビデ	d510; d5100; e115
ISO 09 33 21	浴槽	d510; d5101; e115
ISO 09 33 24	浴槽用棚	d420; d4200; d510; e115
ISO 09 33 27	浴槽短縮・底上げ用具	d415; d4153; d510; e115
ISO 09 33 30	洗体自助具	d440; d445; d510; e115
ISO 09 33 33	石鹸皿・ソープディスペンサー	d440; d445; d510; e115
ISO 09 33 36	ボディドライ用品	d510; d5102; e115
ISO 09 33 39	浴用浮き具	d455; d4554; d510; e115
ISO 09 33 42	シュノーケル	b440; d455; d4554; d510; e115
ISO 09 33 45	浴用温度計	b440; d510; e115
ISO 09 36 03	爪用ブラシ	d520; d5203; d5204; e115
ISO 09 36 06	爪用やすり	d520; d5203; d5204; e115
ISO 09 36 09	爪切り	d520; d5203; d5204; e115
ISO 09 36 12	カルススモーカー	d520; d5200; e115
ISO 09 39 03	シャンプー用具	d510; d5100; e115
ISO 09 39 06	くし・ヘアブラシ	d520; d5202; e115
ISO 09 39 09	ヘアドライヤ	d510; d5102; d520; d5202; e115
ISO 09 42 03	歯ブラシ	d520; d5201; e115
ISO 09 42 06	電動歯ブラシ	d520; d5201; e115
ISO 09 45 03	カミソリ・電気カミソリ	d520; d5200; d5202; e115
ISO 09 45 06	化粧用具	d520; d5200; e115
ISO 09 45 09	化粧鏡	d520; d570; e115
ISO 09 54 03	性行為用人体模型	b640; s630; d770; d7702; e115
ISO 09 54 06	勃起支援用具	b640; s630; d770; d7702; e115
ISO 09 54 09	性交用バイブレータとマッサージ器	b640; s630; d770; d7702; e115
ISO 09 54 12	性的リハビリテーション用具	b640; s630; d770; d7702; e115

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 12 03 03	ステッキ・T字杖	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 03 06	エルポークラッチ（ロフストランドクラッチ）	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 03 09	プラットホームクラッチ	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 03 12	松葉杖	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 03 16	多脚杖・T字杖	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 03 18	座席付きステッキ・T字杖	b770; d410; d4103; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 03 21	体側支持歩行器	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 06 03	歩行器	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 06 06	歩行車	b770; d450; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 06 09	いす付き歩行車	b770; d410; d4103; d450; d4500; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 06 12	歩行テーブル	b770; d410; d4103; d4104; d450; d4500; d4501; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 07 05	歩行支援用具脚先	e120; e1201
ISO 12 07 12	歩行支援用具を適切に握るための用具	d440; d4402; e120; e1201
ISO 12 07 15	特定の身体部位を支持する歩行支援用具の付属品	e120; e1201
ISO 12 07 18	歩行中の内出血や皮膚創傷を防止するためのパッド、クッション、その他の付属品	e120; e1201
ISO 12 07 21	歩行支援用具の座席	d415; d4153; e120; e1201
ISO 12 07 24	保持・運搬のため歩行支援用具に取り付けられた付属品	e120; e1201
ISO 12 07 27	非使用時の歩行支援用具の固定用具	e120; e1201
ISO 12 07 30	歩行支援用具の操作を可能にするための付属品	e120; e1201
ISO 12 07 33	歩行車や歩行器の高さを調節するための付属品	e120; e1201
ISO 12 07 36	歩行支援用具のライト・安全信号表示器	e120; e1201
ISO 12 07 39	歩行支援用具のタイヤ・車輪	e120; e1201
ISO 12 07 88	歩行支援用具付属品	e120; e1201
ISO 12 10 03	ニーリングカー・バン・トラック	d470; d4701; d475; d4751; e120; e1200; e1201
ISO 12 10 06	低速度自動車	d470; d4701; d475; d4751; e120; e1200; e1201
ISO 12 10 09	ハイルーフ自動車・バン・トラック	d470; d4701; d475; d4751; e120; e1200; e1201
ISO 12 11 03	ニーリングバス	d470; d4702; e120; e1200; e1201
ISO 12 11 06	低床列車	d470; d4702; e120; e1200; e1201
ISO 12 12 04	速度制御用部品・改造部品	d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 05	ブレーキ制御・パーキングブレーキ係合・解除用部品・改造部品	d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 07	操舵システム用部品・改造部品	d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 08	補完機能部品・改造部品	d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 09	自動車用シートベルト	d415; d4153; d470; d4701; d4702; d475; d4751; e115
ISO 12 12 12	自動車用シートクッション・シート関連部品・改造部品	d415; d4153; d470; d4701; d4702; d475; d4751; e115
ISO 12 12 15	自動車用リフト（車椅子用を除く）	d410; d4103; d420; d4200; d470; d4701; d4702; e120; e1201
ISO 12 12 18	自動車用車椅子リフト	d410; d4103; d420; d470; d4701; d4702; d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 21	車椅子車載装置	d470; d4701; d4702; d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 24	自動車用車椅子固定装置	d465; d470; d4701; d4702; d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 27	車台・車体改造用部品	d465; d470; d4701; d4702; d475; d4751; e120; e1201
ISO 12 12 30	自動車用車椅子運搬装置	d470; d4701; d4702; e120; e1201

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 12 16 03	二輪バイク	d475; d4751; e120; e1200; e1201
ISO 12 16 06	三輪バイク	d475; d4751; e120; e1200; e1201
ISO 12 17 03	動力付階段昇降装置	d455; d4551; d460; d4600; d4601; d465; e120; e1200; e1201
ISO 12 17 06	立ち乗り用原動機付車両	d475; d4751; e120; e1200; e1201
ISO 12 17 09	その他の原動機付四輪車両	d475; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 04	足こぎ式自転車	d475; d4750; d435; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 05	手こぎ式自転車	d475; d4750; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 06	足こぎ式三輪・四輪自転車	d475; d4750; d435; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 09	手こぎ式三輪・四輪自転車	d475; d4750; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 12	キック式スクータ	d475; d4750; d435; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 15	二人乗り以上のタンデム自転車・三輪・四輪自転車	d475; d4750; d435; e120; e1200; e1201
ISO 12 18 21	自転車改造用部品	d475; d4750; e120; e1201
ISO 12 18 88	自転車	d475; d4750; e120; e1200; e1201
ISO 12 22 03	自走用両手駆動車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 22 06	自走用両手レバー駆動車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 22 09	自走用片手駆動車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 22 12	ハンドリム駆動式パワーアシスト車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 22 15	足蹴り式車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 22 18	手押し車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 22 21	パワーアシスト手押し車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 23 03	自操用手動操作電動車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 23 06	自操用動力操舵電動車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 23 09	エンジン付き車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 23 12	介助用電動車椅子	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 23 15	階段昇降用電動車椅子	d455; d4551; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 24 03	車椅子操舵・制御システム	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 24 09	手動車椅子用駆動ユニット	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 24 12	車椅子用ライト・安全信号表示器	d465; e115
ISO 12 24 18	車椅子用制動・駐車ブレーキ	d465; e115
ISO 12 24 21	車椅子用タイヤ・車輪・キャスト	d465; e115
ISO 12 24 24	車椅子用バッテリー・充電器	d465; e115
ISO 12 24 28	車椅子本体・付属品洗浄用具	d465; d650; d6504; e115
ISO 12 24 34	日光・降水保護用具	d465; e115
ISO 12 24 36	自転車接続用器具	d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 24 39	車椅子用階段昇降装置	d455; d4551; d460; d4600; d4601; d4602; d465; e120; e1201
ISO 12 24 42	車椅子用荷物積載・運搬用具	d465; e115
ISO 12 24 45	車椅子周辺確認用具	d465; e115
ISO 12 24 88	車椅子用付属品	d465; e115
ISO 12 27 04	移送用いす	d415; d4153; d465; e120
ISO 12 27 07	乳母車・バギー	d415; d4150; d4153; d465; e120
ISO 12 27 10	そり	d465; d470; d4700; e120
ISO 12 27 15	クローラと移動ボード	d465; d470; d4700; e120
ISO 12 27 18	車輪付きストレッチャ・ペダルカー・遊具用カート	d465; d470; d4700; e120
ISO 12 27 24	手動立ち乗り移動用具	d465; d470; d4700; e120
ISO 12 31 03	スライディング・回転用具	d420; e120
ISO 12 31 06	ターンテーブル	d420; e120
ISO 12 31 09	据置式起き上がり用手すり	d410; d4100; d4103; d4104; e120
ISO 12 31 12	なわばしご	d410; d4100; d4103; d4104; d420; d4200; d4201; e120
ISO 12 31 15	起き上がり用ベルト・ハーネス	d410; d4100; d4103; d4104; d420; d4200; d4201; d450; e120
ISO 12 31 18	搬送用いす・ハーネス・かご	d420; e120
ISO 12 31 21	移乗用プラットフォーム	d415; d4154; d430; d460; e120
ISO 12 31 24	リフトシート・マットレス	d420; e120
ISO 12 36 03	スリングシート付き床走行式リフト	d415; d4150; d4153; d420; d4200; d4201; e120
ISO 12 36 04	立位床走行式リフト	d410; d4100; d4103; d4104; d415; d4154; d420; e120

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 12 36 06	ソリッドシート付き床走行式リフト	d415; d4153; d420; d4200; e120
ISO 12 36 09	臥位用床走行式リフト	d415; d4150; d420; d4201; e120
ISO 12 36 12	住宅設置式リフト	d415; d420; d4200; d4201; e120
ISO 12 36 15	機器設置式リフト	d415; d420; d4200; d4201; e120
ISO 12 36 18	据置式リフト	d415; d420; d4200; d4201; e120
ISO 12 36 21	リフト用吊り具	d415; d4150; d4153; d4154; d420; e120
ISO 12 36 88	リフト	d415; d420; e120
ISO 12 39 03	白杖	d450; d460; e120
ISO 12 39 06	電子式視覚障害者誘導用具	d450; d460; e120
ISO 12 39 09	音声式歩行誘導装置	d450; d460; e120
ISO 12 39 12	視覚障害者用方位磁石	d450; d460; e120
ISO 12 39 15	触地図	d450; d460; e120
ISO 12 39 18	オリエンテーション用触知器材	d450; d460; e120
ISO 12 39 21	視覚式オリエンテーション器材	d450; d460; e120
ISO 15 03 03	炊事用計量・計測用具	d630; e115; e1151
ISO 15 03 06	炊事用切り分け用具	d630; e115; e1151
ISO 15 03 09	洗浄・皮むき用具	d630; e115; e1151
ISO 15 03 12	パン焼き用具	d630; e115; e1151
ISO 15 03 15	調理用機器	d630; e115; e1151
ISO 15 03 18	調理用具	d630; e115; e1151
ISO 15 03 21	加熱調理器具	d630; e115; e1151
ISO 15 03 24	冷蔵庫・冷凍庫	d640; d6404; e115; e1151
ISO 15 06 03	流し台	d640; d6401; e115; e1151
ISO 15 06 06	食器洗浄ブラシ	d640; d6401; e115; e1151
ISO 15 06 09	水切りラック	d640; d6401; e115; e1151
ISO 15 06 12	排水溝フィルタ・オーバーフローパイプ	d640; d6401; e115; e1151
ISO 15 06 15	ふきん絞り機	d640; d6401; e115; e1151
ISO 15 06 18	食器洗い機	d640; d6401; e115; e1151
ISO 15 09 03	食卓用具	d550; d560; d630; e115; e1151
ISO 15 09 06	定量取り出し容器	d550; d560; d630; e115; e1151
ISO 15 09 09	ストッパー・漏斗	d550; d560; d630; e115; e1151
ISO 15 09 13	摂食用具	d550; d560; e115; e1151
ISO 15 09 16	飲み物用具	d560; e115; e1151
ISO 15 09 18	皿と椀	d550; e115; e1151
ISO 15 09 21	フードガード	d550; e115; e1151
ISO 15 09 24	エッグスタンド	d550; e115; e1151
ISO 15 09 27	摂食支援用具	d550; d560; e115; e1151
ISO 15 09 30	経腸栄養システム	d550; d560; e115; e1151
ISO 15 12 03	掃き掃除用具	d640; d6402; e115; e1151
ISO 15 12 06	掃き掃除用具	d640; d6402; e115; e1151
ISO 15 12 09	電気掃除機	d640; d6402; e115; e1151
ISO 15 12 12	カーペット用掃除機	d640; d6402; e115; e1151
ISO 15 12 22	雑巾・床用モップ	d640; d6402; e115; e1151
ISO 15 12 24	床磨き機	d640; d6402; e115; e1151
ISO 15 12 27	ごみ処理用具	d640; d6402; d6405; e115; e1151
ISO 15 15 03	縫製用ミシン	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 06	裁縫用具	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 09	編み機	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 12	編み針・縫い針	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 15	縫い物・編み物用パターン	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 19	手縫い支援用具	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 21	はさみ	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 24	電気アイロン・こて	d650; d6500; d920; d9204; e115; e1151
ISO 15 15 27	アイロン台	d650; d6500; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 15 15 30	キャスト付き洗濯物入れ	d640; d6400; e115; e1151
ISO 15 15 33	洗濯機	d640; d6403; e115; e1151
ISO 15 15 36	洗濯用脱水機	d640; d6403; e115; e1151
ISO 15 15 39	洗濯バサミ	d640; d6400; e115; e1151
ISO 15 15 43	乾燥用具	d640; d6400; d6403; e115; e1151
ISO 15 15 48	靴磨き用具	d650; d6500; e115; e1151
ISO 15 18 03	園芸用具	d650; d6505; d920; e115; e1151; e140; e1401
ISO 15 18 06	花壇	d650; d6505; d920; e115; e1151; e140; e1401
ISO 15 18 09	園芸用保護用具・支持具	d650; d6505; d920; e115; e1151; e140; e1401
ISO 15 18 12	屋内用園芸用具・生け花用具	d650; d6505; d920; e115; e1151; e140; e1401
ISO 18 03 06	読書テーブル	d166; e115; e1150; e1151
ISO 18 03 09	製図台	d335; d3352; e115; e1150; e1151
ISO 18 03 12	食卓	d550; d560; e115; e1150; e1151
ISO 18 03 15	ベッド用テーブル	d166; d170; d550; d560; d920; e115; e1150; e1151
ISO 18 06 03	汎用照明器具	b210; b2102; e115; e1150; e1151
ISO 18 06 06	読書用・作業用照明器具	b210; b2102; e115; e1150; e1151
ISO 18 06 09	演台用・黒板用照明器具	b210; b2102; e115; e1150; e1151
ISO 18 09 03	いす	d415; d4153; e115; e1150; e1151
ISO 18 09 04	スツール	d415; d4153; e115; e1150; e1151
ISO 18 09 07	起立いす	d415; d4153; d4154; e115; e1150; e1151
ISO 18 09 09	股関節固定者用いす	s740; s7401; d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 09 15	長いいすと休息用いす	s740; s7401; d415; d4153; d570; d5700; e115; e1150; e1151
ISO 18 09 21	特殊いす	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 09 24	いす式リフト・いす式移動機器	d410; d4103; d420; d4200; d465; d470; e115; e1151
ISO 18 09 39	モジュラ式座位保持装置	s740; s760; d415; d4153; d570; d5700; e115; e1151
ISO 18 10 03	背もたれ	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 06	座用クッション・敷物	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 09	肘掛け	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 12	頭部・頸部支持具	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 15	下腿・足部支持具	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 18	体幹・骨盤支持具	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 21	座席取付け式起立・着座支援クッション・システム	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 10 24	いす取付け式トレイ・テーブル	d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 12 04	ベッド（調節機構のないもの）	d410; d4100; d415; d4150; e115; e1151
ISO 18 12 07	手動介護用ベッド	d415; d4150; d4153; d570; d5700; d660; d6600; e115; e1151
ISO 18 12 10	電動介護用ベッド	d415; d4150; d4153; d570; d5700; d660; d6600; e115; e1151
ISO 18 12 12	ベッドの昇降機	d410; d4100; d660; d6600; e115; e1151
ISO 18 12 15	寝具類	b620; b6202; b810; b820; b830; b840; b849; s810; d570; d5700; e115; e1151
ISO 18 12 18	マットレスとマットレスカバー	b620; b6202; b810; b820; b830; b840; b849; s810; d415; d4150; d570; d5700; e115; e1151
ISO 18 12 21	離被架	b810; b820; b830; b840; b849; s810; d570; d5700; e115; e1151
ISO 18 12 24	ベッド用背支持具と下腿支持具	d415; d4150; e115; e1151
ISO 18 12 26	ベッド固定式サイドレール	d570; d5702; e115; e1151
ISO 18 12 28	ベッド固定式起き上がり用手すり	d410; d4100; d4103; d415; d4153; e115; e1151
ISO 18 12 30	ベッド短縮用具	d570; d5700; e115; e1151
ISO 18 12 33	ベッド延長用具	d415; d4150; d570; d5700; e115; e1151
ISO 18 12 88	ベッド・ベッド用品	e115; e1151
ISO 18 15 03	脚延長用具	d410; d4103; d4104; d420; e115; e1151
ISO 18 15 06	高さ調節式台輪・支持金具	d410; d4103; d4104; d420; e115; e1151
ISO 18 15 09	高さ固定式台輪・支持金具	d410; d4103; d4104; e115; e1151
ISO 18 18 03	手すり（歩行支持用）	d450; e150; e155
ISO 18 18 06	固定式握りバー・握り部	d410; d4103; d4104; d415; e150; e155

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 18 18 10	着脱式握りバー・握り部	d410; d4103; d4104; d415; e150; e155
ISO 18 18 11	ヒンジレール・肘掛け	d410; d4103; d4104; d415; e150; e155
ISO 18 21 03	扉開閉用具	d460; d4600; e150; e155
ISO 18 21 06	窓開閉用具	d570; d5700; e150; e155
ISO 18 21 09	カーテン開閉用具	d570; d5700; e150; e155
ISO 18 21 12	ブラインド開閉用具	d570; d5700; e150; e155
ISO 18 21 15	錠	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 24 03	配管設備	d510; d520; d530; d540; d550; d560; d570; d598; d599; d610; d620; d629; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; e150; e155
ISO 18 24 06	窓	d570; d5700; e150; e155
ISO 18 24 09	ドア	d460; d570; d5700; e150; e155
ISO 18 24 12	敷居	b114; b1141; d460; d570; d5700; e150; e155
ISO 18 24 15	床マット	d450; d455; d460; d465; d469; d570; d5700; e150; e155
ISO 18 24 18	階段	d455; d4551; d460; e150; e155
ISO 18 24 21	カウンター	e150; e155
ISO 18 24 88	住宅部品・部材	e150; e155
ISO 18 30 03	エレベータ	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 05	固定式段差解消機	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 07	自立式段差解消機	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 08	可搬式段差解消機	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 10	シート付き階段昇降機	d415; d4153; d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 11	プラットフォーム付き階段昇降機	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 15	可搬式スロープ	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 18	固定式スロープ	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 30 21	梯子・脚立	d455; d4551; e150; e155
ISO 18 30 24	シート・プラットフォーム非設置式階段昇降支持具	d455; d4551; d460; d465; e150; e155
ISO 18 33 03	床用・階段用滑り止め材	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 33 06	安全防護柵（窓用・階段用・昇降機用）	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 33 09	ガス安全装置	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 33 10	台所・調理場用火傷・失火防止用具	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 33 12	救助用具	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 33 15	床・階段用触知材	b114; b1141; d455; e150; e155
ISO 18 33 18	耐火性床マット	d570; d5702; e150; e155
ISO 18 36 03	棚	d610; d6102; d620; e115; e1151
ISO 18 36 06	戸棚	d610; d6102; d620; e115; e1151
ISO 18 36 09	床頭台	d610; d6102; d620; e115; e1150
ISO 18 36 12	薬品キャビネット	d570; d5702; e115; e1150
ISO 18 36 15	棚・戸棚・たんす類部品	d610; d6102; e115; e1150; e1151
ISO 22 03 03	遮光眼鏡	b210; b2102; b21020; e125; e1251
ISO 22 03 06	眼鏡、コンタクトレンズ	b210; b2100; b2102; d110; d166; e125; e1251
ISO 22 03 09	拡大鏡	b210; b2100; d110; d166; e125; e1251
ISO 22 03 12	双眼鏡と望遠鏡	b210; b2100; d110; d166; e125; e1251
ISO 22 03 15	視野の拡大・範囲や屈曲の補正用具	b210; b2100; d110; d166; e125; e1251
ISO 22 03 18	拡大読書機（拡大テレビ）	b210; b2100; d110; d166; e125; e1251
ISO 22 06 03	耳トランペット	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 06	箱形補聴器	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 09	眼鏡形補聴器	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 12	挿耳形補聴器	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 15	耳掛け形補聴器	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 18	触振動式補聴器	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 21	植込み形補聴器	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 06 27	補聴器付属品	b230; d115; d310; e125; e1251
ISO 22 09 03	人工喉頭	b310; b3100; d330; e125; e1251

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 22 09 06	個人用拡声器	b310; b3100; d330; e125; e1251
ISO 22 12 03	筆記具	d170; d335; d3351; d3352; d345; e125; e1251
ISO 22 12 06	書字板・製図板・画板	d170; d335; d3351; d3352; d345; e125; e1251
ISO 22 12 09	署名ガイド・署名スタンプ	d170; d345; e125; e1251
ISO 22 12 12	点字器	d170; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 12 15	タイプライタ	d170; d345; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 12 18	特殊紙（紙・プラスチック）	d170; d335; d3352; d345; e125; e1251
ISO 22 12 21	視覚障害者用手帳	d170; d345; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 12 24	ワープロソフト	d170; d345; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 12 27	描画用ソフトウェア	d335; d3351; d3352; e125; e1251
ISO 22 15 03	手動計算器	b172; d172; e125; e1251
ISO 22 15 06	計算機	b172; d172; e125; e1251
ISO 22 15 09	計算用ソフトウェア	b172; d172; e125; e1251
ISO 22 18 03	録音・再生機	d115; d310; d315; d330; d335; d360; e125; e1251
ISO 22 18 06	ビデオレコーダ・プレイヤー	d110; d315; d330; d335; d360; e125; e1251
ISO 22 18 09	ラジオ受信機	d115; d310; d360; e125; e1251
ISO 22 18 12	双方向無線機器	d115; d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 18 15	テレビ	d110; d115; d310; d315; d360; e125; e1251
ISO 22 18 18	閉回路テレビシステム（CCTV）	d110; d315; d335; d360; e125; e1251
ISO 22 18 21	字幕用デコーダ（字幕用デコーダ内蔵テレビ）	d110; d166; d315; d325; d360; e125; e1251
ISO 22 18 24	ラジオ波送信機	d115; d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 18 27	音響信号用赤外線通信システム	d115; d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 18 30	磁気ループ機器	d115; d310; d360; e125; e1251
ISO 22 18 33	マイクロホン	d115; d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 18 36	拡声器	d115; d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 18 38	ヘッドホン	e125; e1251
ISO 22 18 39	オーディオ、ビデオ、映像システム付属品	d110; d115; d310; d315; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 21 03	文字・記号セット	d315; d3151; d3152; d335; d3351; d3352; d350; e125; e1251
ISO 22 21 06	コミュニケーション用アンブ	d115; d350; d360; e125; e1251
ISO 22 21 09	対話支援機器	d315; d3151; d3152; d330; d335; d345; d349; d335; d3351; d3352; d350; d360; e125; e1251
ISO 22 21 12	対話用ソフトウェア	d310; d315; d330; d335; d345; d350; e125; e1251
ISO 22 21 15	通話機器	e125; e1251
ISO 22 24 03	公衆網電話器	d350; d360; d3600; e125; e1251
ISO 22 24 06	携帯電話機	d350; d360; d3600; e125; e1251
ISO 22 24 09	リアルタイム文字コミュニケーション用機器・ソフトウェア	d325; d345; d350; d360; d3600; e125; e1251
ISO 22 24 12	電話ボックス	d325; d350; e125; e1251
ISO 22 24 15	電話自動応答装置	d310; d330; d360; d3600; e125; e1251
ISO 22 24 18	電話切替器	d360; d3600; e125; e1251
ISO 22 24 21	電話用付属品]	d310; d330; d360; d3600; e125; e1251
ISO 22 24 24	遠隔通信用ソフトウェア	d360; d3600; e535; e5350; e125; e1251
ISO 22 24 27	インターホン	d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 24 30	玄関ホン	d310; d330; d360; e125; e1251
ISO 22 27 04	信号表示器	b156; b1560; b1561; d570; d5702; e125; e1251
ISO 22 27 12	時計	b114; b1140; b144; b164; b1641; b1642; b180; b1802; d230; e125; e1251
ISO 22 27 15	カレンダー・スケジュール表	b114; b1140; b144; b164; b1641; b1642; b180; b1802; d230; e125; e1251
ISO 22 27 16	記憶支援用具	b114; b1140; b144; b164; b1641; b1642; b180; b1802; d230; d360; e125; e1251
ISO 22 27 18	個人用警報システム	b410; b415; b429; b430; b435; b440; b445; b445; b455; d570; d5702; e125; e1251
ISO 22 27 21	環境警報システム	d570; d5702; e125; e1251

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 22 27 24	測位用具	d410; d415; d420; d429; d460; d570; d5702; e125; e1251
ISO 22 27 27	標識用器材	b156; b1561; d570; d5702; e125; e1251
ISO 22 27 30	タイマー	e125; e1251
ISO 22 27 33	日程・活動予定作成用具	e125; e1251
ISO 22 30 03	音声出力付き読み上げ資料	b167; b1670; b16701; d115; e125; e1251
ISO 22 30 06	拡大文字資料	b167; b1670; b16701; b210; d166; e125; e1251
ISO 22 30 09	マルチメディア文書	b167; b1670; b16701; b210; d110; d115; d166; e125; e1251
ISO 22 30 12	ページめくり機	d166; d440; d445; e125; e1251
ISO 22 30 15	書見台・書籍ホルダ	d166; d440; d445; e125; e1251
ISO 22 30 18	読書用遮蔽板（タイポスコープ）	b167; b1670; b16701; b210; d166; e125; e1251
ISO 22 30 21	文字読みとり機	d110; d115; d120; d166; e125; e1251
ISO 22 30 24	点字資料	d166; e125; e1251
ISO 22 30 27	マルチメディア表示ソフトウェア	d110; d115; d166; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 30 30	Eブックリーダー	e125; e1251
ISO 22 33 03	デスクトップコンピュータ	d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 33 06	携帯用コンピュータ・PDA	d360; d3601; d3602; e125; e1251
ISO 22 33 09	公衆端末	d360; e125; e1251
ISO 22 33 12	オペレーティングシステム	d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 33 15	ブラウザ用ソフトウェア	d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 33 18	コンピュータ・ネットワークのアクセサリ	d360; e125; e1251
ISO 22 36 03	キーボード	d170; d345; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 36 12	代替入力装置	d360; e125; e1251
ISO 22 36 15	入力用付属品	d360; e125; e1251
ISO 22 36 18	入力支援ソフトウェア	d360; e125; e1251
ISO 22 36 21	コンピュータ用ポインティングデバイス	d360; e125; e1251
ISO 22 39 04	コンピュータディスプレイ・アクセサリ	d360; e125; e1251
ISO 22 39 05	触知型ディスプレイ	d360; e125; e1251
ISO 22 39 06	プリンタ	d335; d345; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 39 07	音声付きディスプレイ	d360; e125; e1251
ISO 22 39 12	特殊な出力用ソフトウェア	d330; d335; d360; d3601; e125; e1251
ISO 22 42	コンピュータ用双方向機器	e125; e1251
ISO 24 06 03	瓶・缶・容器を開けるための用具	d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 06 06	チューブ絞り器	d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 09 03	押しボタン（単機能）	d440; d4402; d445; d4451; e115; e1151
ISO 24 09 06	固定ハンドル・固定ノブ	d445; d4450; d4451; e115; e1151
ISO 24 09 09	回転ハンドル・回転ノブ	d440; d445; e115; e1151
ISO 24 09 12	ペダル（非電気用）	d435; e115; e1151
ISO 24 09 15	車輪形ハンドルとクランク形ハンドル	d445; d4453; e115; e1151
ISO 24 09 18	スイッチ（オン・オフ用）	d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 09 24	配電盤	d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 09 28	可変電源	d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 09 30	タイマースイッチ	d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 13 03	環境制御装置	d360; d3600; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; e115; e1151
ISO 24 13 06	環境制御用ソフトウェア	d360; d3600; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; e115; e1151
ISO 24 18 03	把持用具	d440; d4400; d4401; d445; d4452; e115; e1151
ISO 24 18 06	把持用アタッチメント	d440; d4401; d445; d4452; e115; e1151
ISO 24 18 09	装着ホルダ	d430; e115; e1151
ISO 24 18 12	スタンド	d445; e115; e1151
ISO 24 18 15	操作スティック	d170; d440; d4402; e115; e1151
ISO 24 18 18	ポインタ	d360; d445; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; e115; e1151
ISO 24 18 21	給紙用付属品	d360; d3601; d445; e115; e1151

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 24 18 24	原稿ホルダ	d166; d445; e115; e1151
ISO 24 18 27	手作業時の腕支持具	d445; d4453; e115; e1151
ISO 24 18 30	ロボットマニピュレータ	d440; d4400; d4401; d445; d4452; e115; e1151
ISO 24 21 03	マジックハンド	d440; d4401; d445; d4452; e115; e1151
ISO 24 21 06	電動マジックハンド	d440; d4401; d445; d4452; e115; e1151
ISO 24 21 09	リーチャ	d445; d4452; e115; e1151
ISO 24 24 03	固定式定置用具	d510; d520; d530; d540; d550; d560; d570; d598; d599; d920; e115; e1151
ISO 24 24 06	回転式及び滑走式定置用具	d510; d520; d530; d540; d550; d560; d570; d598; d599; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; d920; e115; e1151
ISO 24 24 09	昇降式及び傾斜式定置用具	d430; d4300; d510; d520; d530; d540; d550; d560; d570; d598; d599; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; d920; e115; e1151
ISO 24 27 03	吸着盤	d449; d510; d520; d530; d540; d550; d560; d570; d598; d599; d610; d620; d629; d630; d640; d649; d650; d660; d669; d698; d699; d920; e115; e1151
ISO 24 27 06	滑り止めシート・パッド	d449; d630; e115; e1151
ISO 24 27 12	留め具	d449; e115; e1151
ISO 24 27 18	磁石・テープ磁石・磁石式留め具	d449; e115; e1151
ISO 24 36 03	運搬用具	d430; e115; e1151
ISO 24 36 06	キャスタ	d430; e115; e1151
ISO 24 36 09	小荷物用カート	d430; e115; e1151
ISO 24 36 12	手押し台車	d430; e115; e1151
ISO 24 36 15	自転車・車椅子用荷車	d430; d465; d475; d4750; e115; e1151
ISO 24 36 18	自動車用トレーラ	d430; d475; d4751; e115; e1151
ISO 24 39	保管物の容器	e115; e1151
ISO 27 03 03	屋内空気調和機	d570; d5700; e115; e1151; e260; e2600
ISO 27 03 06	空気清浄機	d570; d5700; e115; e1151; e260; e2600
ISO 27 03 09	騒音軽減用具	d570; d5700; e115; e1151; e250; e2500
ISO 27 03 12	防振用具	d570; d5700; e115; e1151; e255
ISO 27 03 15	照明調節用具	d570; d5700; e115; e1151; e240
ISO 27 03 18	純水器・軟水器	d570; d5700; e115; e1151; e210; e215; e220; e225; e230; e235; e240; e245; e250; e255; e260; e298
ISO 27 06 03	物差し	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 06	角度計	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 09	容量計	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 12	重量計（体重計を除く）	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 15	電気計器	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 18	圧力計	d650; d920; e115; e1151; e225
ISO 27 06 21	室内気候計測用具	d650; d920; e115; e1151; e225
ISO 27 06 24	色識別用具	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 27	音量計	d650; d920; e115; e1151; e250
ISO 27 06 30	液体密度系	d650; d920; e115; e1151
ISO 27 06 33	計数支援用具	d650; d920; e115; e1151
ISO 28 03 03	作業机	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e1351
ISO 28 03 06	作業台	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 03 09	作業いす・事務用いす	d415; d4153; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e1351
ISO 28 03 12	職場用ツール・起立いす	d415; d4153; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 03 15	職場での保管・供給設備	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 03 18	職場用マット	d415; d4154; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 03 21	パーティション	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 03 90	職場の家具及び取付け部品	b210; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e240
ISO 28 06 04	手動工業用輸送機器	d430; d4301; d4302; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 28 06 05	歩行者操作式動力付き工業用輸送機器	d430; d4301; d4302; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 06 06	リフト付きトラック	d430; d4300; d4301; d4302; d4305; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 06 07	乗員操作式動力付き工業用輸送車両	d430; d4301; d4302; d4305; d475; d4751; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 06 09	昇降・運搬用動力付き工業用車両	d430; d4300; d4301; d4302; d4305; d475; d4751; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 06 12	搬送設備	d430; d4301; d4302; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 09 03	クレーン・滑車装置・貨物取扱いアタッチメント	d430; d4300; d4305; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 09 06	マニピュレータ・バランサ	d430; d4300; d4305; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 09 09	職場での昇降・定置システム	d430; d4300; d4305; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 09 12	職場用リフトプラットフォーム	d430; d4300; d4305; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 12 03	材料・器具の運搬／把持用具	d440; d4401; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 12 06	材料・器具の固定／定置用具	d440; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 03	手動操作手持ち用具	d440; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 06	電動手持ち用具	d440; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 09	商品の製造・処理機	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 12	造園・農業・建築用機材	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 15	職場での洗浄用機材	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 18	機械・器具の付属品	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 15 21	職場用ロボット	d440; d4400; d4401; d4402; d4403; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 18 03	職場で使用する計測機器や装置	d570; d5700; d5702; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e225; e240; e250; e255; e260
ISO 28 18 06	職場での品質保証機器	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 21 03	書類の整理、分類、ファイル用具	d440; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e1351
ISO 28 21 06	郵便物処理用具	d440; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 21 09	事務用機器・事務用品	d440; d4402; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 21 12	事務用ソフトウェア・産業用ソフトウェア	d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 24 03	職場での保護用具	d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 24 06	職場での照明調節用具	b210; b270; d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 24 09	職場での防振用具	b270; b2701; d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e255
ISO 28 24 12	職場での空気清浄機	b270; b440; d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e260
ISO 28 24 15	職場での騒音軽減用具	b230; b270; b2703; s250; s260; d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e250
ISO 28 24 18	職場・作業場用安全用具	d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 24 21	身体的・心理的ストレスを低減する特殊なソフトウェア	b130; b140; b147; b152; b280; d240; d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350; e1351
ISO 28 24 24	仕事の過程における回復支援用具	b130; b147; b152; b280; d240; d570; d5700; d5702; d845; d8451; d850; d855; e135; e1350
ISO 28 27 03	職業評価・職業ガイダンス用具	d825; d839; d840; e130; e1301
ISO 28 27 07	職業訓練用具	d155; d1550; d1551; d360; d3600; d825; d839; d840; e130; e1301
ISO 30 03 03	玩具	d920; d9200; e140; e1401
ISO 30 03 06	遊具	d920; d9200; e140; e1401
ISO 30 03 09	ゲーム	d920; d9200; e140; e1401
ISO 30 09 03	団体球技用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 06	アーチェリー用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 09	ボート用具	d920; d9201; e140; e1401

ISOコード	品目	ICFコード
ISO 30 09 12	ポーリング用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 15	馬術用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 18	フェンシング用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 21	飛行用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 24	ゴルフ用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 27	ラケットスポーツ用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 30	射撃用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 33	水泳・水上競技用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 36	ウィンタースポーツ用具]	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 39	その他のスポーツ用具	d920; d9201; e140; e1401
ISO 30 09 88	スポーツ用具	d920; d9200; d9201; e140; e1401
ISO 30 12	音楽の演奏・制作用具	d920; d9202; e140; e1401
ISO 30 15	写真用具	d920; d9202; d9204; e140; e1401
ISO 30 18	手芸・工芸用器材	d920; d9203; e140; e1401
ISO 30 18 03	裁縫・織物用器材	d920; d9203; e140; e1401
ISO 30 18 06	陶芸用器材	d920; d9203; e140; e1401
ISO 30 18 09	木工用器材	d920; d9203; e140; e1401
ISO 30 18 12	金工用器材	d920; d9203; e140; e1401
ISO 30 18 15	絵画・デザイン用器材	d920; d9202; d9203; e140; e1401
ISO 30 18 18	その他の手工芸用器材	d920; d9203; e140; e1401
ISO 30 24 03	狩猟用具	d920; e140; e1401
ISO 30 24 06	釣り用具	d920; e140; e1401
ISO 30 27	キャンプ用具	d920; e140; e1401
ISO 30 30	喫煙用具	d920; e140; e1401
ISO 30 34	動物のケア用品	d650; d6506; d920; e140; e1401

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
	なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Linda-Jeanne Elsasser, Stephen Bauer, Emily Steel, Emma Friesen, Takenobu Inoue	The value of vocabulary standards towards improving access to assistive technology	Great Consultation Book of Abstracts		159-161	2019
井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来	ICFを活用した支援機器のマッピング	第8回ICFシンポジウム 開催概要プログラムポスター集		27	2020
井上剛伸, 上野友之, 浅川育世, 上村智子, 石川浩太郎, 石渡利奈, 硯川潤, 中山剛, 西脇友紀, 水野純平, 阿久根徹, 田上未来	ICFを活用した支援機器のマッピング	第8回ICFシンポジウム 報告書		35	2020
井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈	福祉用具の分類と用語の規格に関する研究 - 福祉用具の定義について	第36回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会(予稿集)		74	2019
井上剛伸, 中山剛, 石渡利奈	ICF活用の実際と展望 福祉機器	総合リハ	No.47, Vol.11		2019

令和2年5月29日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 飛松 好子

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究
3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 福祉機器開発部長
(氏名・フリガナ) 井上 剛伸 (イノウエ タケノブ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2020年 5月 22日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立大学法人筑波大

所属研究機関長 職名 学長

氏名 永田 恭介

次の職員の令和元年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 障害者政策総合研究事業
- 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 医学医療系・講師
(氏名・フリガナ) 上野 友之 (ウエノ トモユキ)
- 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	筑波大学附属病院倫理委員会	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 茨城県立医療大学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 松村 明

次の職員の令和元年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 保健医療学部理学療法学科 教授
(氏名・フリガナ) 浅川 育世(アサカワ ヤスツグ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	茨城県立医療大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和2年4月3日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人信州大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 濱田 州博

次の職員の令和元年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
- 2. 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究
- 3. 研究者名 (所属部局・職名) 学術研究院保健学系 教授
(氏名・フリガナ) 上村 智子 (カミムラ トモコ)
- 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和2年5月29日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 飛松 好子

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 病院 第二診療部 耳鼻咽喉科医長

(氏名・フリガナ) 石川 浩太郎 (イシカワ コウタロウ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和2年5月29日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 飛松 好子

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 福祉機器開発部 第一福祉機器試験評価室長

(氏名・フリガナ) 石渡 利奈 (イシワタ リナ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和2年5月29日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 飛松 好子

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 支援機器の適切な選定および導入運用に向けたガイドライン作成のための研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 福祉機器開発部 福祉機器開発室長

(氏名・フリガナ) 硯川 潤 (スズリカワ ジュン)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立障害者リハビリテーションセンター	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。